

第 1 9 回 豊川市地域公共交通会議 資料

< 目 次 >

- 1 . 【報告事項】平成 2 5 年 1 1 月までの運行実績
- 2 . 【報告事項】利用促進に関する取組結果
- 3 . 【協議事項】消費税率変更に伴う豊鉄バスの運賃改定
- 4 . 【協議事項】一宮地区地域路線の運行計画の変更
- 5 . 【協議事項】生活交通ネットワーク計画の変更
- 6 . 【報告事項】アンケート調査結果
- 7 . 【協議事項】連携計画・路線の評価指標

平成 2 5 年 1 2 月 2 4 日

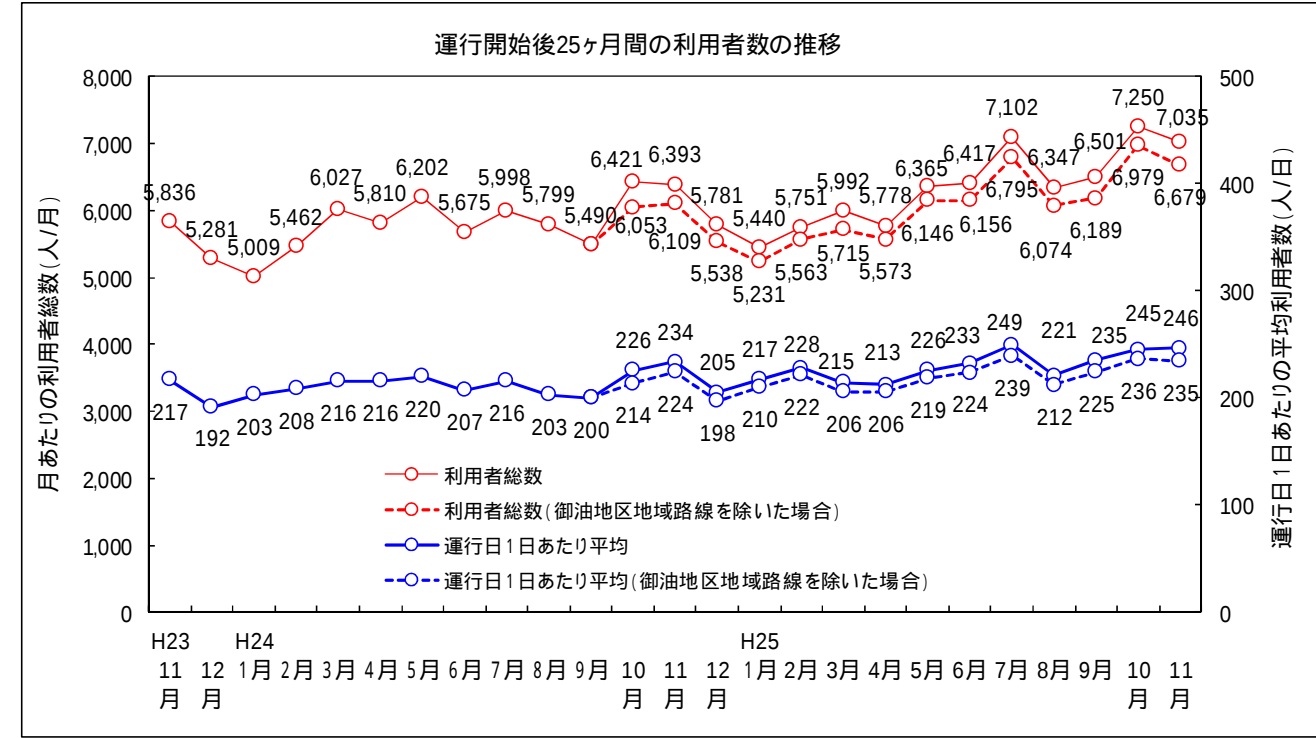
1.【報告事項】平成25年11月までの運行実績

1-1. 豊川市コミュニティバス運行開始後の利用者数の推移

利用者数の推移を以下に示します。

平成23年の運行開始より、2年1ヶ月が経過し延べ利用者数は約15.1万人となっています。

平成25年10月は1ヶ月間の利用者総数が7,200名を超え、1ヶ月の利用者数が最も多くなりました。



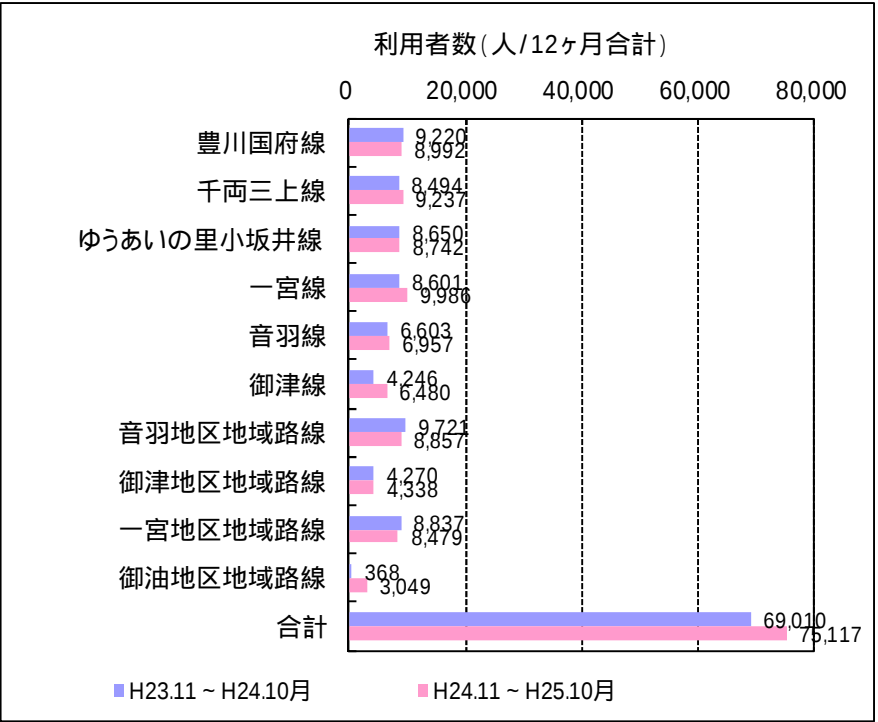
1-2. 路線別の月別利用者数の推移

運行開始からの利用者数の内訳を以下に示します。

路線別では、平成24年10月に運行を開始した御油地区地域路線を除く9つの路線のうち、基幹路線の5路線と地域路線の1路線で前年同月(11月～10月)より増加しています。特に一宮線と御津線の増加量が多くなっています。

平成23年11月～平成24年10月													
路線名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
豊川国府線	753	696	576	828	747	762	905	823	881	697	746	806	9,220
千両三上線	646	608	653	719	834	701	645	732	701	745	730	780	8,494
ゆうあいの里小坂井線	805	644	532	665	763	692	752	711	758	805	776	747	8,650
一宮線	733	612	655	681	774	724	862	650	725	711	660	814	8,601
音羽線	499	533	415	427	511	529	537	574	599	769	612	598	6,603
御津線	314	338	335	321	382	360	378	349	338	420	308	403	4,246
音羽地区地域路線	726	828	671	703	870	1,011	861	810	903	813	731	794	9,721
御津地区地域路線	438	369	349	380	304	357	380	404	339	207	354	389	4,270
一宮地区地域路線	922	653	823	738	842	674	882	622	754	632	573	722	8,837
御油地区地域路線												368	368
合計	5,836	5,281	5,009	5,462	6,027	5,810	6,202	5,675	5,998	5,799	5,490	6,421	69,010

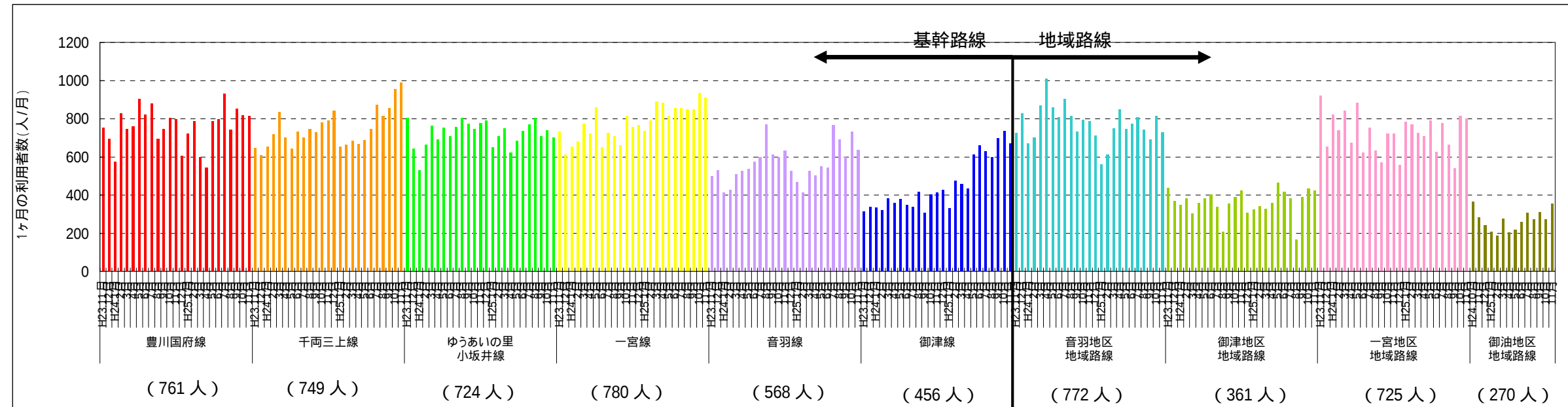
平成24年11月～平成25年10月													
路線名	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	24ヶ月間合計
豊川国府線	797	606	724	789	600	545	787	797	933	742	854	818	18,212
千両三上線	792	842	652	665	684	668	689	745	874	814	856	956	17,731
ゆうあいの里小坂井線	779	790	648	708	751	622	685	736	771	803	711	738	17,392
一宮線	756	768	736	791	891	884	813	857	856	849	850	935	18,587
音羽線	633	529	469	413	526	503	551	543	766	693	599	732	13,560
御津線	416	429	333	474	459	432	615	660	629	599	699	735	10,726
音羽地区地域路線	788	712	560	613	750	850	749	775	809	743	692	816	18,578
御津地区地域路線	424	306	324	341	329	360	466	417	380	169	389	433	8,608
一宮地区地域路線	724	556	785	769	725	709	791	626	777	662	539	816	17,316
御油地区地域路線	284	243	209	188	277	205	219	261	307	273	312	271	3,417
合計	6,393	5,781	5,440	5,751	5,992	5,778	6,365	6,417	7,102	6,347	6,501	7,250	144,127



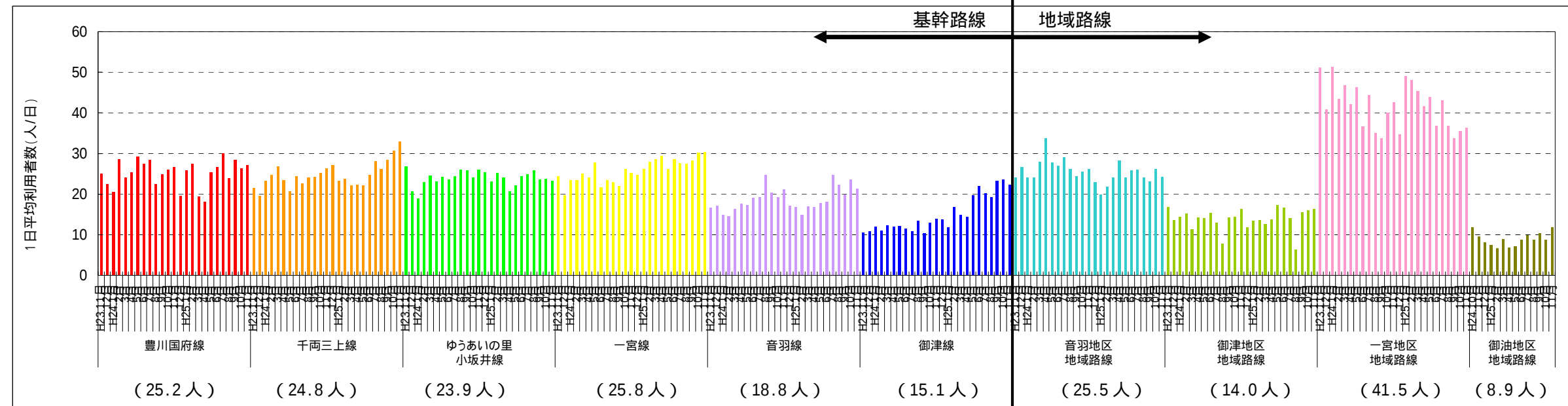
平成25年11月		
路線名	11月	25ヶ月間合計
豊川国府線	816	19,028
千両三上線	990	18,721
ゆうあいの里小坂井線	700	18,092
一宮線	912	19,499
音羽線	638	14,198
御津線	670	11,396
音羽地区地域路線	729	19,307
御津地区地域路線	423	9,031
一宮地区地域路線	801	18,117
御油地区地域路線	356	3,773
合計	7,035	151,162

1 - 3 . 路線別の月別利用者数

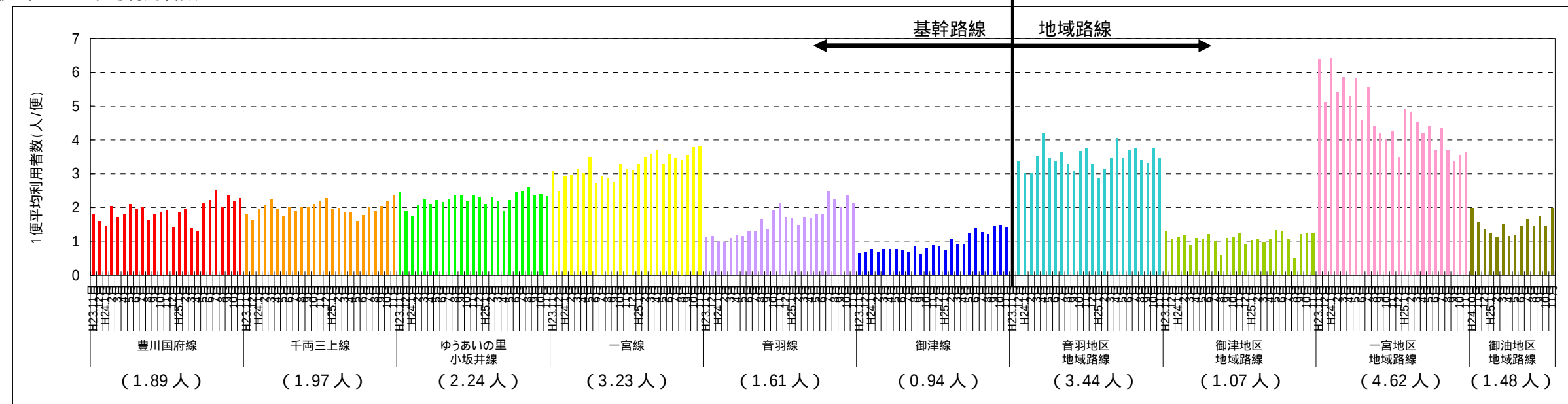
(1) 1ヶ月の利用者数



(2) 1日当たりの平均利用者数

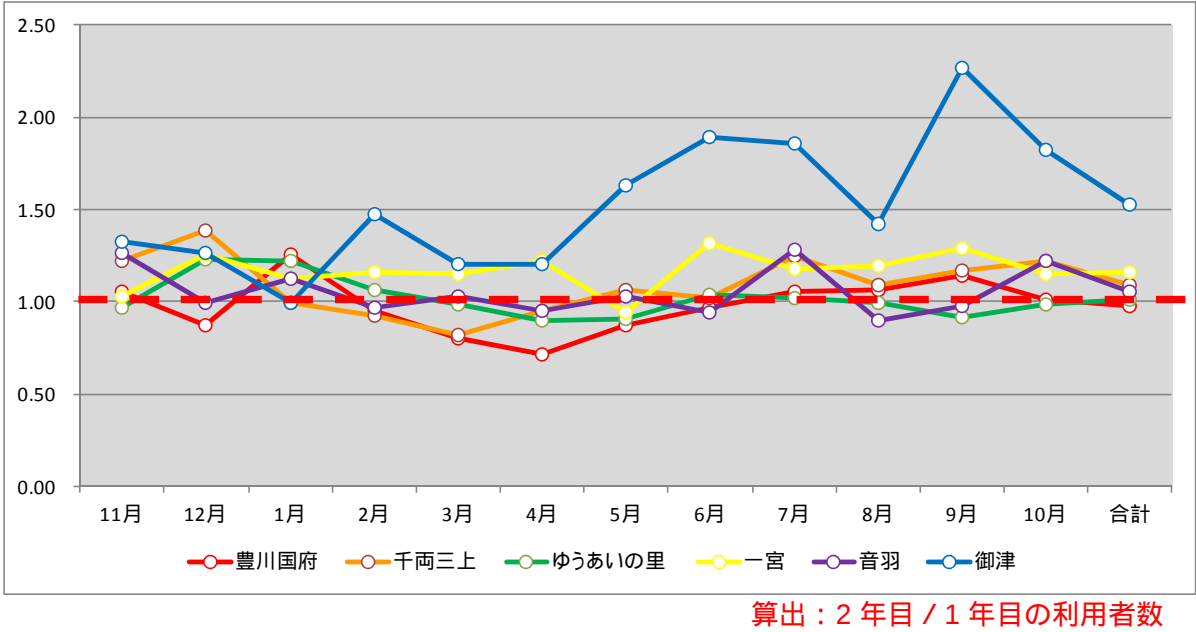


(3) 1便当たりの平均利用者数

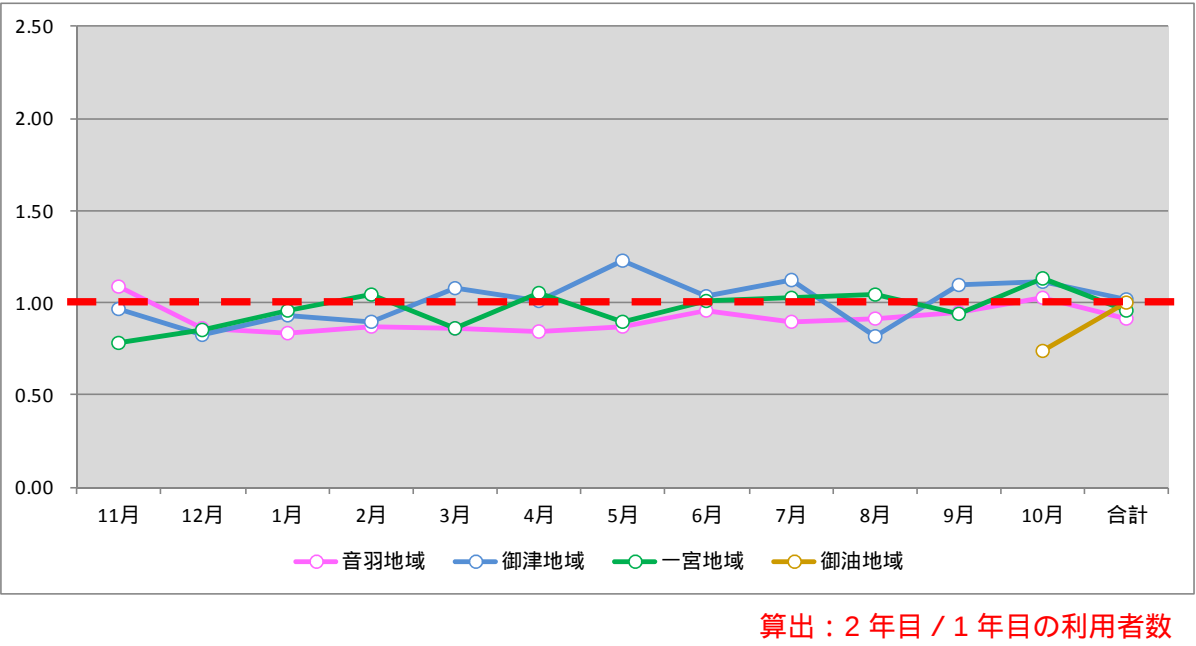


1 - 4 . 各月別（平成25年10月までの24ヶ月）の利用者数の状況
 運行開始から24ヶ月が経過し、各路線の同月前年比（2年目/1年目）を以下に示します。

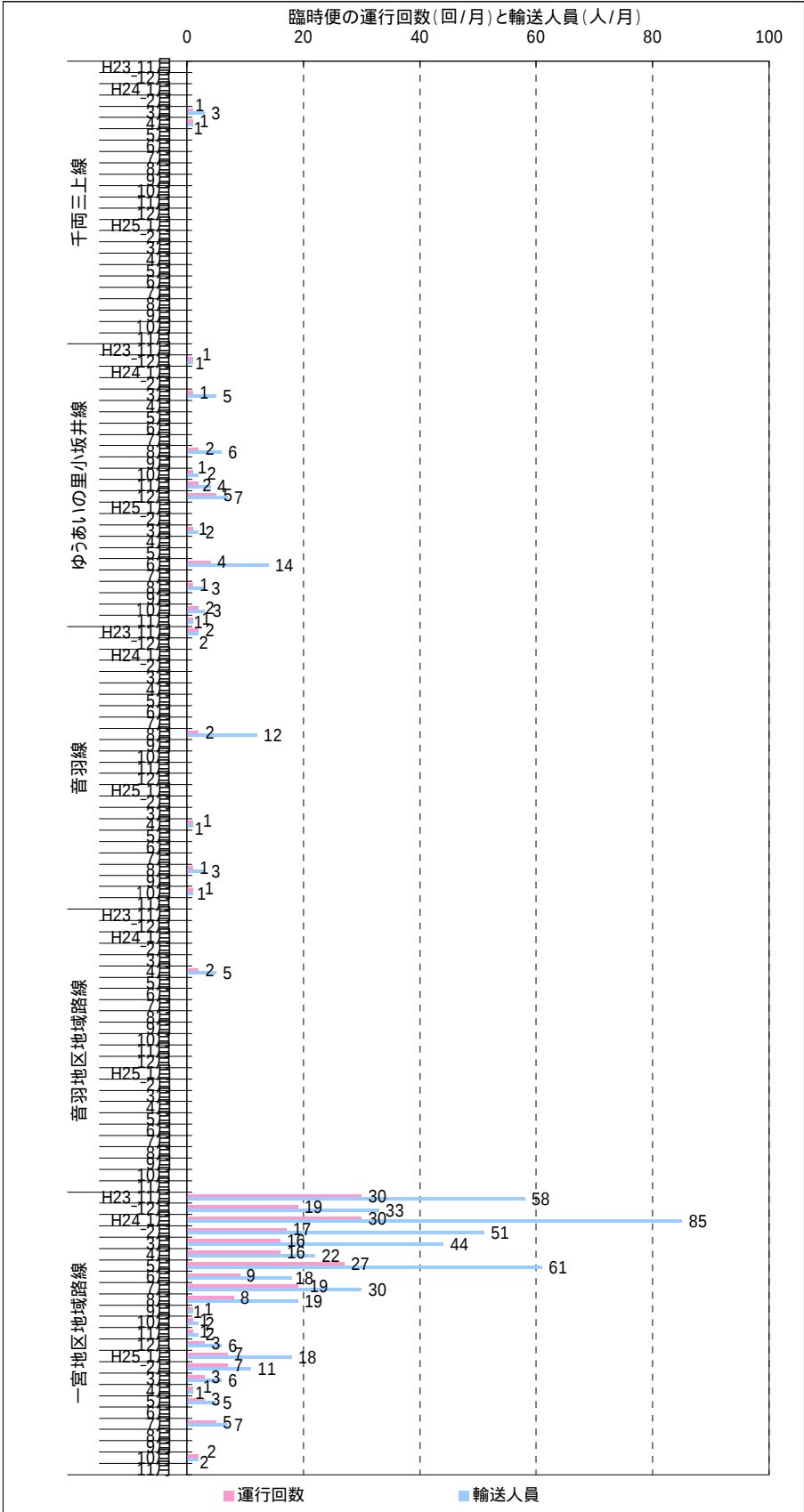
（1）基幹路線の利用者数の状況
 基幹路線全体として、利用者数が伸びています。
 特に、御津線では伸び率が大きくなっています。



（2）地域路線の利用者数の状況
 地域路線では、やや前年を下回る結果となっています。音羽地域路線や御津地域路線で前年を下回る月が多くなっています。



1 - 5 . 定員超過時に追加運行した臨時便の運行回数
 臨時便の運行回数を以下に示します。
 運行開始当初は、一宮地区地域路線の運行回数が多かったですが、平成24年10月の2系統（西・東回り）から3系統（西・中・東回り）への見直しにより、臨時便の運行回数は減少しています。



2.【報告事項】利用促進に関する取組結果

2 - 1 . 夏休み小学生 5 0 円バスの実施

夏休み小学生 5 0 円バスの結果を以下に示します。

(1) 実施概要

夏休み期間中の小学生運賃を、一律 5 0 円としました。

(2) 実施期間

平成 2 5 年 7 月 2 0 日 (土) ~ 9 月 1 日 (日)

(3) 対象路線

豊鉄バス新豊線・豊川線、豊川市コミュニティバス全線
東三河地域で実施

(4) 実施結果

豊川市コミュニティバスでは、期間中に 4 4 4 人が利用しました。(1 日平均 10.0 人)
一宮線の利用者数は 2 倍程度になりましたが、それ以外の路線は利用者数が減少しました。基幹路線全体では昨年比 6 7 %、地域路線全体では昨年比は約 1 0 2 %となっています。

豊鉄バスの豊橋・新城・渥美の各営業所合計では、期間中に 11,240 人が利用しました。(1 日平均 255 人)

路線名		平成25年度				24年利用者 数合計	H25/H24年
		7月	8月	9月	25年度合計		
基幹路線	豊川国府線	27	28	8	63	153	41.2%
	千両三上線	1	21	2	24	45	53.3%
	一宮線	33	34	1	68	35	194.3%
	ゆうあいの里小坂井線	3	12	0	15	87	17.2%
	音羽線	58	102	1	161	178	90.4%
	御津線	20	37	0	57	77	74.0%
	基幹路線合計	142	234	12	388	575	67.5%
地域路線	音羽地域路線	7	16	0	23	25	92.0%
	御津地域路線	10	14	0	24	27	88.9%
	一宮地域路線	0	0	0	0	3	-
	御油地域路線	1	8	0	9	0	-
	地域路線合計	18	38	0	56	55	101.8%
総合計		160	272	12	444	630	70.5%

2 - 2 . スタンプラリーの実施

(1) 実施概要

スタンプカードに、バス車内で 3 種類のスタンプ 3 個、または 1 ~ 2 種類のスタンプ
5 個を押印できた時点で、記念品と交換しました。

事前に、周知・広報のためのポスターを、市内の主な公共施設に掲載しました。

(2) 実施期間

平成 2 5 年 1 0 月 1 日から 3 1 日まで

(3) 対象路線

豊川市コミュニティバス全線

(4) 記念品

ペットボトルホルダー

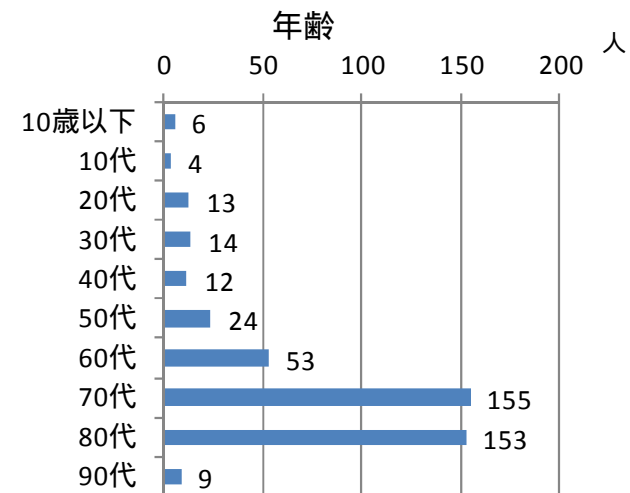
(交換時期：平成 2 5 年 1 0 月 1 日から 1 1 月 8 日まで 先着 1 , 0 0 0 名)

(5) 記念品交換状況

延べ 5 2 6 名の方が、交換に訪れました。

(6) 利用者の属性

交換に来た利用者の属性は以下の通りです。



主な目的地

具体的な目的地を以下に示します。

いかまい館	62
ゆうあいの里	53
豊川市民病院	26
ピアゴ	23
国府駅	22
豊川駅・豊川稲荷駅	18
病院	15
ヤマナカ	14
よらまい館	12
あかさかクリニック	11
音羽郵便局	11
後藤病院	11
J A ひまわり農協音羽	10
ジャルダン・リラ	8
名電赤坂駅	8
北部小学校	7
きらり	6
赤坂台保育園	6
堀内クリニック	6
本宮の湯	5
イオン豊川店	4

その他 102 名 合計 440 名記入

2 - 3 . プリオキャッシュバック

豊川市開発ビル（プリオ）では、「カルフェス」と題したイベントが、プリオ開発ビル㈱主催で12月7日（土） 8日（日）に実施されました。

イベント期間中に豊川市コミュニティバスを利用して豊川体育館前バス停で下車した方に乗車証明書を交付し、プリオ内での買物に200円をキャッシュバックしました。

11名の方に乗車証明書を交付し、8名の方がキャッシュバックを受けました。



図) キャッシュバック イベントチラシ

2 - 4 . ポケット時刻表の作成・配布

平成25年10月からのポケット時刻表を1万部作成し、市役所をはじめとする公共施設に配置しました。



図) ポケット時刻表 表面

2 - 5 . ちびっこぬり絵（こんた）実施

以下のイベントにおいて、こんたのぬり絵を配布しました。

- (1) イベント1: 交通防犯フェア 10月12日（土）
- (2) イベント2: 葵まつり 10月13日（日）小坂井支所周辺
- (3) イベント3: 本宮まつり 11月24日 本宮の湯及び健康福祉センター

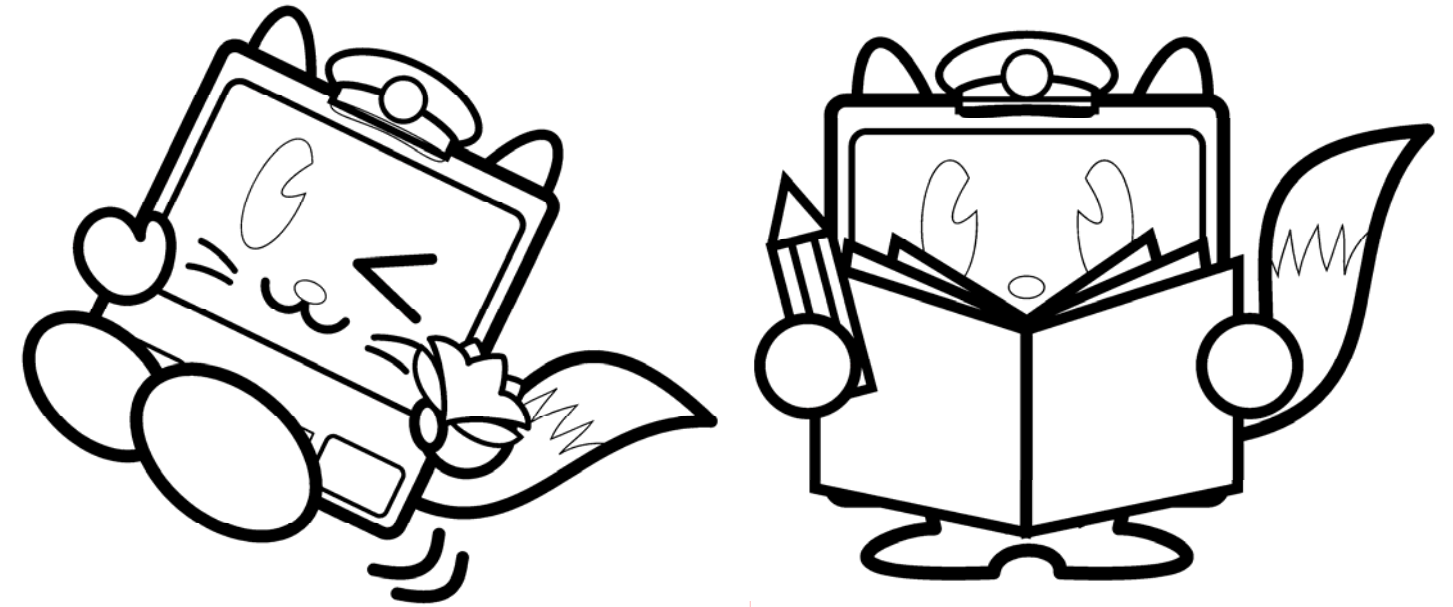


図) ぬり絵例

2 - 6 . 「こんた」着ぐるみの作成

「こんた」の着ぐるみを作成し、10月の交通防犯フェアにて登場しました。



図) 「こんた」着ぐるみ



図) こんた着ぐるみ
(交通安全フェア登場時)

3.【協議事項】消費税率変更に伴う豊鉄バスの運賃改定

3 - 1 . 新豊線・豊川線の運賃改定

消費税率の引き上げに伴い、豊鉄バス新豊線・豊川線の運賃改定を以下のとおり行います。

◇実施時期 平成26年4月1日

◇実施概要 豊鉄バス新豊線・豊川線の運賃を消費税変更に伴い変更いたします。

豊川市内の初乗り２００円、ゾーンを跨ぐ場合の１００円加算は変更いたしません。

◇実施概要

豊鉄バス新豊線・豊川線の運賃を消費税変更に伴い変更いたします。

豊川市内の初乗り200円、ゾーンを跨ぐ場合の100円加算は変更いたしません。

平成26年4月1日

新 運賃
旧 運賃

本町經由(守下經由の守下はこども未来館・商工会議所と同額)

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電所前

正岡

牛久保

高見

南大通四丁目

豊川体育館前

豊川体育館前西

免許センター前

金屋元町

開運通一丁目

開運通一丁目

稲荷前

豊川駅前

進雄神社

豊川東部中学校

本野原

上野

宮裏

一宮総合支所

長山松原

江島

東上

川田

豊島口

野田城

千郷小学校前

新城市民病院

新城栄町・新城駅口中町

宗高

新城東高校

新城富永

豊川市民病院

八幡駅

野口町

諏訪西町

豊橋駅前

こども未来館・商工会議所

本町

豊橋市役所前

元下地

大蚊里

変電

3 - 2 . 一宮線の運賃改定

消費税率引き上げに伴い、豊鉄バス・豊川市コミュニティバス一宮線の改定を、以下の通り行います。

◇実施時期 平成26年4月1日

◇実施概要 一宮線の直通便の運賃を消費税変更に伴い変更いたします。

豊川市内の初乗り２００円、ゾーンを跨ぐ場合の１００円加算は変更いたしません。

新	運賃
旧	運賃

● 塩焼駅前 シロノネ	● 一本町 下ノ一	● 塩焼市役所前	● 元下地	● 塩田	● 大紋里	● 安楽所前	● 正岡	● 牛久保南	● 牛久保高見	● 南大通四丁目	● 代田橋	● 心道教前	● 塩川体育館前	● 塩川市役所前	● 金屋元町 金屋センター前	● 開運通二丁目 イオン塩川店	● 開運通一丁目 開運通二丁目	● 塩川駅前	● 塩川東部中学校 塩焼神社	● 東曙町	● 大堀町	● 本野原	● 東名塩川	● 上野	● 塩焼神社前	● 常楽	● 一宮総合支所	● 小南原口	● 上長山西原	● 白屋	● 本宮の湯 フナエ・カサネ
----------------	-----------	----------	-------	------	-------	--------	------	--------	---------	----------	-------	--------	----------	----------	-------------------	--------------------	--------------------	--------	-------------------	-------	-------	-------	--------	------	---------	------	----------	--------	---------	------	-------------------

本町経由(守下経由の守下はこども未来館・商工会議所と同額)

[illegible]

4 . 【協議事項】一宮地区地域路線の運行計画の変更

一宮地区地域路線の「小牧バス停」付近では企業団地の造成工事が始まるため、利用者の安全を確保するためにバス停位置を小牧集会所付近へ移設し、西回りの運行ルートを変更します。運行ルートの延長は0.3 km長くなりますが、運行ダイヤの変更はありません。バス停位置の変更は、平成26年3月1日を予定しています。

4 - 1 . 運行概要

項 目		内 容
運行事業者		豊鉄タクシー株式会社
東回り	起点	いかまい館
	主な経由地	東上駅、一宮総合支所、江島駅
	終点	いかまい館
中回り	起点	いかまい館
	主な経由地	三河一宮駅、一宮総合支所、長山駅
	終点	いかまい館
西回り	起点	いかまい館
	主な経由地	三河一宮駅、一宮総合支所
	終点	いかまい館
延長 (1巡)	東回り	17.8 km
	中回り	16.3 km
	西回り	15.8 km → 16.1 km
所要時間 (1巡)	東回り	39分
	中回り	42分
	西回り	35分
運行本数	東回り	3本/日
	中回り	4本/日
	西回り	4本/日
運行日		火～土曜日の週5日運行
車両	大きさ	ジャンボタクシー
	台数	1台
バス停数		34箇所
他路線との 乗継可能 バス停	鉄道駅	● JR：三河一宮駅、長山駅、江島駅、東上駅
	民間路線バス	● 豊鉄バス新豊線・豊川線：一宮総合支所
	基幹路線	● 一宮線：いかまい館、一宮総合支所
	地域路線	なし
運賃体系		1乗車100円 一宮線への乗継は、基幹路線の初乗り料金200円を支払って乗車
その他の料金設定		a. 未就学児：半額。但し、同伴者1人につき1人まで無料 b. 小学生：半額 c. 身体障害者手帳及び療育手帳を所持している方と、その付添人1人：半額

赤字部分は追加・変更箇所です。

4 - 2 . 運行ダイヤ：変更なし

東回り 運行ダイヤ

東回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡
	いかまい館	7:48	10:02	14:38
	炭焼集会所	7:52	10:06	14:42
	本宮パーク駐車場前	7:54	10:08	14:44
	東上駅	7:58	10:12	14:48
	グリーンセンター一宮	8:02	10:16	14:52
	江島ふれあいセンター	8:05	10:19	14:55
	金沢構造改善センター	8:07	10:21	14:57
	豊津神社前	8:10	10:24	15:00
	上新切南	8:12	10:26	15:02
	一宮総合支所	8:14	10:28	15:04
	蟹川橋西	8:18	10:32	15:08
	江島駅	8:20	10:34	15:10
	柿木平	8:21	10:35	15:11
	炭焼	8:23	10:37	15:13
	いかまい館	8:27	10:41	15:17

中回り 運行ダイヤ

中回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡	4巡
	いかまい館	8:39	10:59	13:15	15:31
	六郎辻	8:42	11:02	13:18	15:34
	小南口	8:44	11:04	13:20	15:36
	十部公会堂前	8:47	11:07	13:23	15:39
	旧二部公会堂前	8:51	11:11	13:27	15:43
	小久保接骨院前	8:53	11:13	13:29	15:45
	三河一宮駅	8:55	11:15	13:31	15:47
	橋尾公会堂	9:00	11:20	13:36	15:52
	大和公民館	9:03	11:23	13:39	15:55
	宮前橋	9:06	11:26	13:42	15:58
	一宮総合支所	9:09	11:29	13:45	16:01
	一宮旭	9:11	11:31	13:47	16:03
	長山駅	9:13	11:33	13:49	16:05
	上長山コミュニティセンター	9:17	11:37	13:53	16:09
	いかまい館	9:21	11:41	13:57	16:13

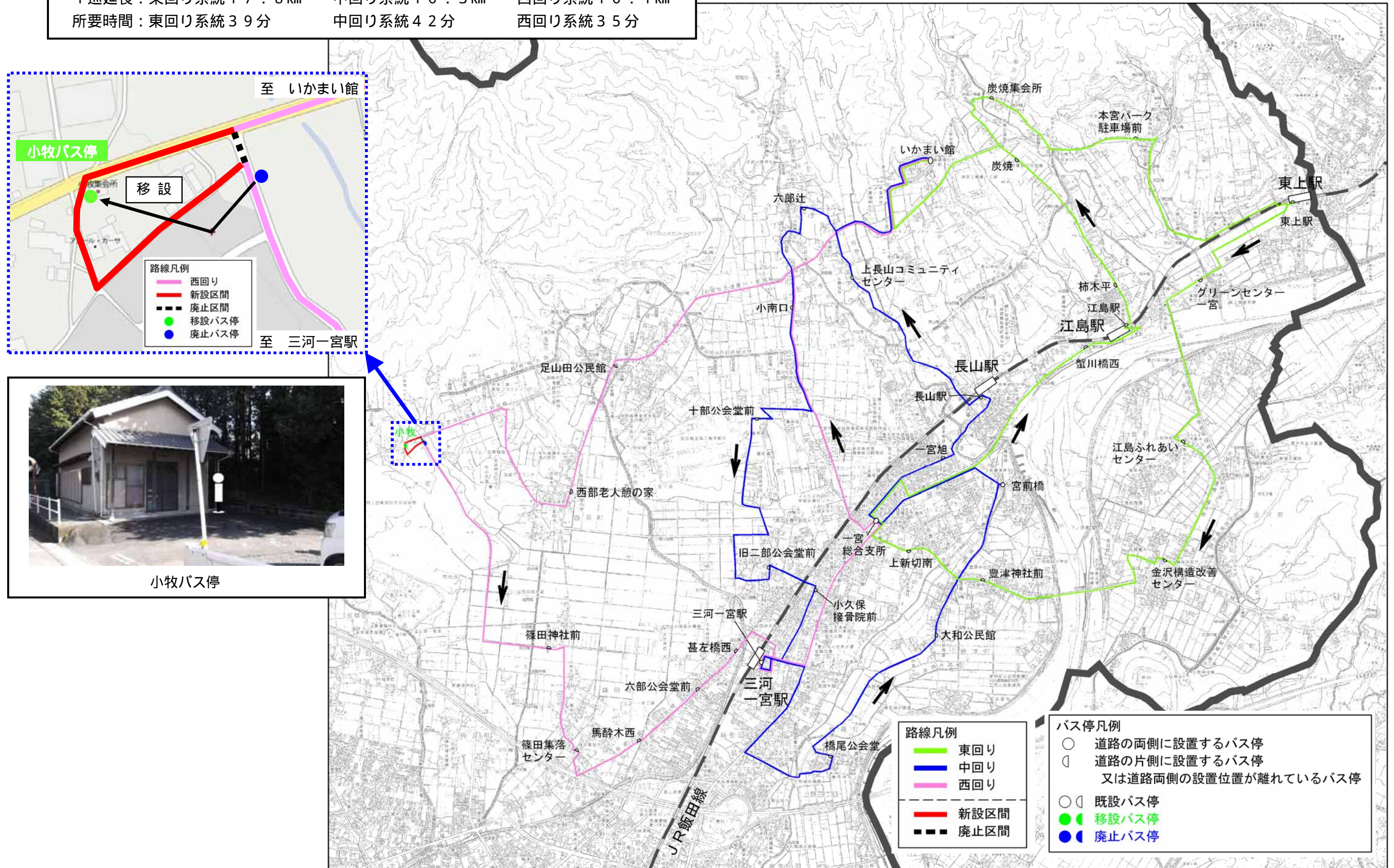
西回り 運行ダイヤ

西回り	バス停名称	1巡	2巡	3巡	4巡
	いかまい館	9:24	11:44	14:00	16:16
	足山田公民館	9:30	11:50	14:06	16:22
	西部老人憩の家	9:32	11:52	14:08	16:24
	小牧	9:35	11:55	14:11	16:27
	篠田神社前	9:38	11:58	14:14	16:30
	篠田集落センター	9:40	12:00	14:16	16:32
	馬酔木西	9:42	12:02	14:18	16:34
	六部公会堂前	9:44	12:04	14:20	16:36
	甚左橋西	9:45	12:05	14:21	16:37
	三河一宮駅	9:48	12:08	14:24	16:40
	一宮総合支所	9:52	12:12	14:28	16:44
	いかまい館	9:59	12:19	14:35	16:51

4 - 3 . 路線図

【一宮地区地域路線（本宮線のんほい号）】

1 巡延長：東回り系統 17.8 km 中回り系統 16.3 km 西回り系統 16.1 km
 所要時間：東回り系統 39 分 中回り系統 42 分 西回り系統 35 分



5 . 【協議事項】生活交通ネットワーク計画の変更

一宮地区地域路線は地域公共交通確保維持改善事業の対象路線であり、今回の西回りルート of 路線延長の変更によって国庫補助額が変わるため、生活交通ネットワーク計画の見直しを行います。
国庫補助額が変わる箇所を下表に示しました。公共交通会議終了後に変更の申請を行います。

赤 字：路線見直し後に数値が変わる箇所

運行予定者名	申請番号	運行系統名	運行系統			系統キロ	計画 運行回数	系統キロ	計画 運行回数	確保維持事業に要する国庫補助額(千円)						国庫補助上限額 (千円)	
										平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成26年度	
			起点	主な経由地	終点	変更前	変更前	変更後	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
豊鉄バス(株)	1	豊川国府線	豊川駅前	豊川体育館前	国府駅	往路11.1km・復路11.1km	360回	往路11.1km・復路11.1km	360回	1,200.5	1,200.5	1,207.0	1,207.0	1,210.5	1,210.5	5,822	5,819
	2	豊川国府線	豊川駅前	豊川体育館前	豊川養護学校	往路13.6km・復路 - km	360回	往路13.6km・復路 - km	360回	733.5	733.5	737.5	737.5	739.5	739.5		
	3	豊川国府線	豊川駅前	豊川体育館前	ゆうあいの里	往路15.6km・復路15.6km	1,440回	往路15.6km・復路15.6km	1,440回	5,926.5	5,926.5	5,959.0	5,959.0	5,975.5	5,975.5		
豊鉄タクシー(株)	4	千両三上線	上千両集会所	豊川駅前	三上地区 市民館	往路11.3km・復路11.3km	2,160回	往路11.3km・復路11.3km	2,160回	4,575.0	4,575.0	4,600.5	4,600.5	4,613.0	4,613.0	17,940	17,943
	5	千両三上線	上千両集会所	地域文化会館	豊川駅前	往路6.0km・復路6.0km	360回	往路6.0km・復路6.0km	360回	404.5	404.5	407.0	407.0	408.0	408.0		
	6	ゆうあいの里 小坂井線	ゆうあいの里	豊川体育館前	西小坂井駅	往路20.9km・復路21.0km	1,260回	往路20.9km・復路21.0km	1,260回	5,054.5	5,054.5	5,082.5	5,082.5	5,097.0	5,097.0		
	7	ゆうあいの里 小坂井線	ゆうあいの里	ぎょぎょランド	豊川体育館前	往路7.4km・復路6.5km	360回	往路7.4km・復路6.5km	360回	479.0	479.0	481.5	481.5	483.0	483.0		
	8	ゆうあいの里 小坂井線	豊川体育館前	桜町市民館	西小坂井駅	往路 - km・復路13.4km	180回	往路 - km・復路13.4km	180回	462.0	462.0	464.5	464.5	465.5	465.5		
	9	音羽線	グリーンヒル 音羽	豊川体育館前	市役所	往路19.4km・復路20.3km	900回	往路19.4km・復路20.3km	900回	3,547.5	3,547.5	3,567.0	3,567.0	3,577.0	3,577.0		
	10	御津線	あかね児童館	豊川体育館前	市役所	往路15.1km・復路15.3km	1,440回	往路15.1km・復路15.3km	1,440回	4,452.5	4,452.5	4,477.0	4,477.0	4,489.5	4,489.5		
	11	御津線	あかね児童館	国府駅	豊川市民病院	往路9.6km・復路10.3km	360回	往路9.6km・復路10.3km	360回	728.5	728.5	732.5	732.5	734.5	734.5		
	12	一宮地区地域 路線東回り	いかまい館	一宮総合支所	いかまい館	往路17.8km	768回	往路17.8km	768回	1,383.0	1,383.0	1,383.0	1,383.0	1,388.5	1,388.5		
	13	一宮地区地域 路線西回り	いかまい館	一宮総合支所	いかまい館	往路15.8km	1,024回	往路16.1km	1,024回	1,582.0	1,599.5	1,582.0	1,612.0	1,588.0	1,618.5		
	14	一宮地区地域 路線中回り	いかまい館	一宮総合支所	いかまい館	往路16.3km	1,024回	往路16.3km	1,024回	1,549.5	1,549.5	1,549.5	1,549.5	1,555.5	1,555.5		
合 計										32,078	32,096	32,230	32,260	32,325	32,355	23,762	23,762

国庫補助上限額の事業者ごとの設定額の計算:提出済みの値の場合
・豊鉄バス上限額..... 7,918千円 ÷ (7,918 + 22,863) × 23,762 = 6,112千円
・豊鉄タクシー上限額: 22,863千円 ÷ (7,918 + 22,863) × 23,762 = 17,650千円
国庫補助上限額: 対象人口66,080人 × 299.07円 + 400万円 = 23,762千円(千円未満切捨て)

6.【報告事項】アンケート調査結果

6-1.【概要版】アンケート調査結果

(1) 調査の配布回収状況

回収率は、公共交通に関するアンケート（市民対象）、豊川市コミュニティバス利用者アンケート、豊鉄バス利用者アンケート、豊川市民病院来院者アンケートの4つの調査において、目標としていた回収率30%以上となりました。

(2) アンケート調査の結果

移動交通手段 →（詳細は6-3（1）参照）

・市民の移動の際に最も多く利用される移動手段は、通学目的を除くと、自動車という意見が約70%を占めています。次に自転車、徒歩、公共交通という順位になっています。市民病院来院者の交通手段としては、バスの利用率は5%に留まっています。

市の中心部への移動ニーズ →（詳細は6-3（2）参照）

・市の中心部には約60%の方が訪れており、頻度は週に1日以上が約35%となっています。
・利用が多い施設は、イオン豊川店、市役所周辺の図書館やブリオとなっています。

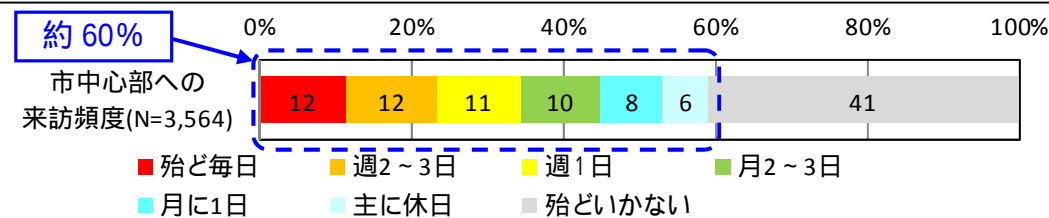


図6-1 市の中心部への来訪頻度（公共交通に関するアンケート）

豊川市コミュニティバス運行開始前後の利用状況 →（詳細は6-3（5）参照）

・平成23年11月の運行開始前後でバスを利用していた市民のうち、継続利用者は約55%、新規利用者は約25%いる一方で、運行開始後に利用しなくなった市民は約20%でした。

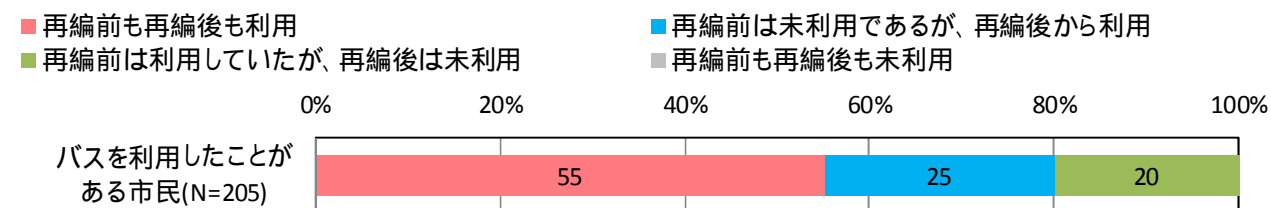


図6-2 コミュニティバス運行開始前後のバス利用有無（公共交通に関するアンケート）

平成25年5月の市民病院移転に合わせた見直し前後の変化 →（詳細は6-3（7）参照）

・豊川市コミュニティバス利用者では、「便利になった」の回答が「不便になった」よりも多くなっています。豊鉄バス利用者では、ほぼ同じ割合となっています。

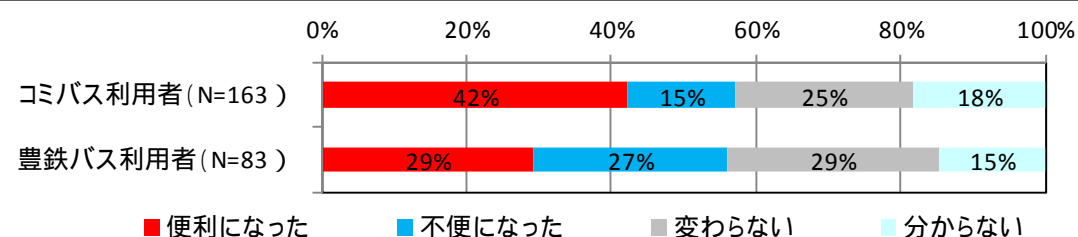


図6-3 平成25年5月の見直し前後の利便性の変化（バス利用者アンケート）

豊川市コミュニティバス運行開始による地域別のバスの利便性の変化 →（詳細は6-3（8）参照）

【平成23年11月の運行開始前後でバスを使ったことがある市民を対象に集計】

・西部・小坂井中学校区では、他の地域に比べて「便利になった」という割合が高くなっていますが、御津・金屋の各中学校区では、「不便になった」という割合が高くなっています。

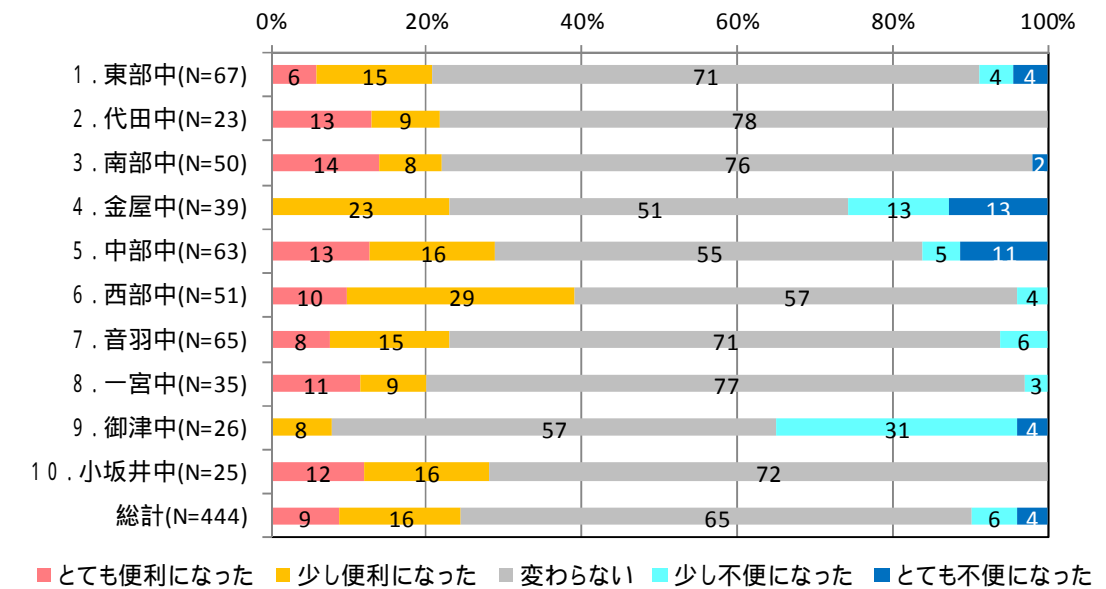


図6-4 地域別のバスの利便性の変化（公共交通に関するアンケート）

バス利用者の満足度 →（詳細は6-3（12）参照）

・豊川市コミュニティバスでは、運賃、運賃の割引、乗継券の使いやすさ、運行ダイヤの正確さ、車両の識別のしやすさの満足度が高くなっています。一方で、バス同士の乗継ぎのしやすさ、1日の運行本数は満足度が低くなっていますが、バス同士の乗継ぎのしやすさは平成24年度よりも高くなっています。

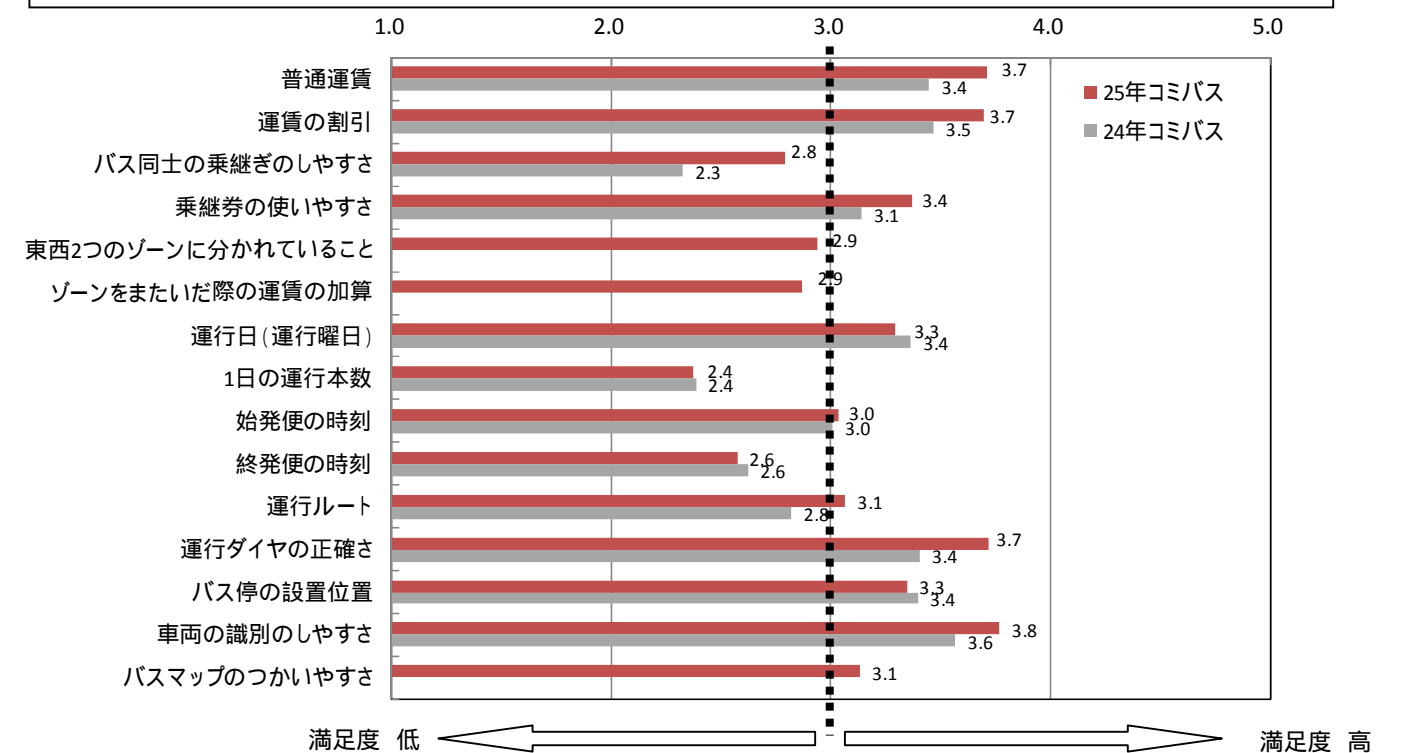


図6-5 豊川コミュニティバス利用者の満足度（バス利用者アンケート）

市民のバスの利用意識 →（詳細は 6 - 3（4）参照）

・現在バスが必要と考える市民は約 23%であり、その割合は高齢者ほど高くなっています。

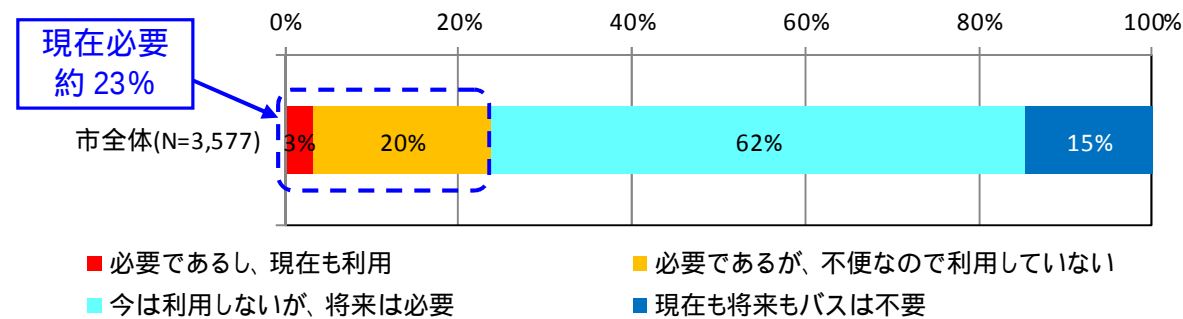


図 6-6 市民のバスの必要性の意識（公共交通に関するアンケート）

バスを不便と感じる、またはバスを利用しない理由 →（詳細は 6 - 3（10）参照）

・現在バスが必要と考える市民に着眼すると、「自動車の方が便利」という回答以外では「運行本数が少ない」「行きたいところに行けないから」の割合が高くなっています。

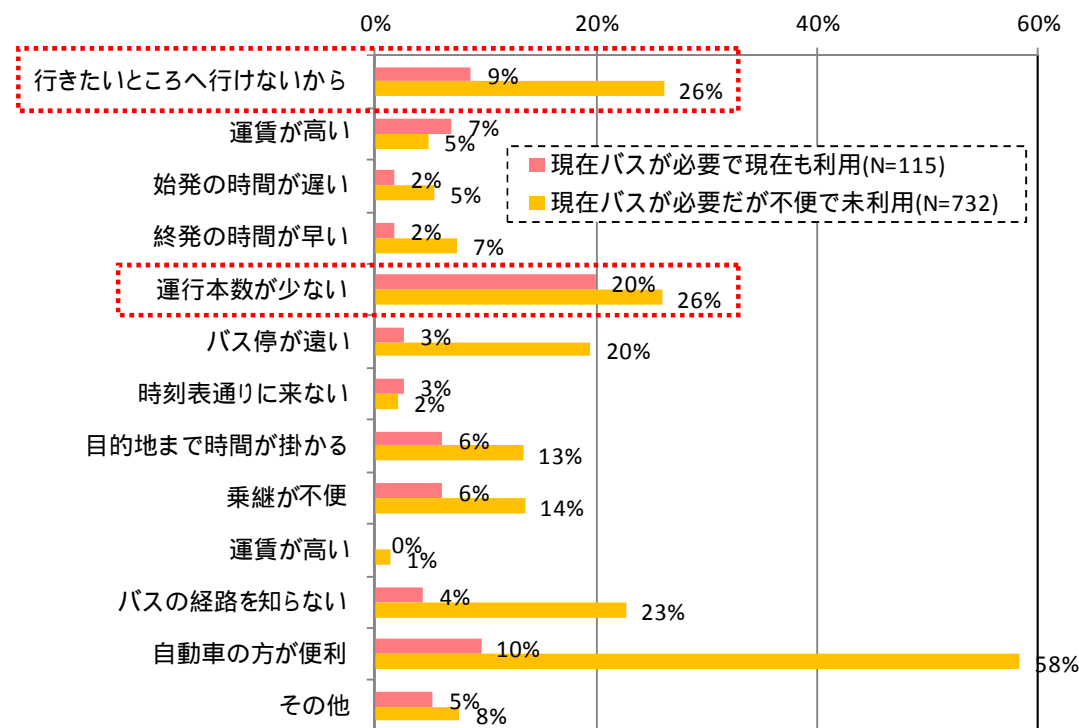


図 6-7 バスを不便と感じる、またはバスを利用しない理由（公共交通に関するアンケート）

公共交通活性化の取組みの満足度 →（詳細は 6 - 3（13）参照）

・「バスマップの世帯配布」、「回数券などの割引制度」、「広報の実施」等に関する満足度が高く、これらの取組みの結果、豊川市コミュニティバスの認知度は高くなっています。

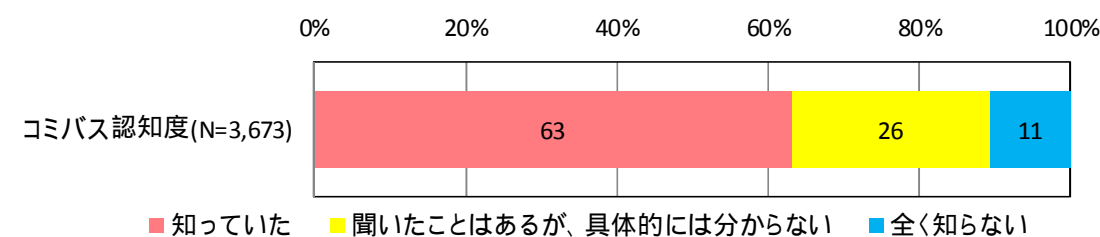


図 6-8 豊川市コミュニティバスの認知度（公共交通に関するアンケート）

路線維持のための税金負担の考え方の市民意識 →（詳細は 6 - 3（16）参照）

・豊川市コミュニティバス利用者と市全体の回答では、ともに「利便性維持のため、税金負担は現状並み」とする割合が高くなっていますが、豊川市コミュニティバス利用者では、市全体の回答に比べて「利便性向上のため、税金負担を増やす」とする割合が高くなっています。

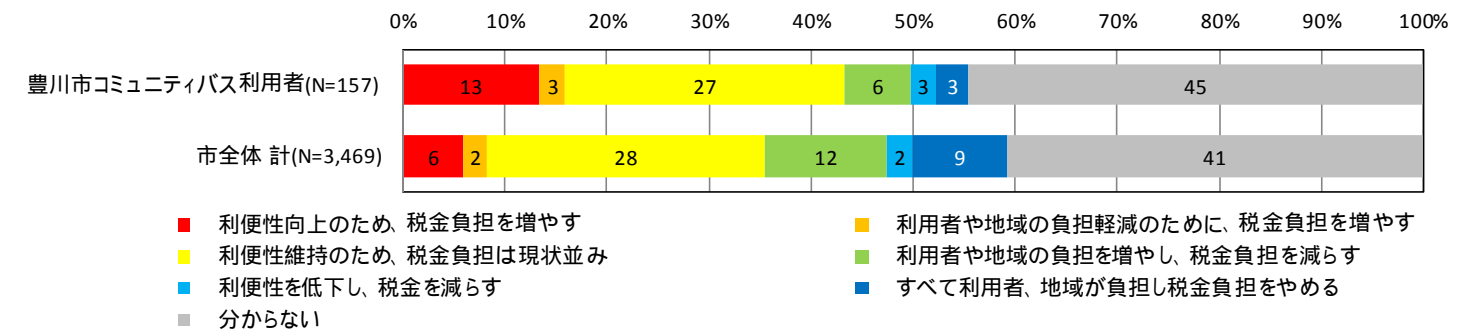


図 6-9 市民のバスを不便と感じる、または利用しない理由（バス利用者アンケート、公共交通に関するアンケート）

（3）豊川市民病院とゆうあいの里への動向変化（OD調査より）

平成 25 年 5 月の豊川市民病院の移転に伴う路線見直し後の豊川市民病院とゆうあいの里への動向変化を下記に示します。

行先地	動向の主な特徴
豊川市民病院	豊川市民病院への利用は、御津地区（御津線：御津支所、愛知御津駅前等）や音羽地区（音羽線：御油橋西、松並木東等）小坂井・蔵子地区（ゆうあいの里小坂井線：サツキ公園、伊奈駅前萬楽、蔵子2丁目等）国府地区（豊川国府線：国府駅、佃、上宿東）からの利用が多くなっています。
ゆうあいの里	ゆうあいの里への利用は、豊川体育館前（豊川国府線との乗継利用を含む）からの利用が多いほか、国府地区（上宿、国府駅）からの利用も多くなっています。

（4）調査結果からのまとめ

アンケート調査での特徴をまとめると、以下のとおりとなります。

市民の移動手段は自動車が主体ですが、現在バスを必要と思う市民は約 23%いること

市の中心部への移動ニーズは、約 6 割となっていること

バス路線の見直しによって、便利になったと回答している利用者の割合が多いこと

バスを利用している、あるいは必要としている市民がバスを不便と感じる理由として、特に運行本数やバスの経路（ルート）の面で、回答割合が多い傾向があること

路線維持のための税金負担の市民意識は、市民のバス利用意識によって回答に違いがあるものの、「現状並み」を求める回答が多いこと

路線維持のための税金負担の市民意識は、市民のバス利用意識によって回答に違いがあるものの、「現状並み」を求める回答が多いこと

路線維持のための税金負担の市民意識は、市民のバス利用意識によって回答に違いがあるものの、「現状並み」を求める回答が多いこと

6 - 2 . アンケート調査票の回収状況

・各アンケート調査の回収率は、目標であった 30%を超えています。

表 6-1 公共交通に関するアンケート回収結果

	回答数等
配布数	5,010 通
回収封筒数	1,648 通
回答率	32.9%
回答数総数	3,767 人
1 通の平均記入	2.28 人/通

表 6-2 バス利用者アンケート回収結果

			配布数	H25回収数	回収率	H24回収数	前年比 (H25/H24)
豊鉄バス			307	92	30.0%	126	73%
コ ミ バ ス	基幹 路線	豊川国府線	43	22	51.2%	27	81%
		千両三上線	67	23	34.3%	16	144%
		ゆうあいの里小坂井線	30	14	46.7%	22	64%
		一宮線	55	27	49.1%	11	245%
		音羽線	44	24	54.5%	31	77%
		御津線	25	14	56.0%	17	82%
		小計	264	124	47.0%	124	100%
	地域 路線	音羽地区地域路線 (つつじバス)	52	28	53.8%	27	104%
		御津地区地域路線 (ハートフル号)	23	14	60.9%	14	100%
		一宮地区地域路線 (本宮線のんほい号)	155	41	26.5%	10	410%
		御油地区地域路線 (ごゆりんバス)	28	19	67.9%	-	-
		小計	258	102	39.5%	51	200%
	コミバス計		522	226	43.3%	175	129%
バス合計			829	318	38.4%	301	106%

豊鉄バスのアンケートの配布日数は、H25年は1日間、H24年は2日間実施

コミバスのアンケートの配布日数は、H25年とH24年の2ヶ年とも5日間実施

表 6-3 市民病院来院者アンケート回収結果

	配布数	H25回収数	回収率	H24回収数	前年比 (H25/H24)
病院 アンケート	1,000	354	35.4%	464	76%

6 - 3 . アンケート調査結果

(1) 移動交通手段

- ・市民の移動手段の多くは、自動車利用が主体となっています。通学目的では、自転車や鉄道が多くなっています。
- ・市民病院来院者の交通手段は、自動車利用が主体となっています。移転前には公共交通を利用していなかった来院者のうち、移転後の市民病院来院者の約 6 %が「鉄道・バスを利用したことがある」と回答しています。

コミバス：豊川市コミュニティバス（全路線の合計）を示します。
豊鉄バス：新豊線・豊川線を示します。

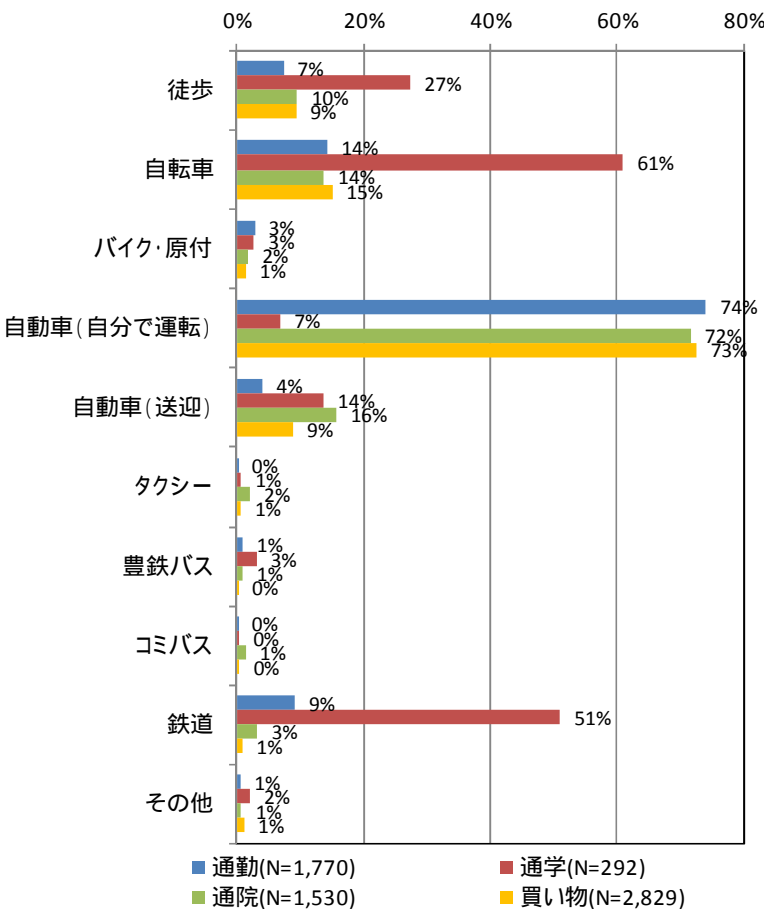


図 6-10 目的別の移動交通手段
(公共交通に関するアンケート)

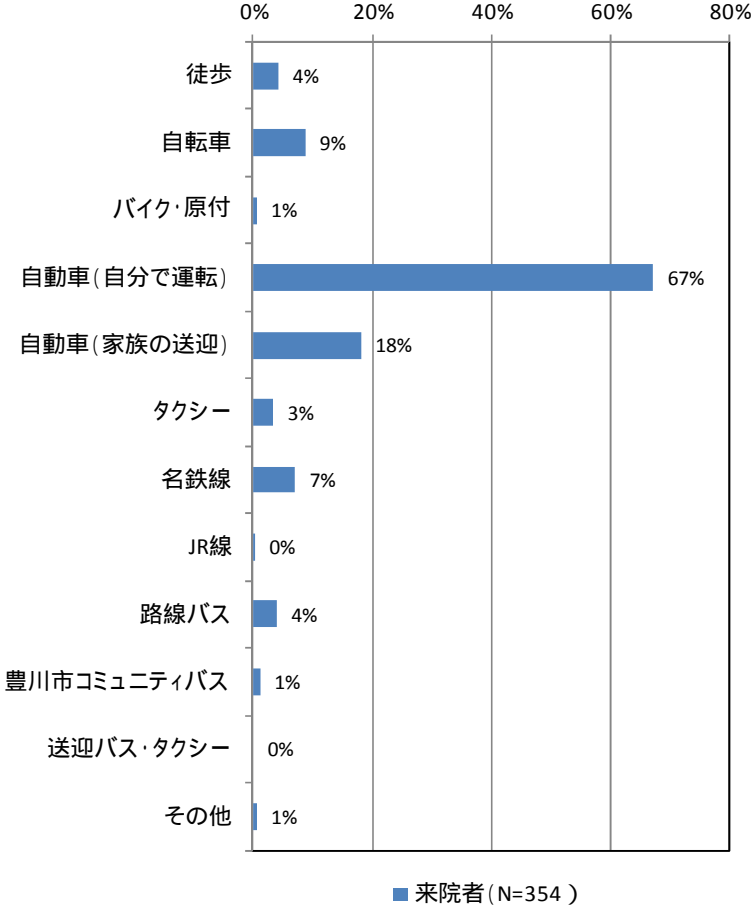


図 6-11 市民病院来院者の交通手段
(市民病院来院者アンケート)

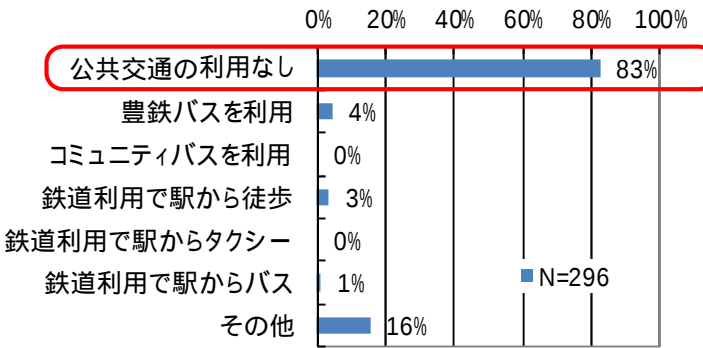


図 6-12 市民病院来院者の移転前の交通手段
(市民病院来院者アンケート)

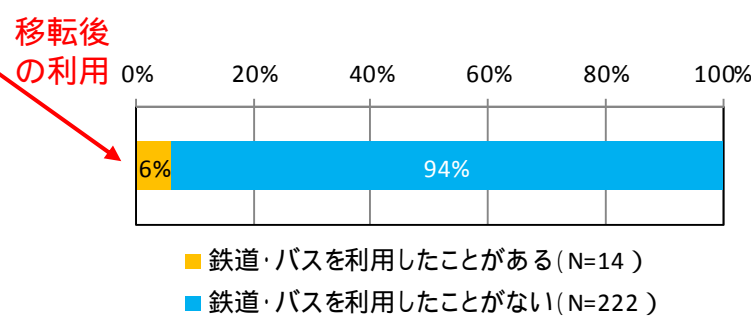


図 6-13 市民病院来院者の移転後の鉄道・バスの利用
(市民病院来院者アンケート)

(2) 市の中心部への移動ニーズ

- ・市の中心部には約 6 割の方が訪れており、頻度は週に 1 日以上が約 35%となっています。
- ・利用が多い施設は、イオン豊川店が最も多く、次いで市役所周辺の図書館やプリオが多くなっています。
- ・交通手段は自動車利用が多く、公共交通の利用は少なくなっています。

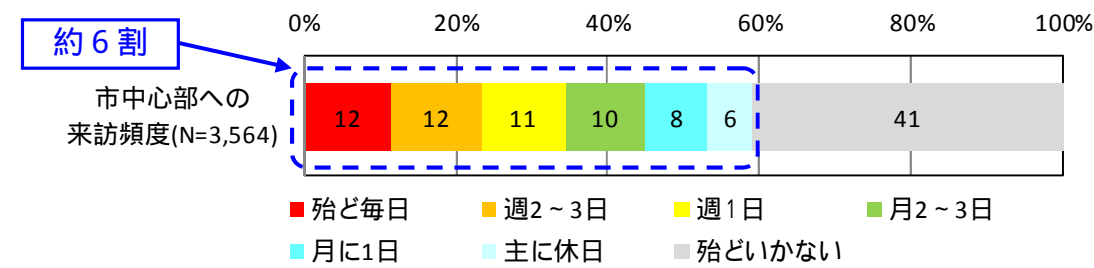


図 6-14 市の中心部への来訪頻度 (公共交通に関するアンケート)

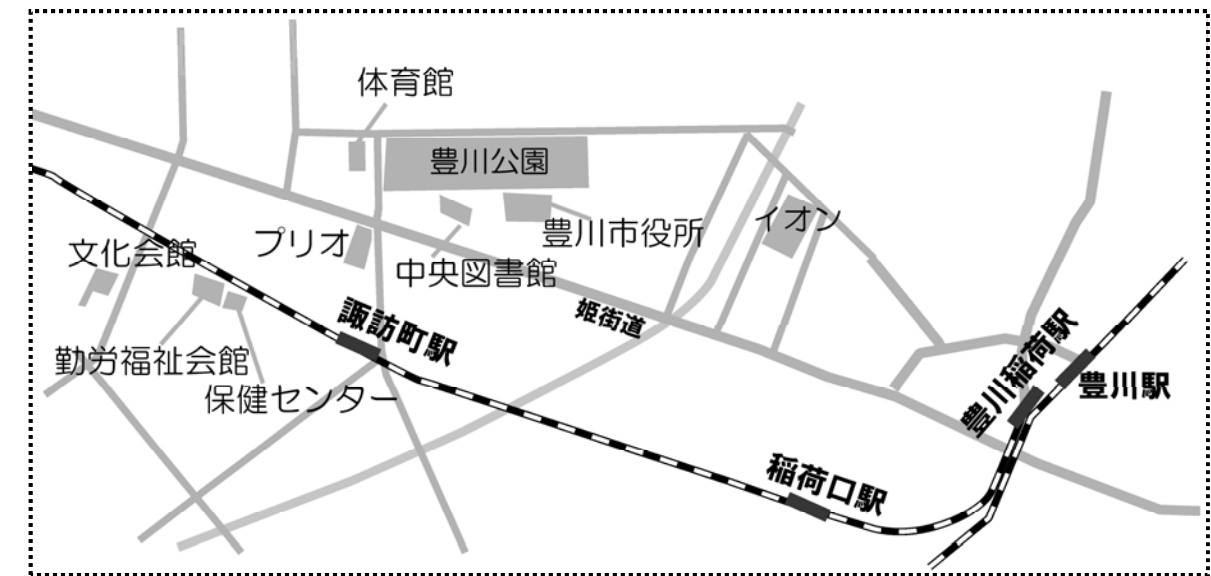


図 6-16 豊川市の中心部のエリアイメージ (公共交通に関するアンケート)

表 6-4 市の中心部の来訪施設：利用が多い施設 (公共交通に関するアンケート)

	医療施設		商業施設		その他施設	
1	保健センター	11	イオン豊川店	534	中央図書館	173
2	後藤病院	9	プリオ	233	市役所	57
3	丹羽クリニック	5	サンヨネ豊川店	44	体育館	30

(3) バスで行けるようになって欲しい市内の施設

- ・市民病院が最も多くなっています。
- ・次いで、イオン豊川店、豊川市役所、中央図書館などの、市の中心部に位置する施設が多くなっています。

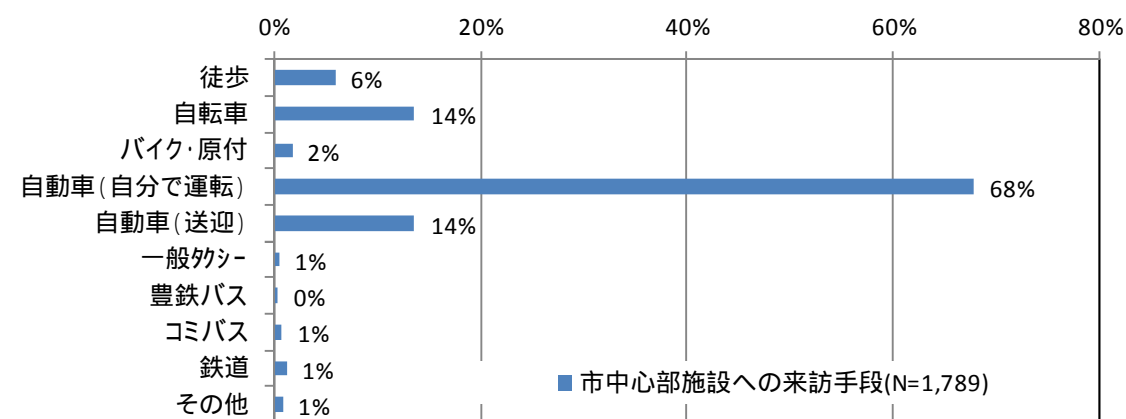


図 6-15 市の中心部施設への交通手段 (公共交通に関するアンケート)

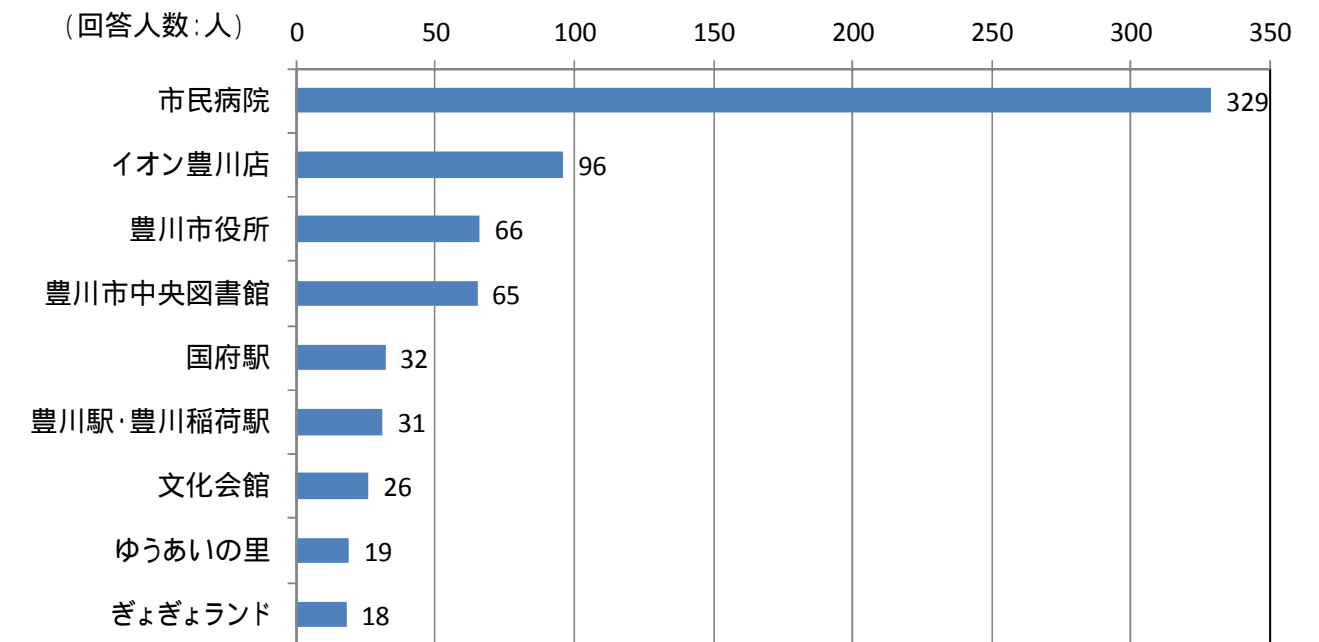


図 6-17 バスで行けるようになって欲しい市内の施設 (公共交通に関するアンケート)

(4) 市民のバス・鉄道の利用意識

- ・現在、バスが必要と考えている市民は、約 23%となっています。その割合は高齢者ほど高くなる傾向にあります。
- ・現在、鉄道・バス以外で市民病院に行く方の約 22%は、来院時に「鉄道・バスを利用したいが出来ない」と回答しています。

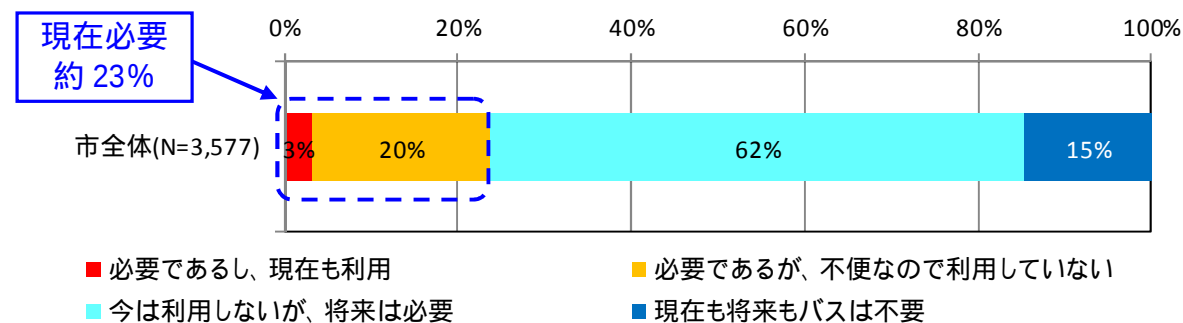


図 6-18 市民のバスの必要性の意識（公共交通に関するアンケート）

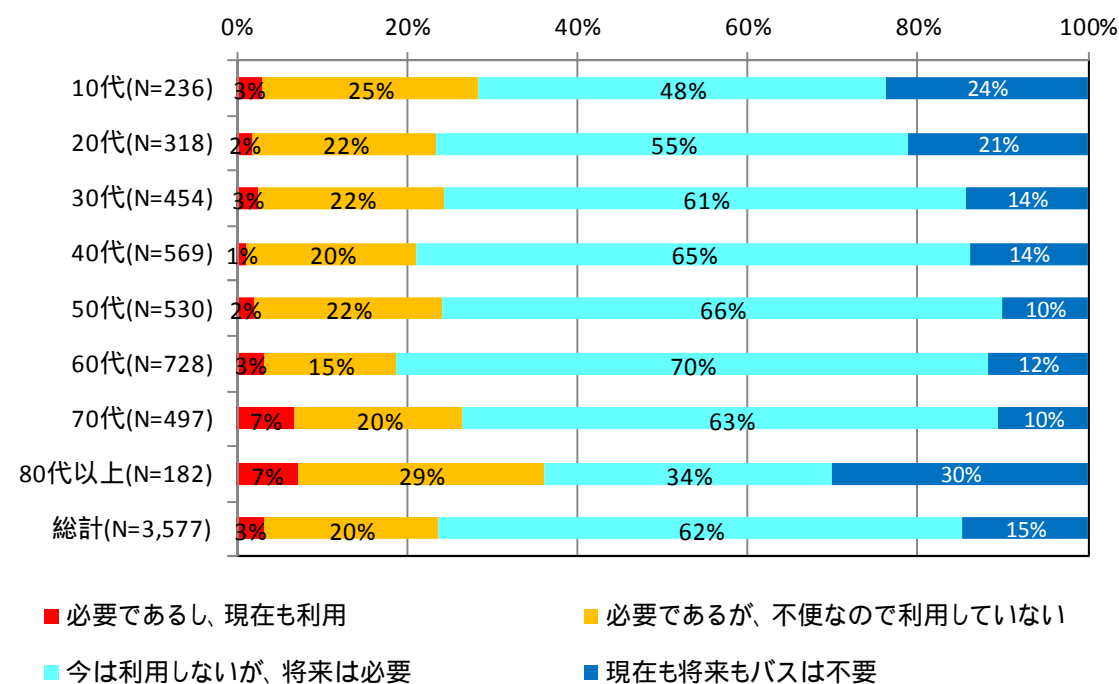


図 6-19 市民のバスの必要性の意識：年齢別（公共交通に関するアンケート）

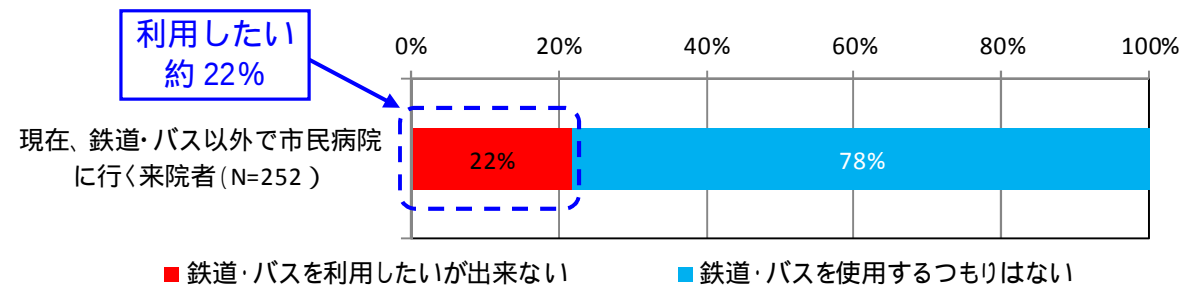


図 6-20 現在、鉄道・バス以外で市民病院に行く方の鉄道・バスの利用意識（市民病院来院者アンケート）

(5) コミバスの運行開始前後の市民のバス利用状況と外出機会や利便性の変化

- ・平成 23 年 11 月の運行開始前後でバスを利用していた市民のうち、継続利用者は約 55%、新規利用者は約 25%いる一方で、運行開始後に利用しなくなった市民は約 20%います。
- ・市全体では、バスを利用していない割合が約 93%と多くなっていますが、そのうちの約 20%は、現在バスを必要と回答しています。
- ・バスの利便性の変化について、平成 23 年 11 月の運行開始前後でバスを利用したことがある市民のうち、33%が「便利になった」と回答しています。
- ・平成 23 年 11 月の運行開始前後の外出機会の変化については、「増えた」と「減った」が同じ割合となっていますが、現在バス利用する市民は「増えた」の割合が多く、以前にバスを利用していた市民は「減った」の割合が多くなっています。

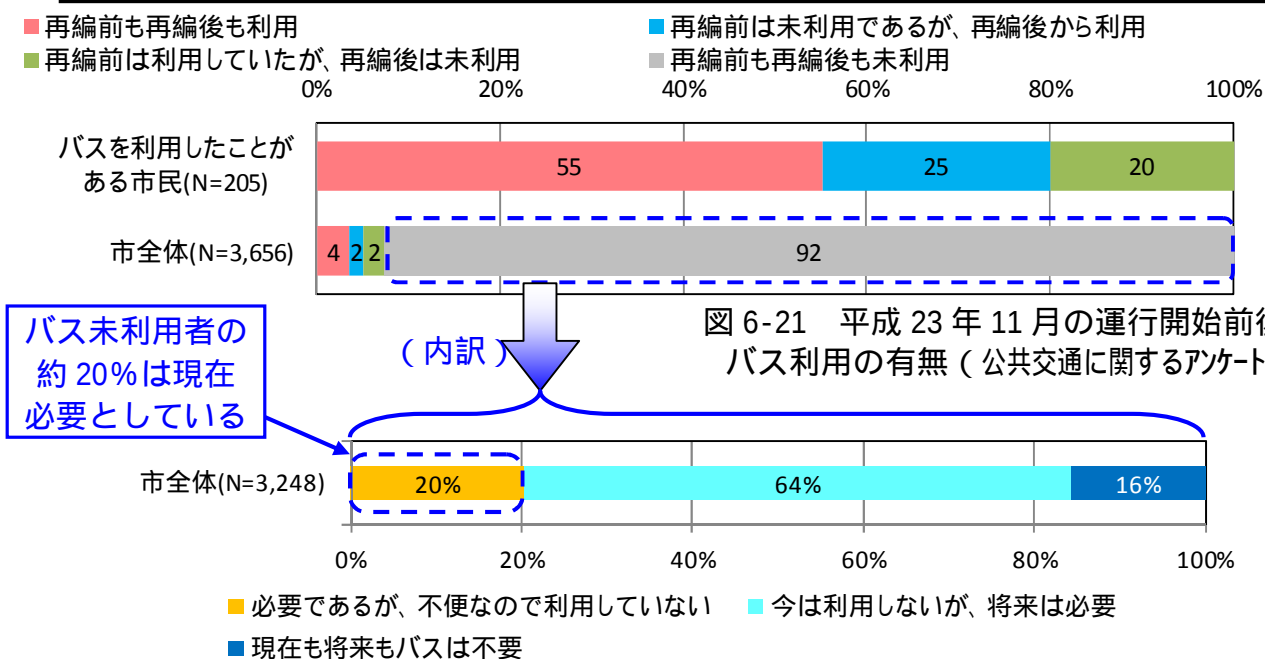


図 6-21 平成 23 年 11 月の運行開始前後のバス利用の有無（公共交通に関するアンケート）

図 6-22 平成 23 年 11 月の運行開始前後のバス利用の有無（公共交通に関するアンケート）

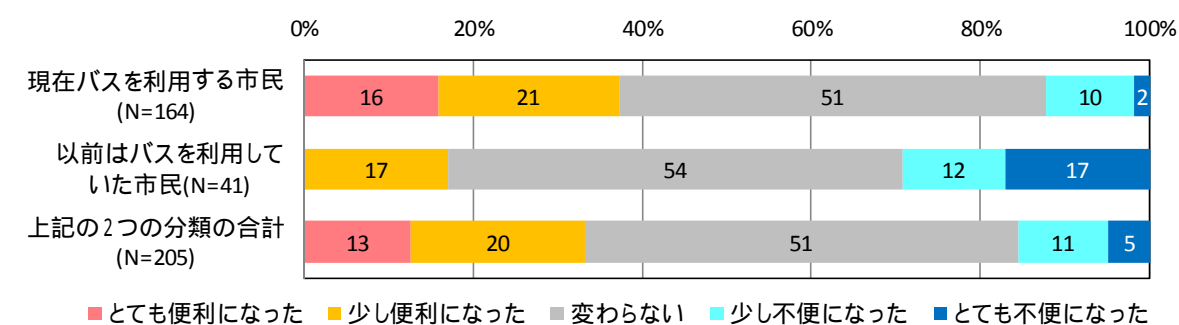


図 6-23 平成 23 年 11 月以前と比べたバスの利便性の変化（公共交通に関するアンケート）

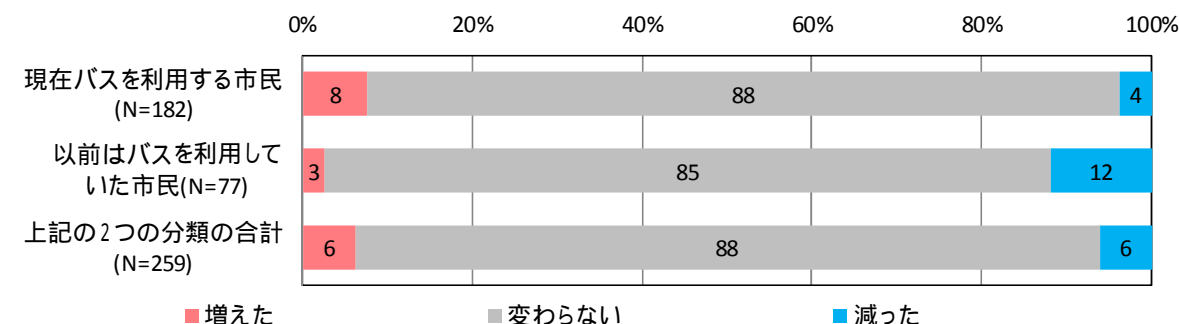


図 6-24 平成 23 年 11 月の運行開始前後の外出機会の変化（公共交通に関するアンケート）

(6) バス利用者のコミュニティバス運行開始前後の行動の変化

- ・豊川市コミュニティバス利用者では、昨年の調査時点と比べると、「外出回数」や「バスの利用回数」で「増えた」の割合が多く、「行けなかったところへ行ける」「送迎に頼らず移動できる」「安全に移動できる」について「そう思う」の割合が多くなっており、行動が変化している状況が見受けられます。
- ・豊鉄バスについては、昨年の調査時点と比べ、「外出回数」や「バスの利用回数」に変化が少なく、「行けなかったところへ行ける」「送迎に頼らず移動できる」「安全に移動できる」について、行動の変化の影響が小さくなっています。

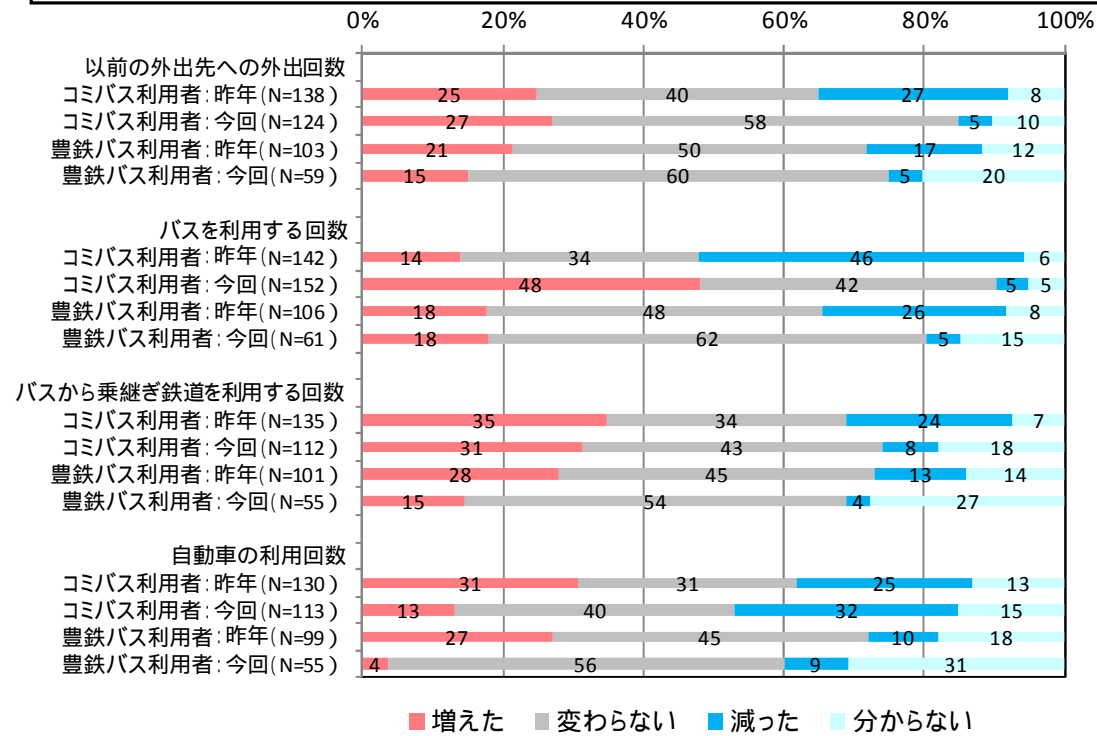


図 6-25 平成 23 年 11 月の運行開始前後の行動回数の変化 (バス利用者アンケート)

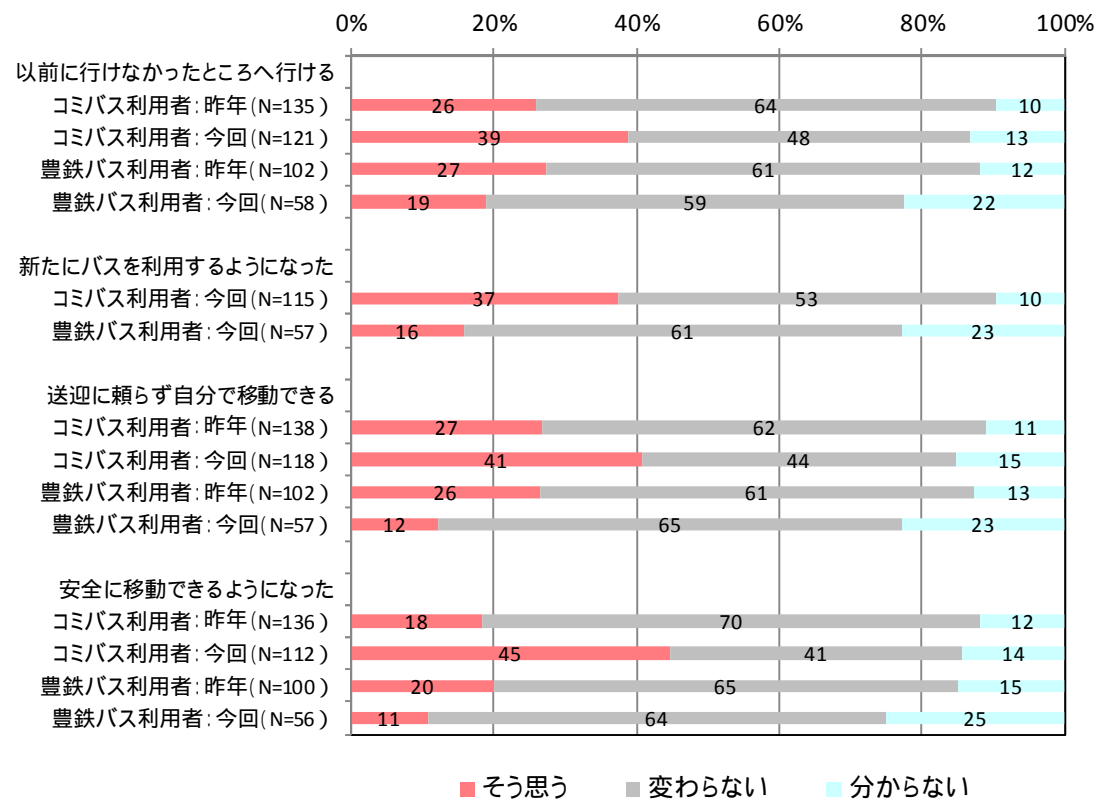


図 6-26 平成 23 年 11 月の運行開始前後の行動の変化 (バス利用者アンケート)

(7) 平成 25 年 5 月の市民病院移転に合わせたバス見直し前後の利便性の変化

- ・利便性の変化については、豊川市コミュニティバス利用者では「便利になった」の割合が「不便になった」よりも多くなっていますが、豊鉄バスではほぼ同じとなっています。
- ・豊川市コミュニティバス利用者では、「便利になった」理由で路線の延長にすることが目立つ一方で、「不便になった」理由では運行本数の減少が目立っています。
- ・豊鉄バス利用者では、「便利になった」理由で市民病院への利便性向上が目立つ一方で、「不便になった」理由では市民病院への立寄りによる所要時間の延長が目立っています。

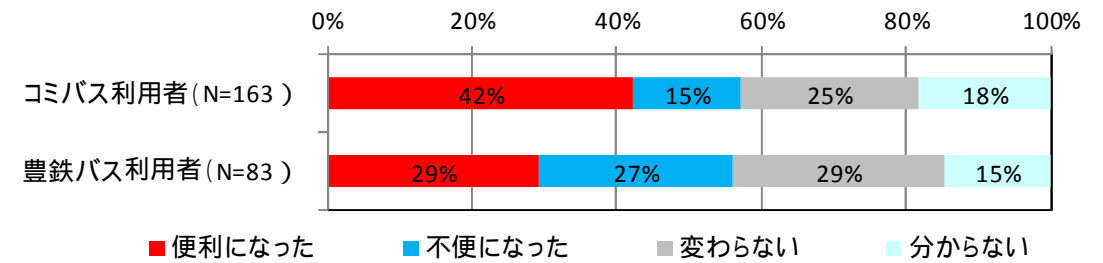


図 6-27 平成 25 年 5 月の見直し前後の利便性の変化 (バス利用者アンケート)

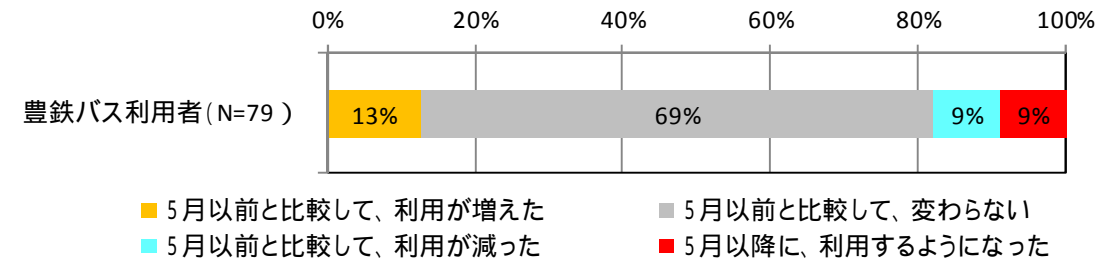


図 6-28 豊鉄バス利用者の平成 25 年 5 月以後の利用頻度の変化 (バス利用者アンケート)

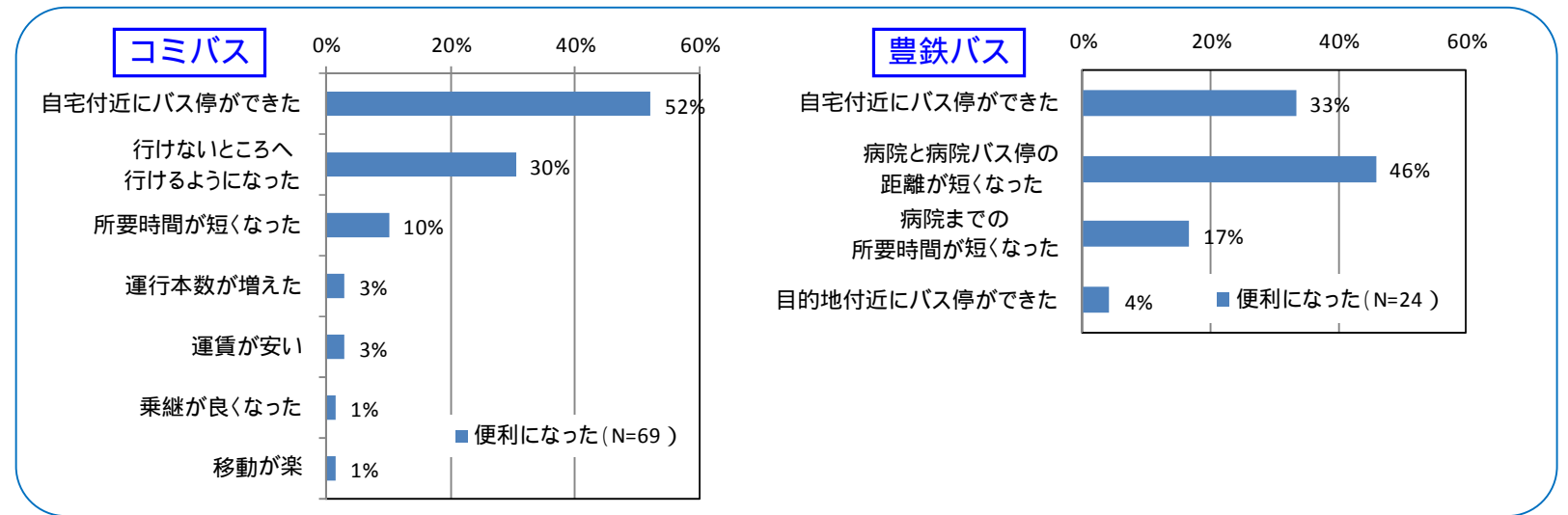


図 6-29 便利になった理由 (バス利用者アンケート)

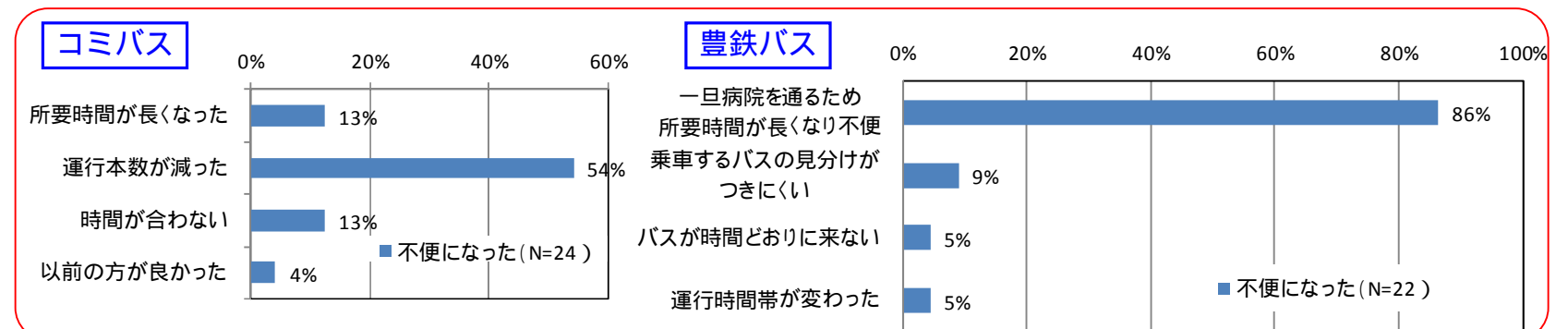


図 6-30 不便になった理由 (バス利用者アンケート)

(8) 地域別の集計

豊川市コミュニティバスが運行を開始したことによる地域別の外出機会の変化

【平成 23 年 11 月の運行開始後もバスを使っている市民を対象に集計】

- ・すべての中学校区で、外出頻度は「変わらない」という割合が多くなっています。
- ・中学校区 10 校区のうち、6 校区で「増えた」という割合が多くなっています。金屋中学校区と一宮中学校区では、「減った」という割合が多くなっています。

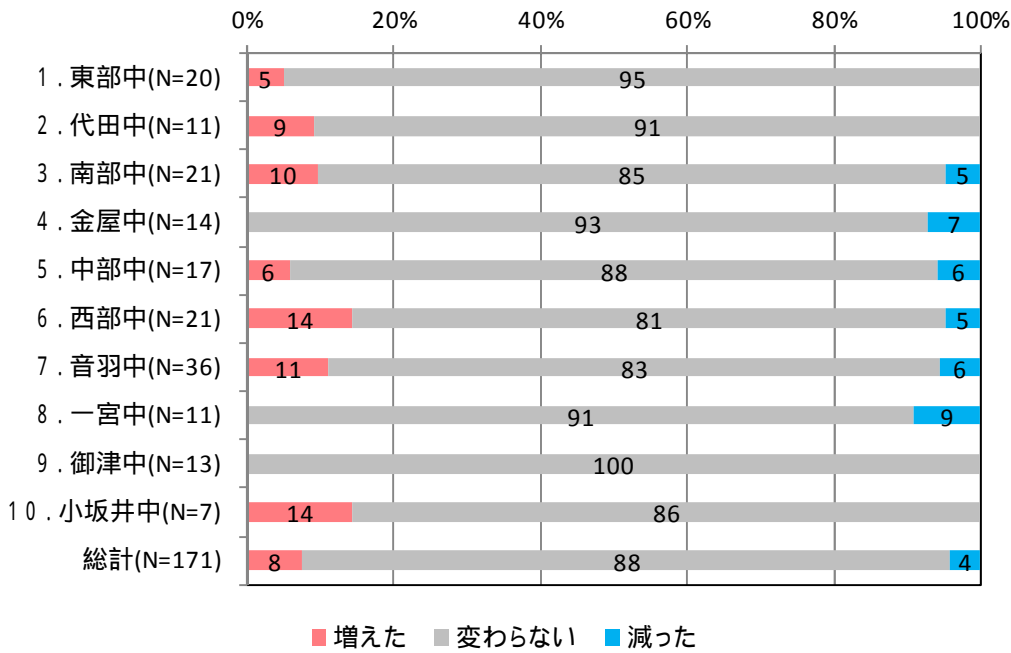


図 6-31 地域別の外出機会の変化（公共交通に関するアンケート）

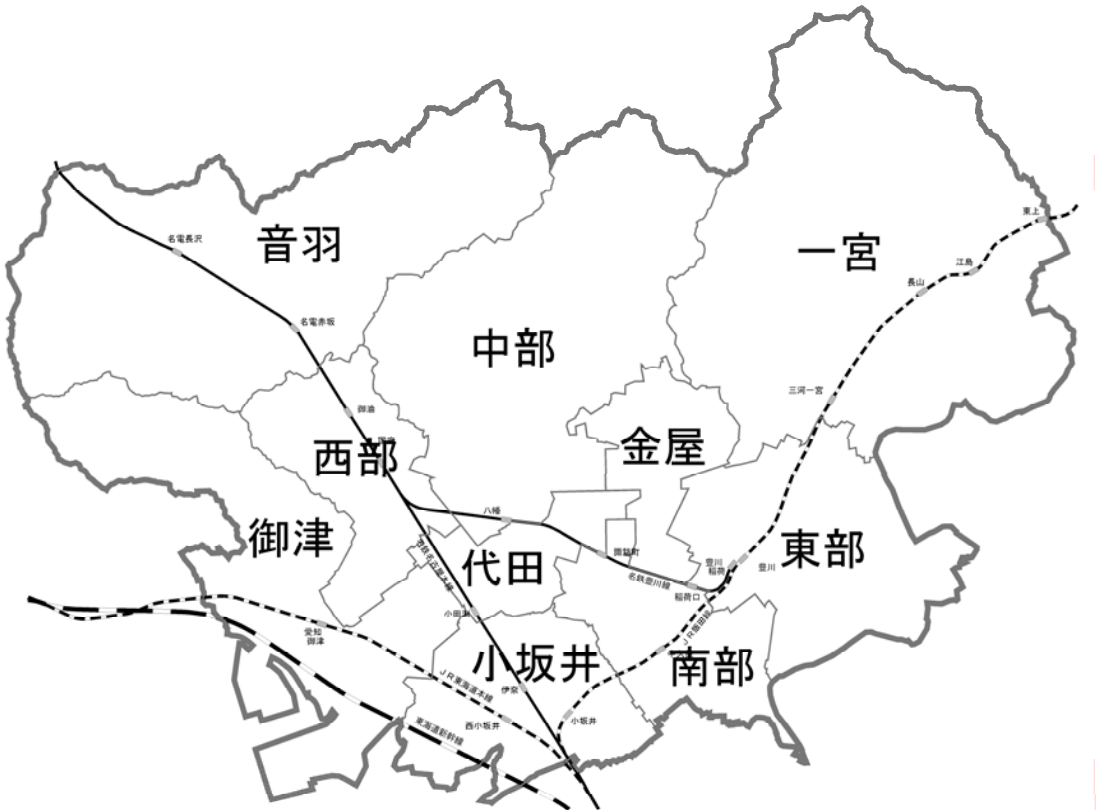


図 6-32 豊川市内の中学校区

豊川市コミュニティバスが運行を開始したことによる地域別の利便性の変化

【平成 23 年 11 月の運行開始前後でバスを使ったことがある市民を対象に集計】

- ・西部中学校区、小坂井中学校区では、豊川市コミュニティバス運行開始前後と比較して「便利になった」という割合が他の地域に比べて高くなっています。
- ・一方、御津・金屋の各中学校区では、「不便になった」という割合が高くなっています。

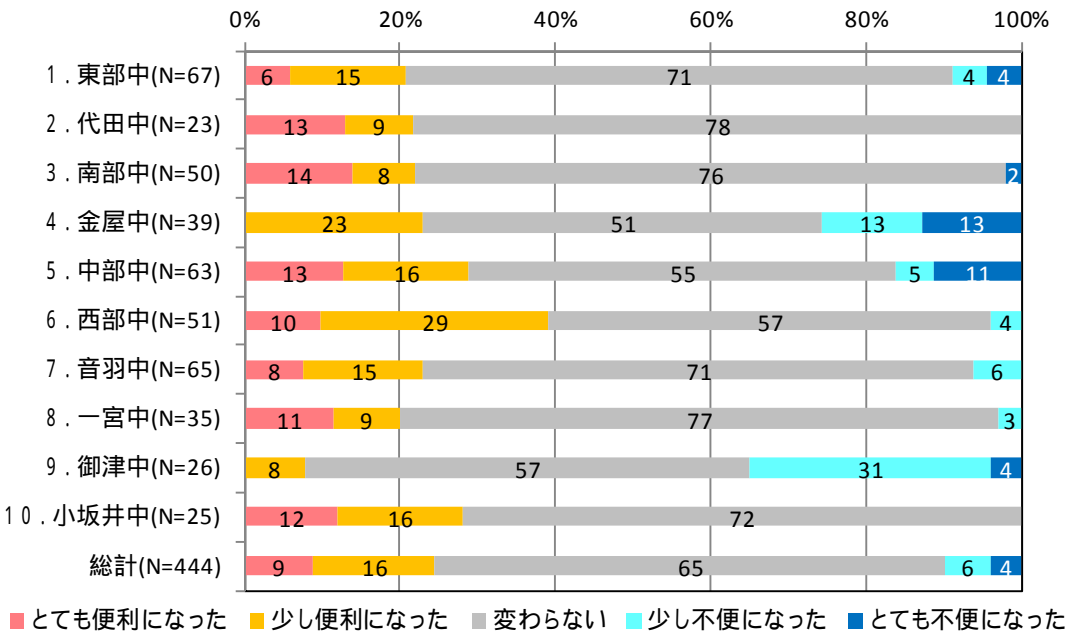


図 6-33 地域別のバスの利便性の変化（公共交通に関するアンケート）

地域別のバスの必要性の意識

- ・中心部に近い金屋中学校区、中部中学校区、南部中学校区では、「バスが必要」の割合が高くなっています。
- ・一方、小坂井中学校区、代田中学校区では「現在も将来もバスは不要」の割合が高くなっています。

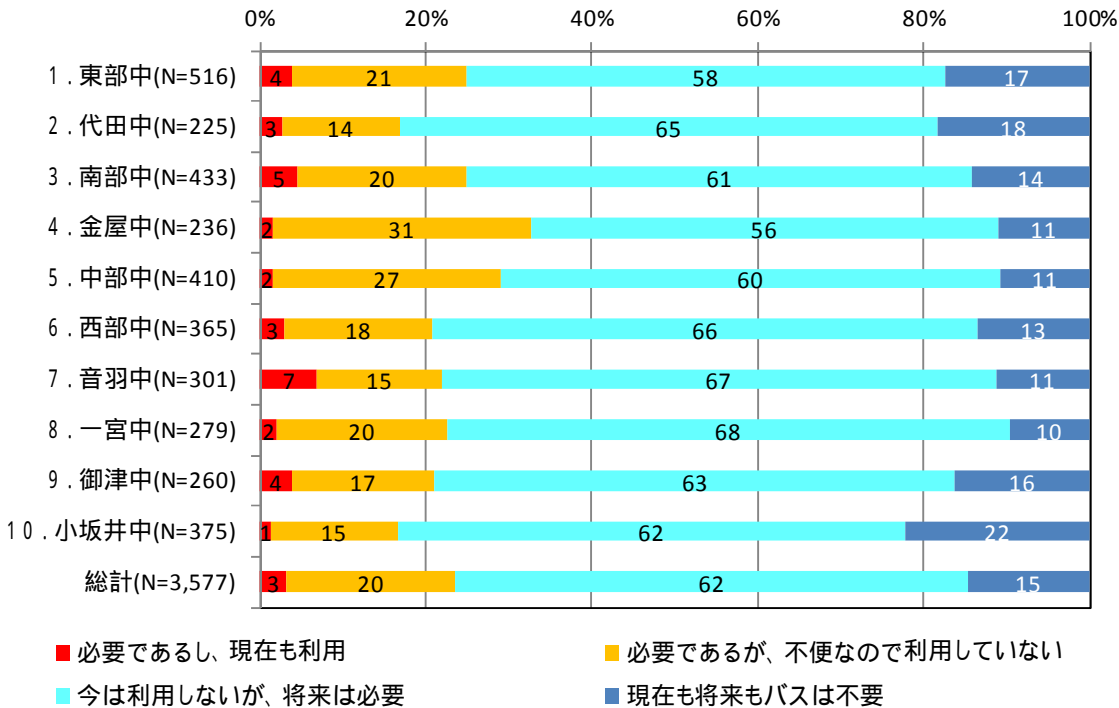


図 6-34 地域別のバスの必要性の意識（公共交通に関するアンケート）

(9) 交通手段の選択理由

公共交通に関するアンケートより

- 公共交通利用者が公共交通を選択する理由としては、通学・通院・買い物目的では、「他に交通手段がないから」の割合の高さが目立つ一方、「便利だから」も次いで高くなっています。通勤目的では「時間通りに行けるから」「早く行くことができるから」の割合が高くなっています。
- 自動車利用者が自動車を選択する理由としては、通学目的を除く3つの目的で「早く行くことができるから」「便利だから」の割合が高く、買い物目的では「荷物があるから」の割合も高くなっています。

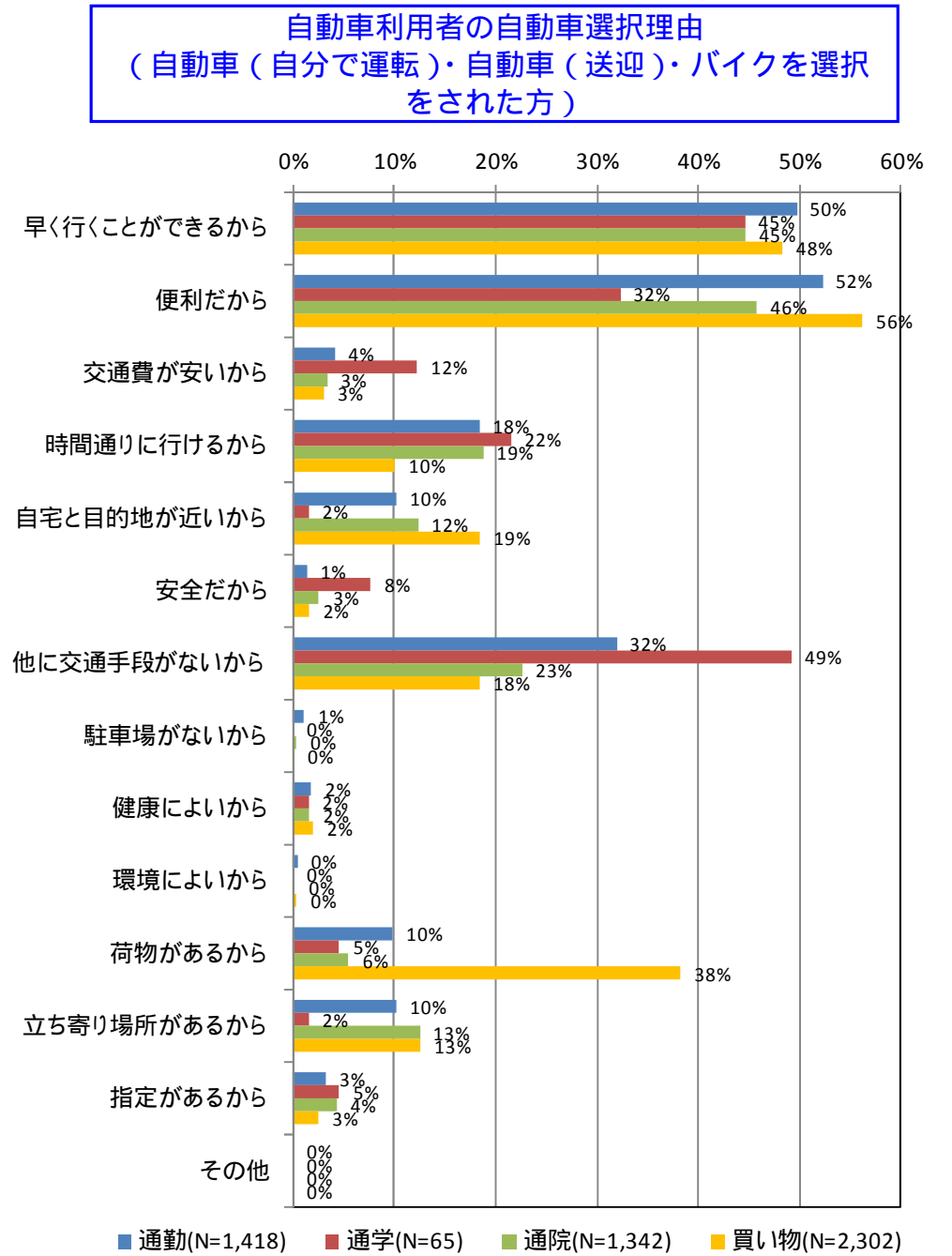
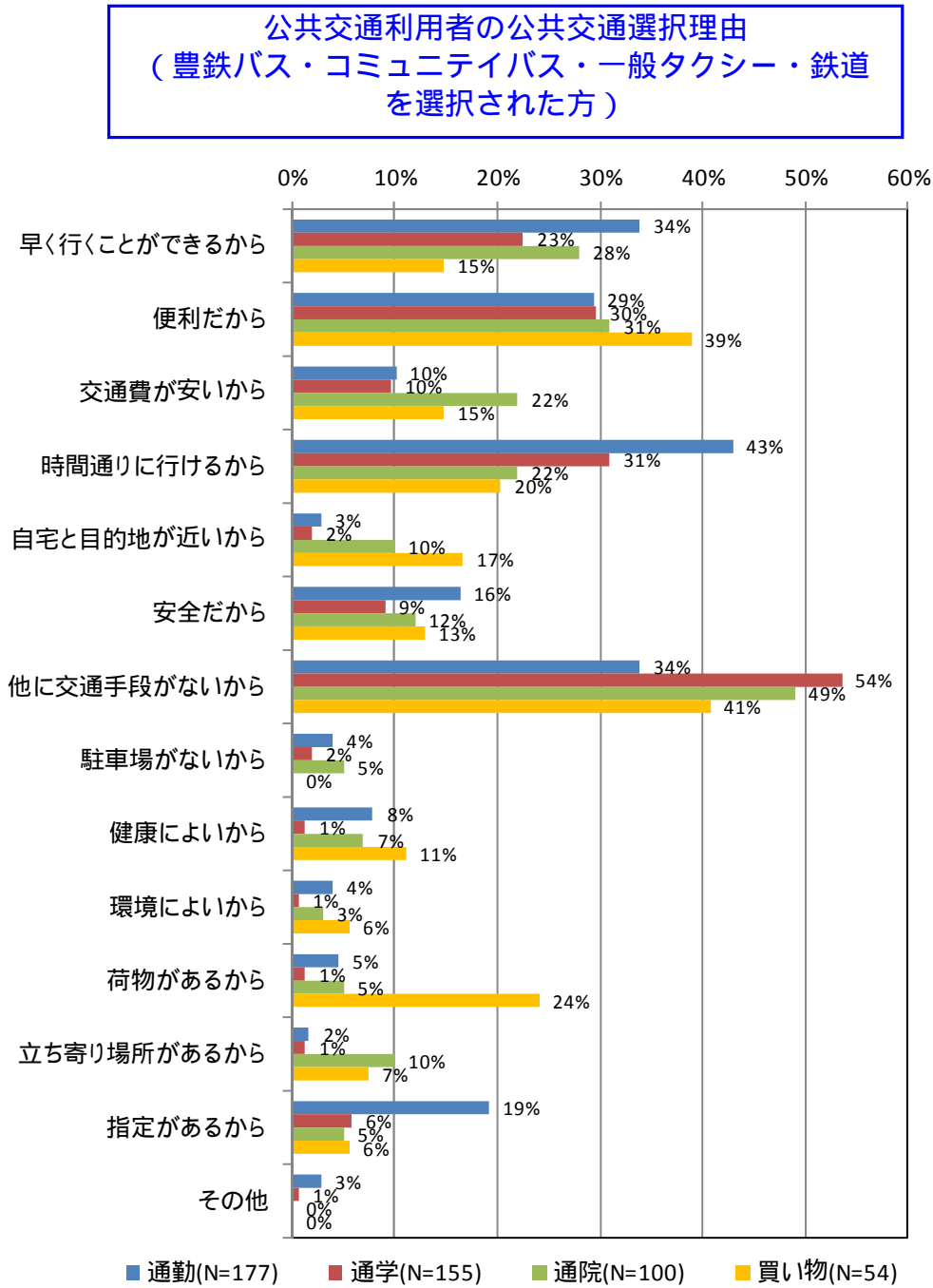


図 6-35 市民の移動目的別の交通手段選択理由 (公共交通に関するアンケート)

バス利用者

- ・バス利用者がバスを選ぶ理由として、「出発地や目的地がバス停に近いから」の割合が最も高くなっています。次いで、「他に利用できる交通手段がないから」の割合が高くなっています。
- ・豊川市コミュニティバス利用者では、「交通費が安いから」も割合の高さが目立っています。

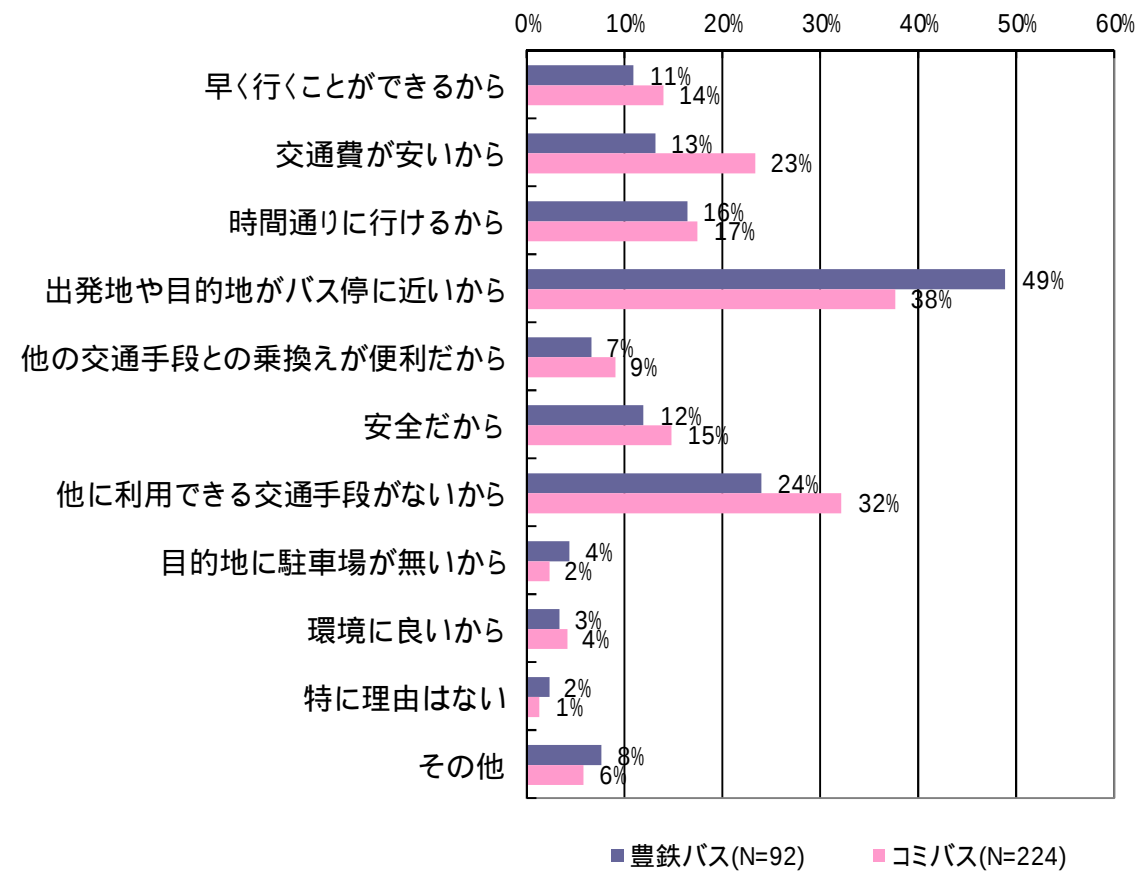


図 6-36 バス利用者のバス利用理由（バス利用者アンケート）

市民病院来院者（鉄道とバス利用者を抽出）

- ・鉄道やバスを利用した市民病院来院者が交通手段を選ぶ理由として、鉄道利用者では「出発地や病院が駅やバス停に近いから」「時間通りに行けるから」の割合が高くなっています。
- ・一方、バス利用者では、「出発地や病院が駅やバス停に近いから」「交通費が安いから」「他に利用できる交通手段がないから」「時間通りに行けるから」の割合が高くなっています。

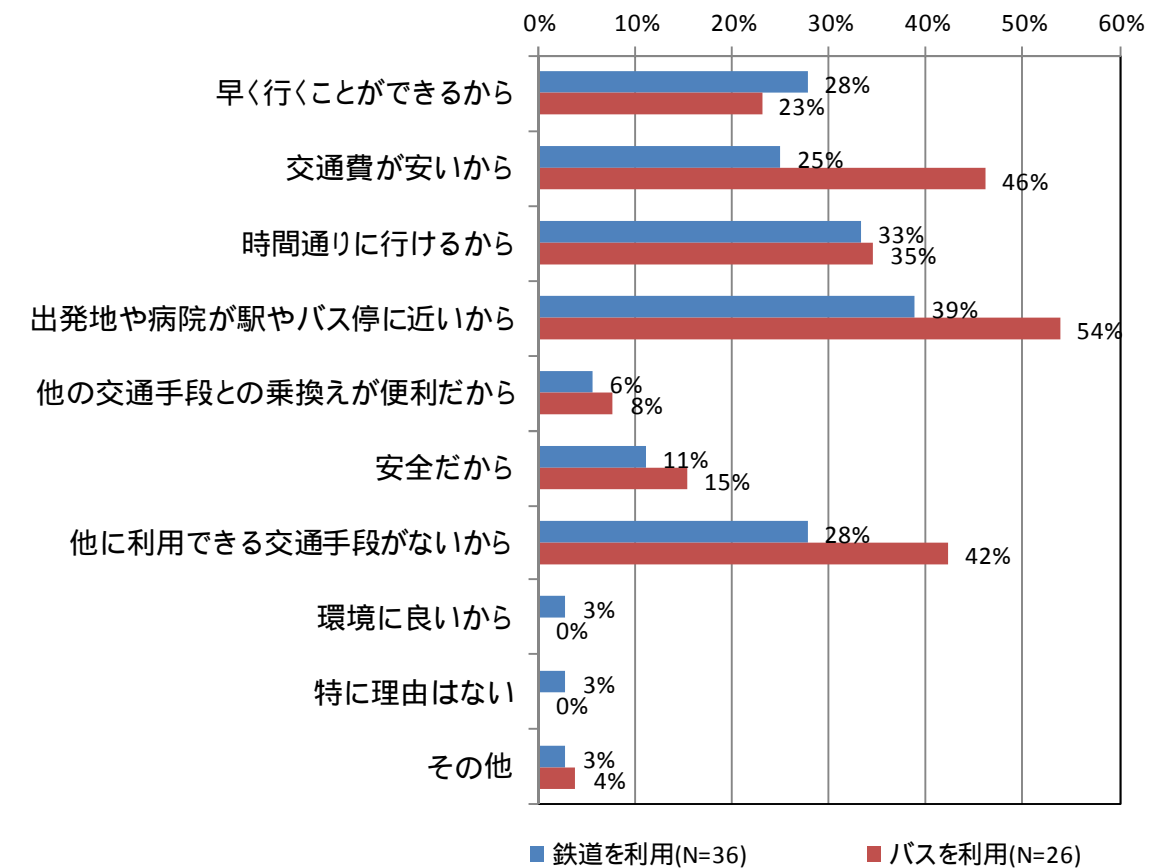


図 6-37 市民病院来院者の鉄道・バス利用理由（市民病院来院者アンケート）

(1 0) バスを不便と感じる、または利用しない理由

- ・「自動車の方が便利」という回答以外では、現在バスが必要で現在も利用している市民は、「運行本数が少ない」の割合が高くなっています。また、現在バスが必要だが不便で未利用の市民では、「行きたいところに行けないから」「運行本数が少ない」「バスの経路を知らない」「バス停が遠い」の順で割合が高くなっています。
- ・市民病院来院者では、「自分で運転できる」という回答以外では、「バス停が遠い」「家族の送迎がある」「時間がかかる」という理由の割合が高くなっています。

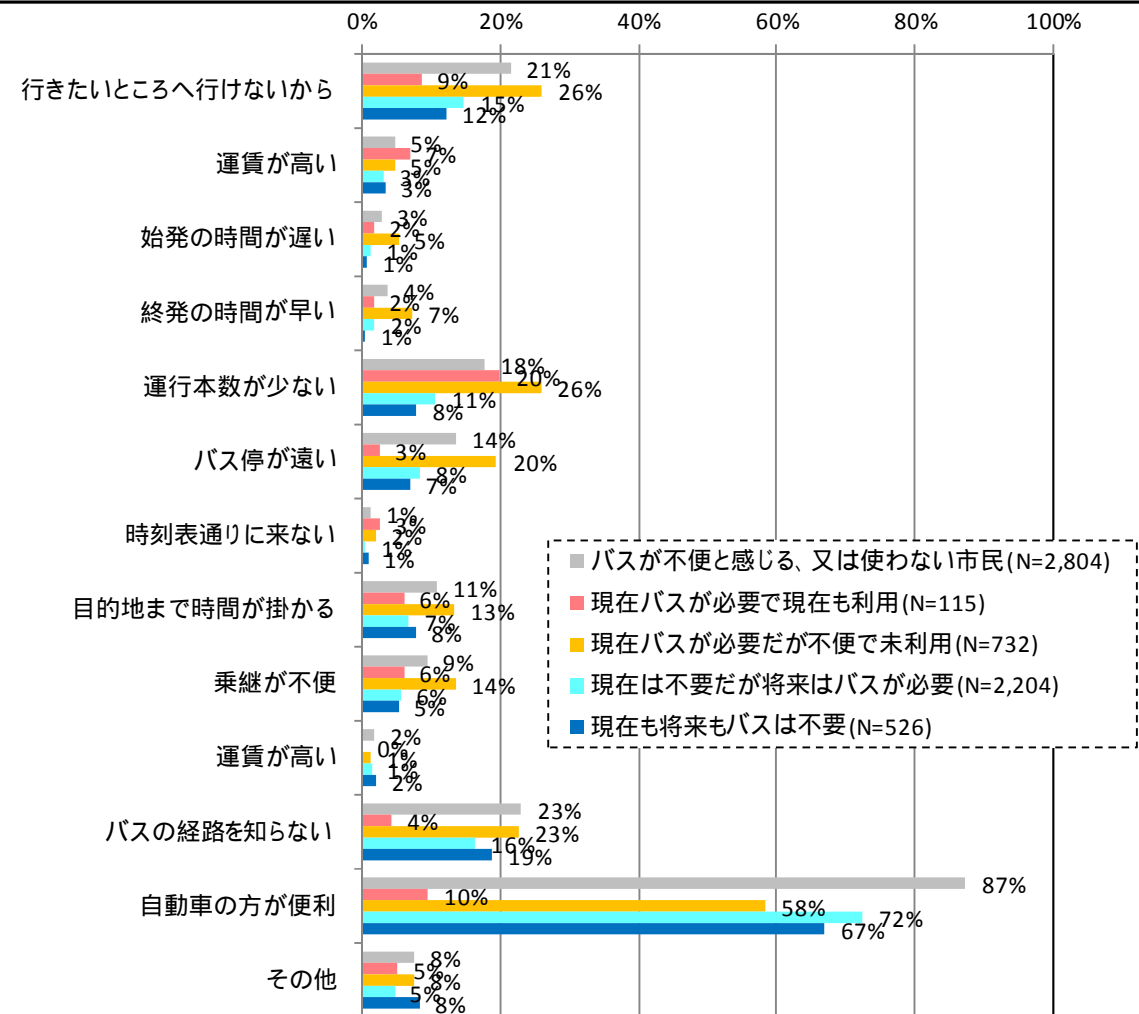


図 6-38 バスを不便と感じる、または利用しない理由（公共交通に関するアンケート）

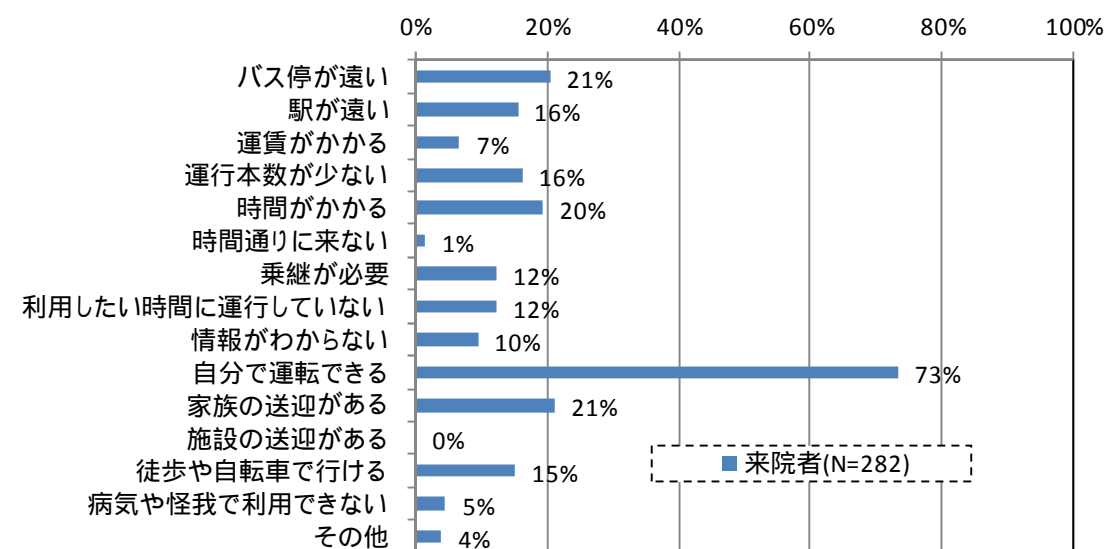


図 6-39 市民病院来院者の鉄道・バスを利用しない理由（市民病院来院者アンケート）

(1 1) バスの乗継利用のニーズ

- ・バス利用アンケートの回答者の乗継利用については、約 1 割と少なくなっています。
- ・OD 調査の結果で見る乗継利用割合は、全体では約 11% となっています。
- ・千両三上線と音羽地域路線では、鉄道との乗継割合が多くなっています。

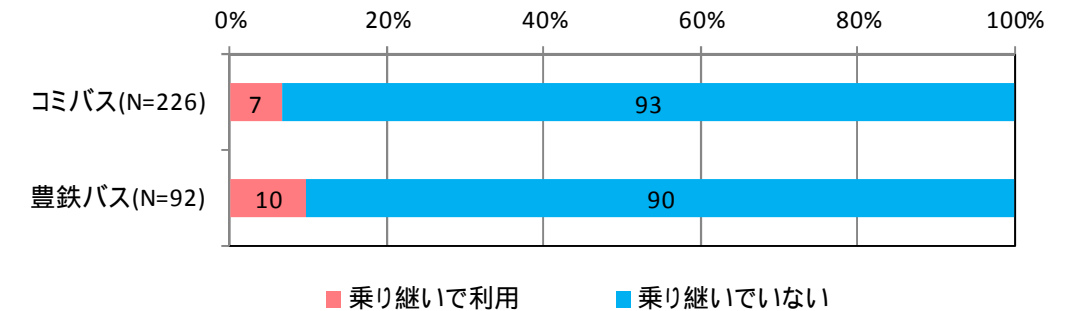


図 6-40 アンケート調査時の乗継利用状況（バス利用者アンケート）

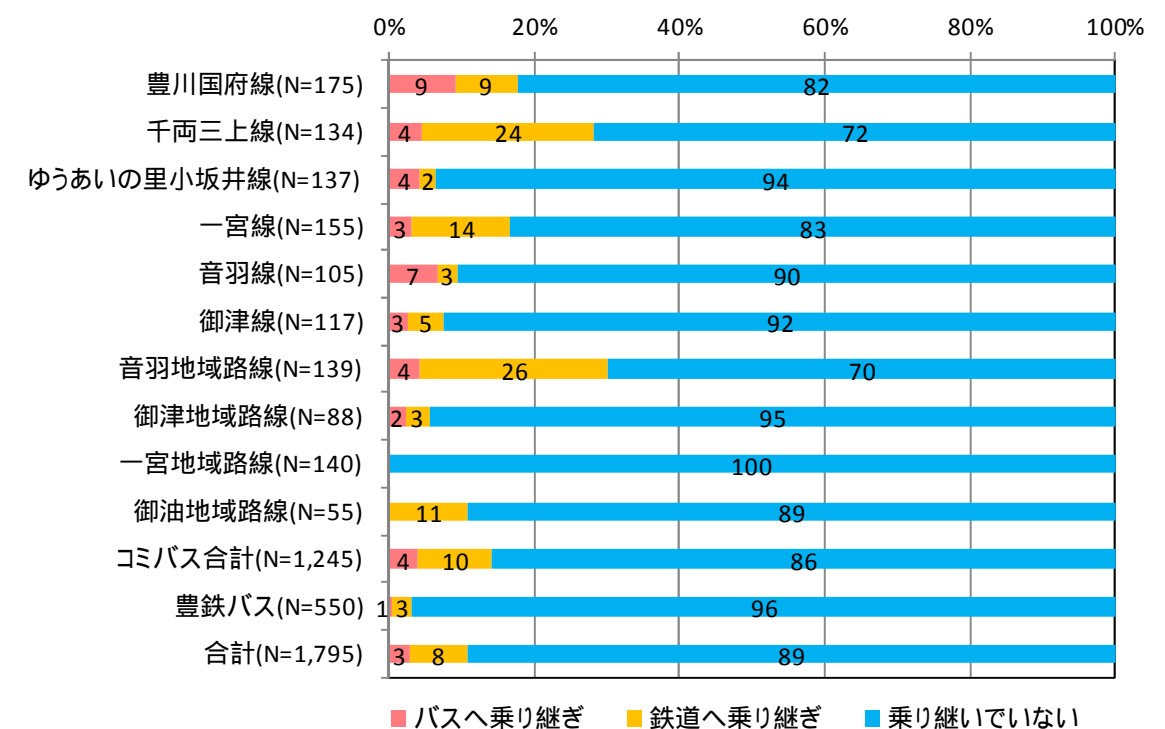


図 6-41 OD 調査時の乗継利用状況（バス OD 調査）

評価: とても満足→5点、満足→4点、ふつう→3点、悪い→2点、とても悪い→1点、分からない→0点 として各設問の平均点を算出した。

(1 2) バス利用者の満足度

- ・豊川市コミュニティバスでは、概ね満足度は高くなっています。特に、 運賃、 運賃の割引、 乗継券の使いやすさ、 運行ダイヤの正確さ、 車両の識別のしやすさの満足度が高くなっています。一方で、 バス同士の乗継ぎのしやすさ、 1日の運行本数は満足度が低くなっていますが、 バス同士の乗継ぎのしやすさは、平成 24 年度よりも高くなっています。
- ・豊鉄バスでは、 運賃の割引、 バス停の設置位置、 車両の識別のしやすさの満足度が高くなっています。 運行ルートは、平成 24 年度よりも低くなっています。

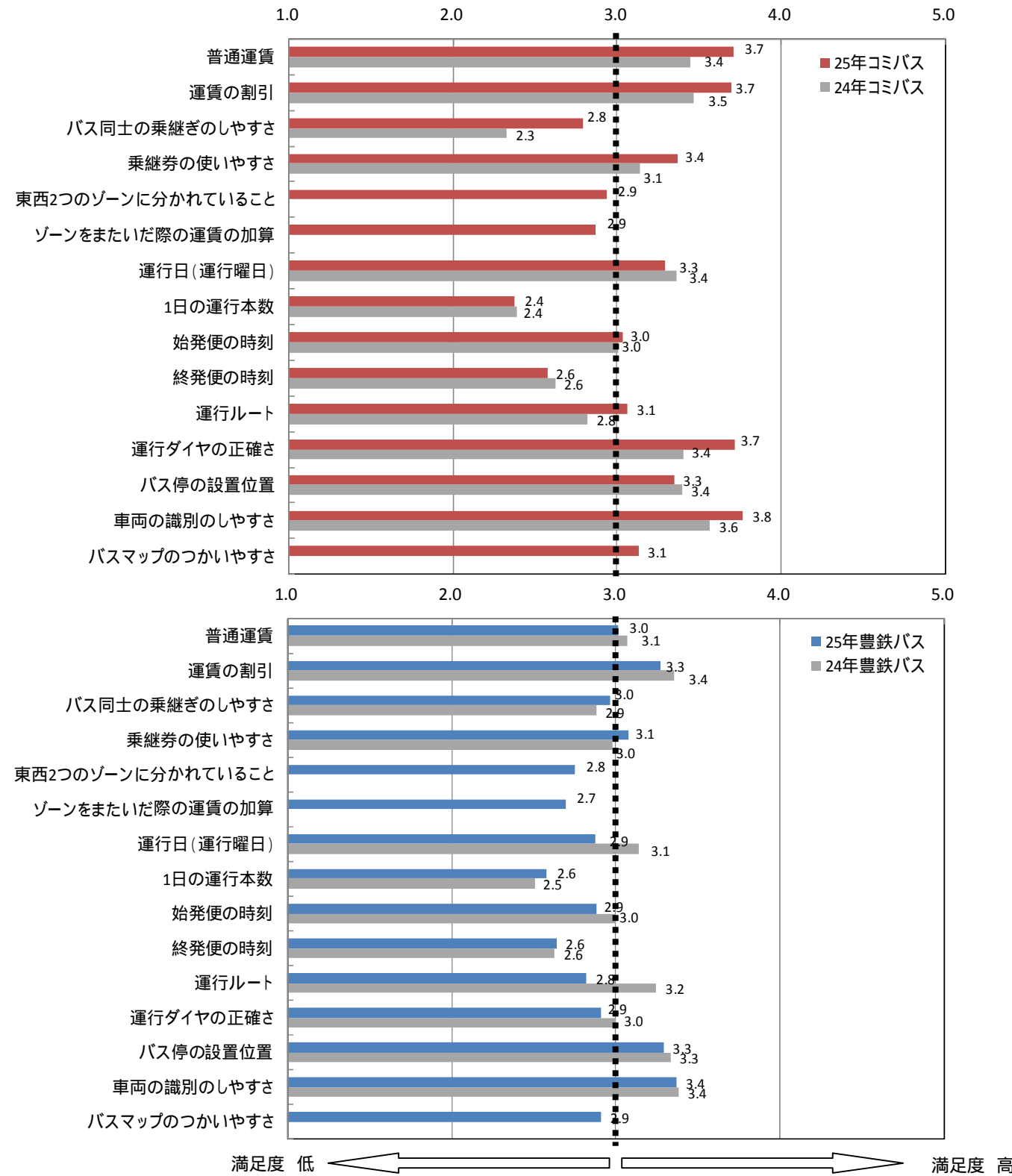


図 6-42 バス利用者の満足度 (バス利用者アンケート)

評価: とても満足→5点、満足→4点、ふつう→3点、悪い→2点、とても悪い→1点、分からない→0点 として各設問の平均点を算出した。

(1 3) 公共交通活性化の取組みの満足度

- ・市全体では、平均の3点より高くなっています。バスの利用実態別に見ると、「現在もバスが必要で現在も利用」と「現在は不要だが将来はバスが必要」と考えている市民では、市全体よりも満足度が高くなっています。
- ・各取り組みを横並びに見た傾向は、「バスマップの世帯配布」が最も高く、「市内を2つに分けた運賃体系」が最も低くなっています。
- ・これらの取組みの結果、豊川市コミュニティバスの認知度は高くなっています。

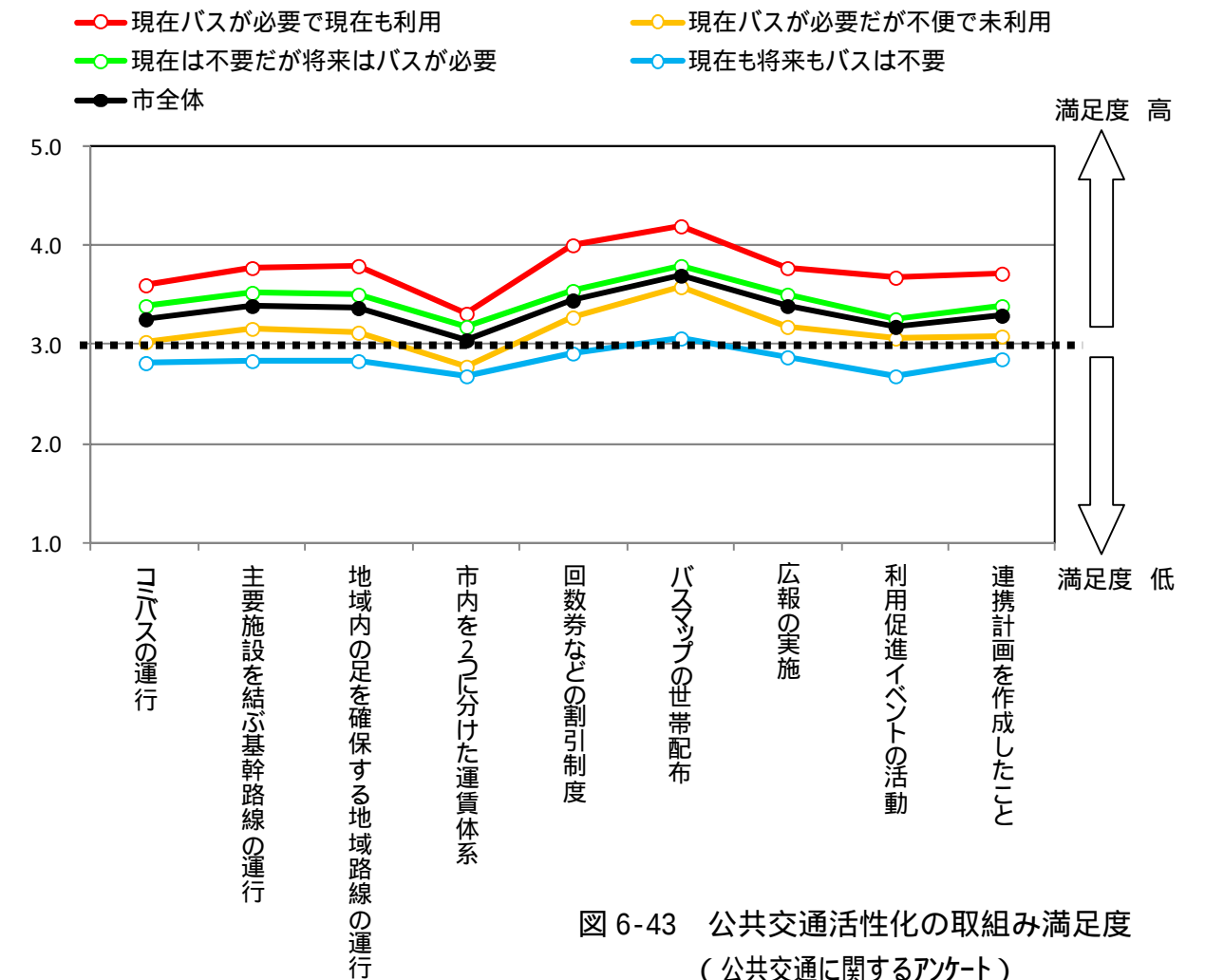


図 6-43 公共交通活性化の取組み満足度 (公共交通に関するアンケート)

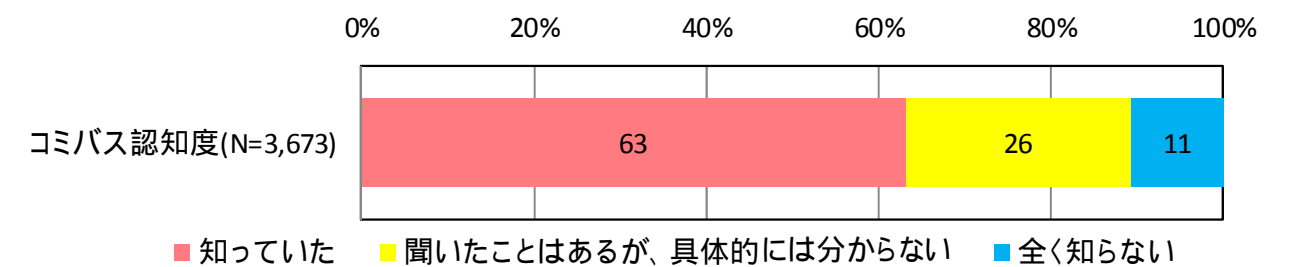


図 6-44 豊川市コミュニティバスの認知度 (公共交通に関するアンケート)

(1 4) 公共交通利用促進のための市民意識

- ・現在または将来バスが必要と考えている市民は「公共交通に関する情報提供」、市民病院の来院者は「乗継ぎなく行ける」を重要視する割合が高くなっています。
- ・その他の比較的割合が高い項目は、公共交通に関するアンケートでは「リアルタイムの運行情報提供」「商業施設と連携した割引運賃」、市民病院来院者アンケートでは「利用したい時間と合っている」となっています。

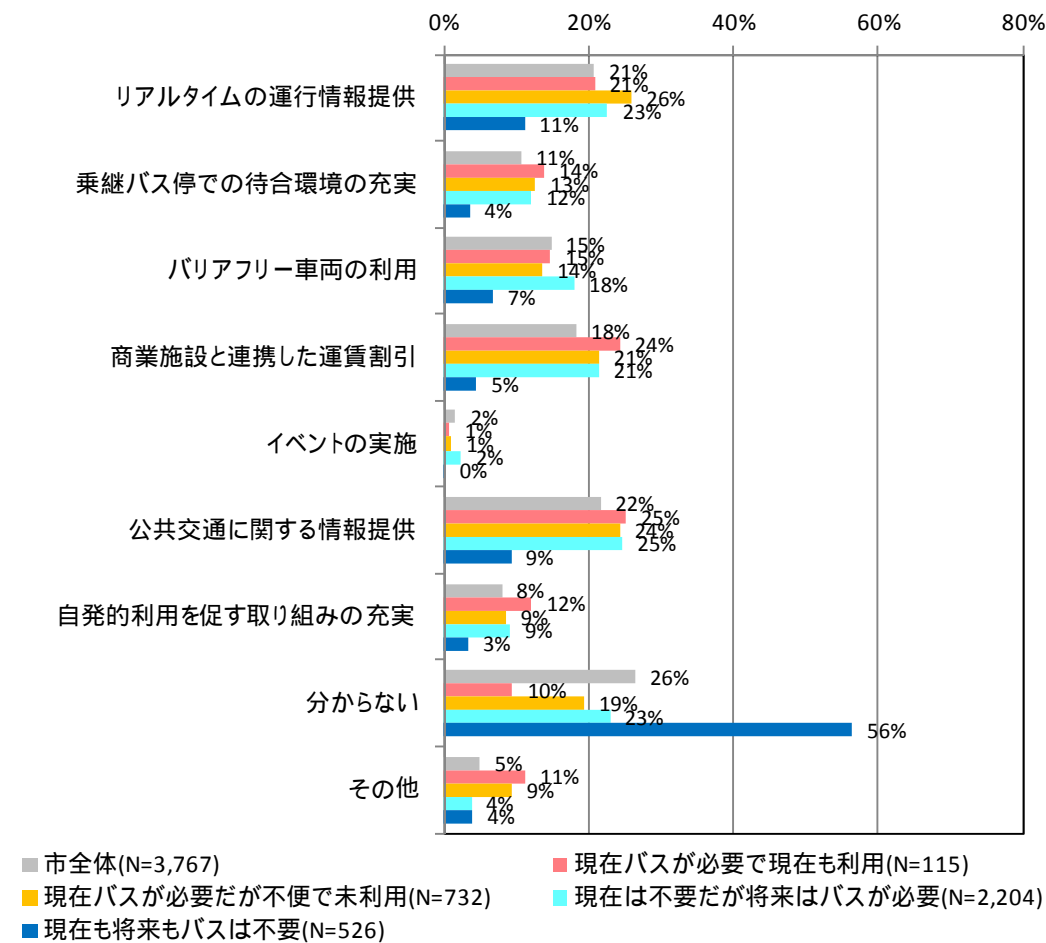


図 6-45 公共交通の利用促進のための工夫に関する市民意識
(公共交通に関するアンケート 一部選択肢を抜粋)

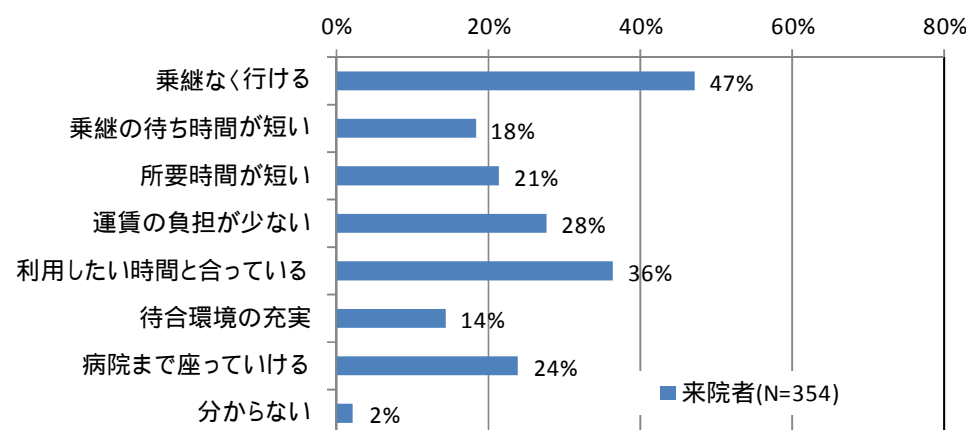


図 6-46 鉄道・バスで市民病院を利用するために重要視する点 (市民病院来院者アンケート)

(1 5) 地域で運行するバスの取組み

- ・地域が主体となって取り組んでいることの認知度は、現時点では低くなっていますが、地域が主体となって関わることは、約 55%の方が「良いこと」と回答しています。

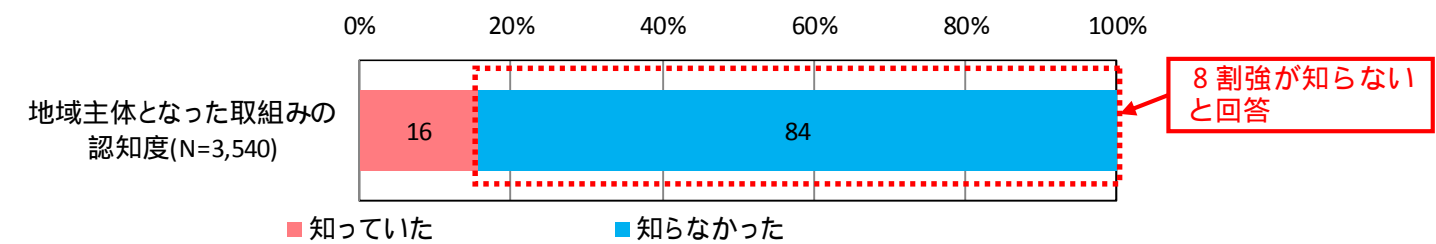


図 6-47 地域が主体となって検討していることの認知度 (公共交通に関するアンケート)

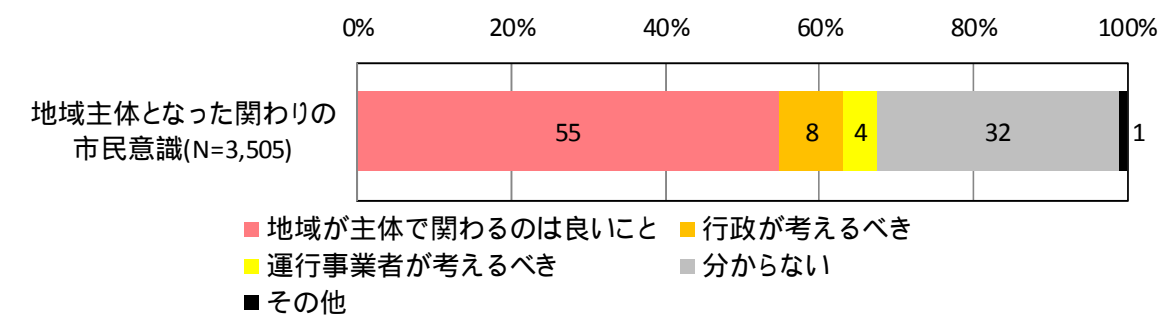


図 6-48 地域が主体となって関わることの市民意識 (公共交通に関するアンケート)

(1 6) 路線維持のための税負担の考え方の市民意識

- ・全体的には「分からない」の割合が多くなっていますが、「分からない」を除いてバスの利用実態別に見た傾向は、バスを現在利用、または現在及び将来においてバスが必要と考える市民では、「税金負担は現状並み」の割合が最も高くなっています。
- ・一方、現在も将来も不要と考える市民は、「すべて利用者、地域が負担し税金負担をやめる」の割合が最も高くなっています。

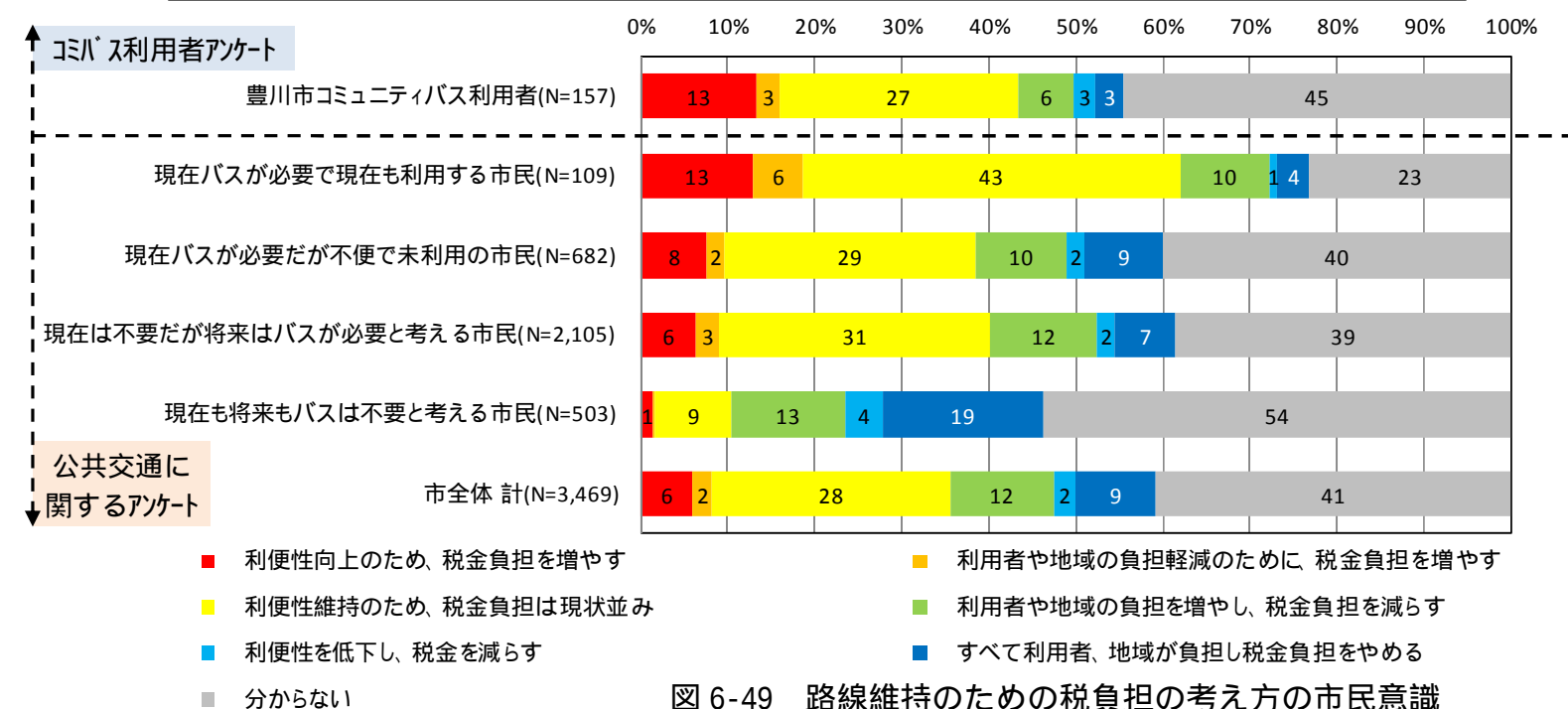


図 6-49 路線維持のための税負担の考え方の市民意識
(公共交通に関するアンケート・豊川市コミュニティバス利用者アンケート)

6 - 4 . O D 調査結果の概要

(1) 調査数

調査時の利用者数を以下に示します。
全体としての利用者数は、昨年調査時と比較して増加しています。

調査日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日	合計	前年合計	前年比
曜日	火	水	木	金	土			
豊川国府線	33	35	43	40	25	176	97	181%
千両三上線	23	29	27	37	18	134	108	124%
ゆうあいの里小坂井線	36	21	29	30	21	137	131	105%
一宮線	31	25	38	32	29	155	120	129%
音羽線	25	26	19	21	14	105	88	119%
御津線	20	30	30	26	11	117	55	213%
音羽地域路線	31	32	22	32	22	139	152	91%
御津地域路線	17	19	19	18	15	88	78	113%
一宮地域路線	48	29	38	-	24	139	169	82%
御油地域路線	10	5	13	15	12	55	-	-
新豊線・豊川線	550	-	-	-	-	550	622	88%
合計	824	251	278	251	191	1,795	1,620	111%

(2) 調査結果概要

豊川国府線

- ・豊川駅前方面は、「豊川体育館前」から乗車し「豊川駅前」で降車、「豊川養護学校」から乗車し「国府駅」で降車する利用が多くなっています。
- ・ゆうあいの里方面は、「豊川駅前」から乗車し「豊川体育館前」で降車、「国府駅」から乗車し「豊川養護学校」で降車する利用が多くなっています。

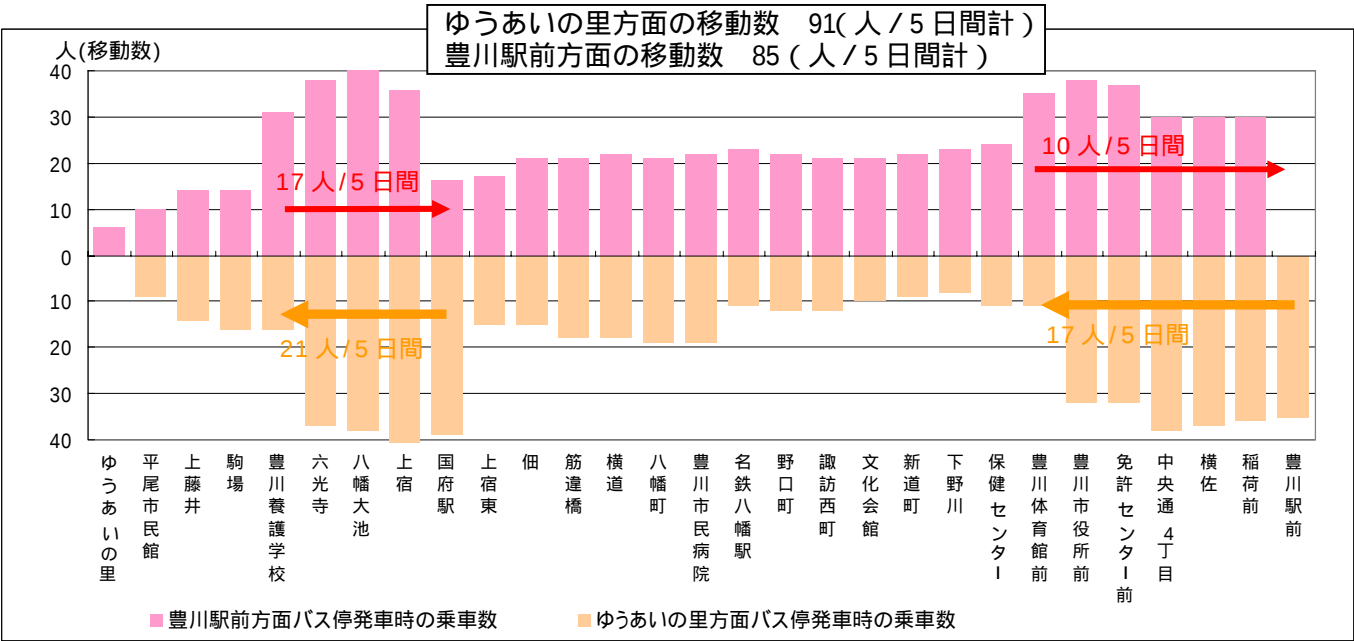


図 6-50 豊川国府線

グラフの見方

- ピンクまたは、オレンジ色のグラフ縦軸はバス停発車時の乗車人数(人/調査日合計)を示します。
 - ピンクまたは、オレンジの横棒及び数値はそのバス停間での移動人数を示します。ただし、紙面の関係で全ての移動を表記できないため、移動数が多いものを列挙しています。
- 例) 豊川国府線では豊川養護学校から乗車し国府駅で降車した方が 17 人/5 日です。

千両三上線

- ・三上地区市民館方面は、「三蔵子」から乗車し「豊川駅前」で降車、「本野」から乗車し「豊川駅前」で降車する利用が多くなっています。
- ・上千両集会所方面は、「豊川駅前」から乗車し「地域文化広場」で降車、「豊川駅前」から乗車し「三蔵子」で降車する利用が多くなっています。

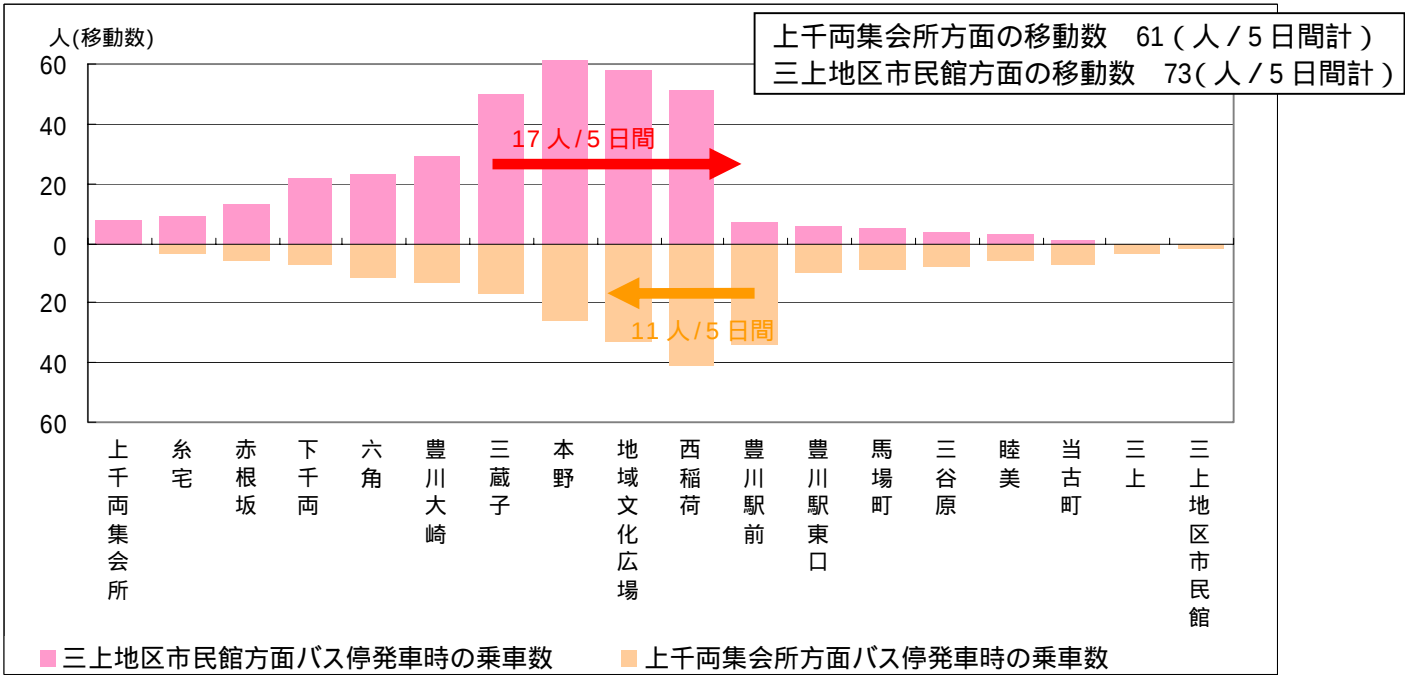


図 6-51 千両三上線

ゆうあいの里小坂井線

- ・西小坂井駅方面は、「ゆうあいの里」から乗車し「豊川体育館前」で降車、「ゆうあいの里」から乗車し「西門橋」で降車する利用が多くなっています。
- ・ゆうあいの里方面は、「豊川体育館前」から乗車し「ゆうあいの里」で降車する利用が多くなっています。

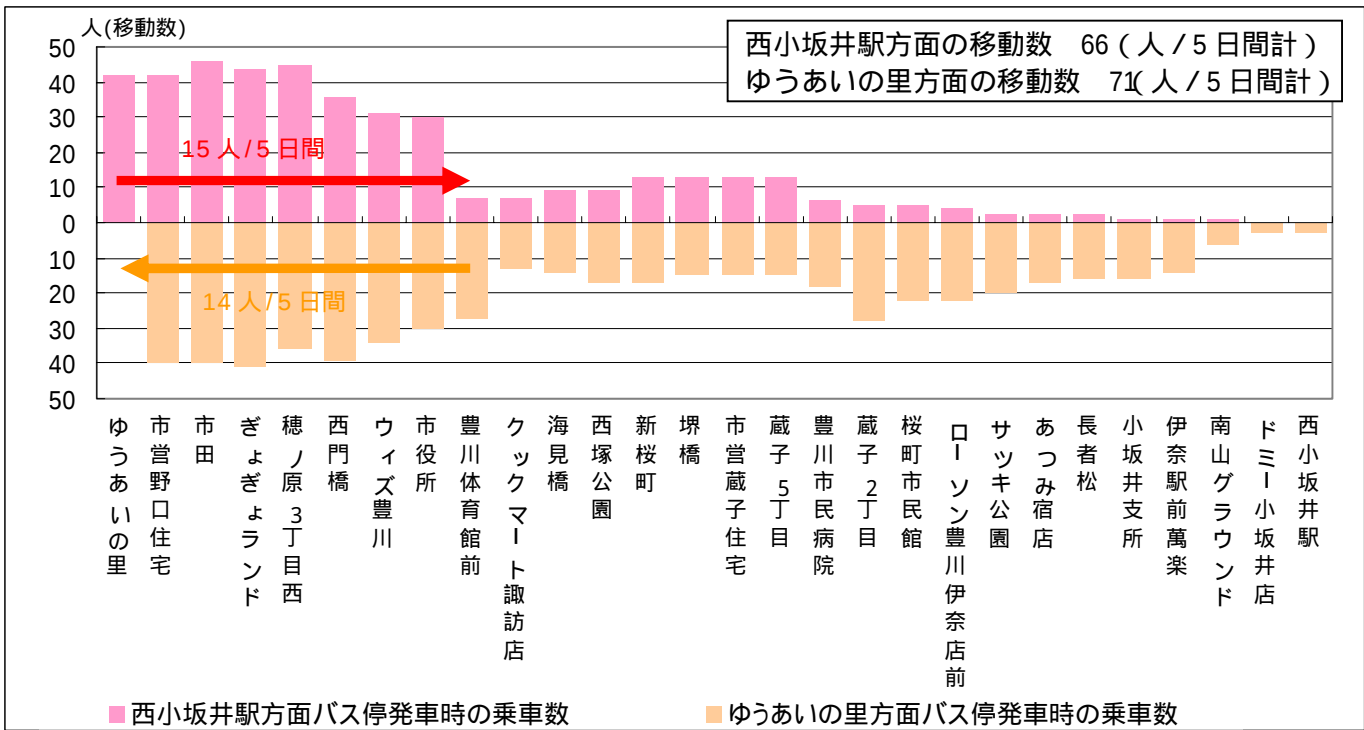


図 6-52 ゆうあいの里小坂井線

一宮線

- ・豊川駅前方面は、「本宮の湯」から乗車し「豊川駅前」で降車、「障害者職業能力開発校」から乗車し「豊川駅前」で降車、「宮裏」から乗車し「豊川駅前」で降車する利用が多くなっています。
- ・本宮の湯方面は、「豊川駅前」から乗車し「本宮の湯」で降車、「豊川駅前」から乗車し「障害者職業能力開発校」で降車する利用が多くなっています。

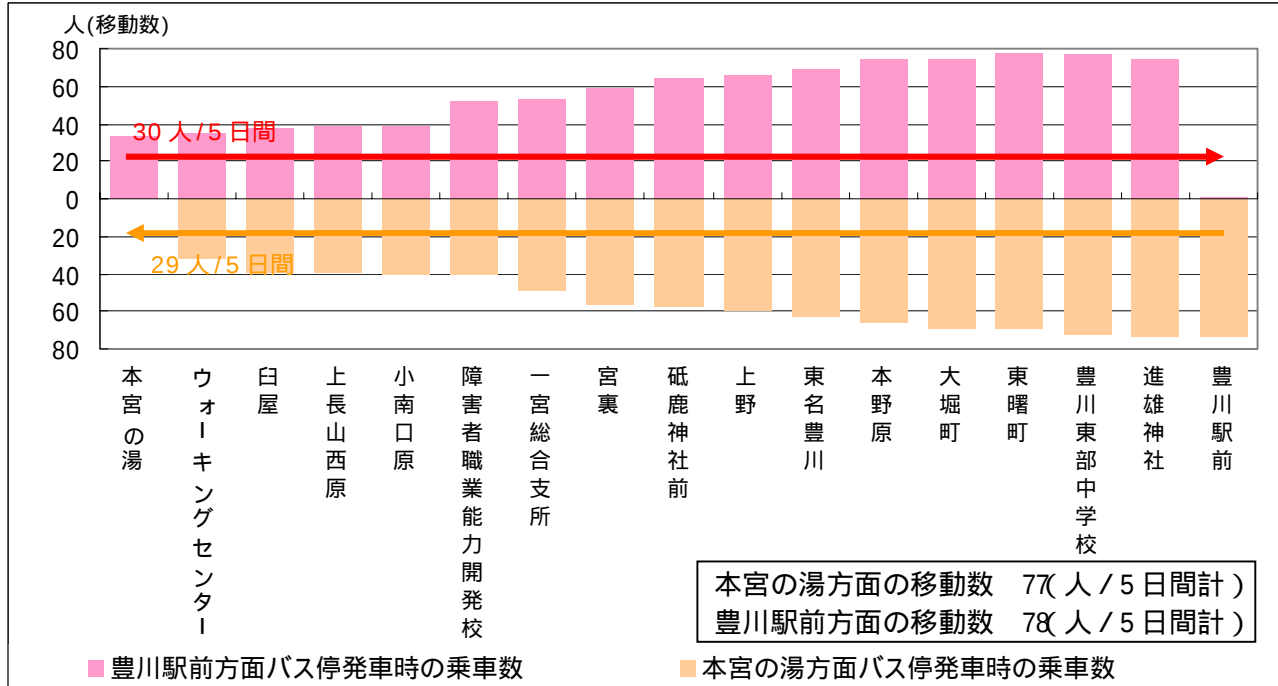


図 6-53 一宮線

音羽線

- ・市役所方面は、「グリーンヒル音羽」から乗車し「よらまい館」で降車する利用が多くなっています。
- ・グリーンヒル音羽方面は、「松並木東」から乗車し「堀内クリニック」で降車、「ヤマナカ御油店」で乗車し「よらまい館」で降車、「国府駅」から乗車し「音羽支所」で降車する利用が多くなっています。

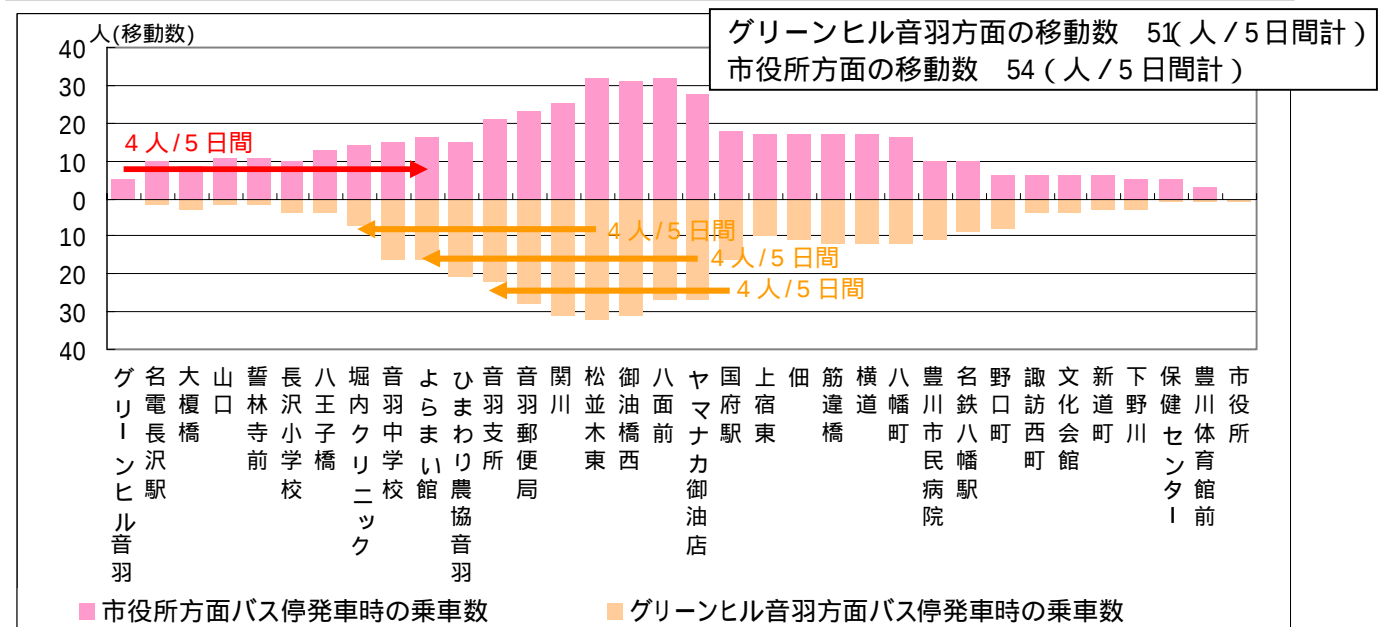


図 6-54 音羽線

御津線

- ・市役所方面は、「御津支所」から乗車し「国府駅」で降車、「御津支所」から乗車し「豊川市民病院」で降車する利用が多くなっています。
- ・あかね児童館方面は、「国府駅」から乗車し「御津支所」で降車、「豊川市民病院」から乗車し「御津支所」で降車、「豊川体育館前」から乗車し「御津支所」で降車する利用が多くなっています。

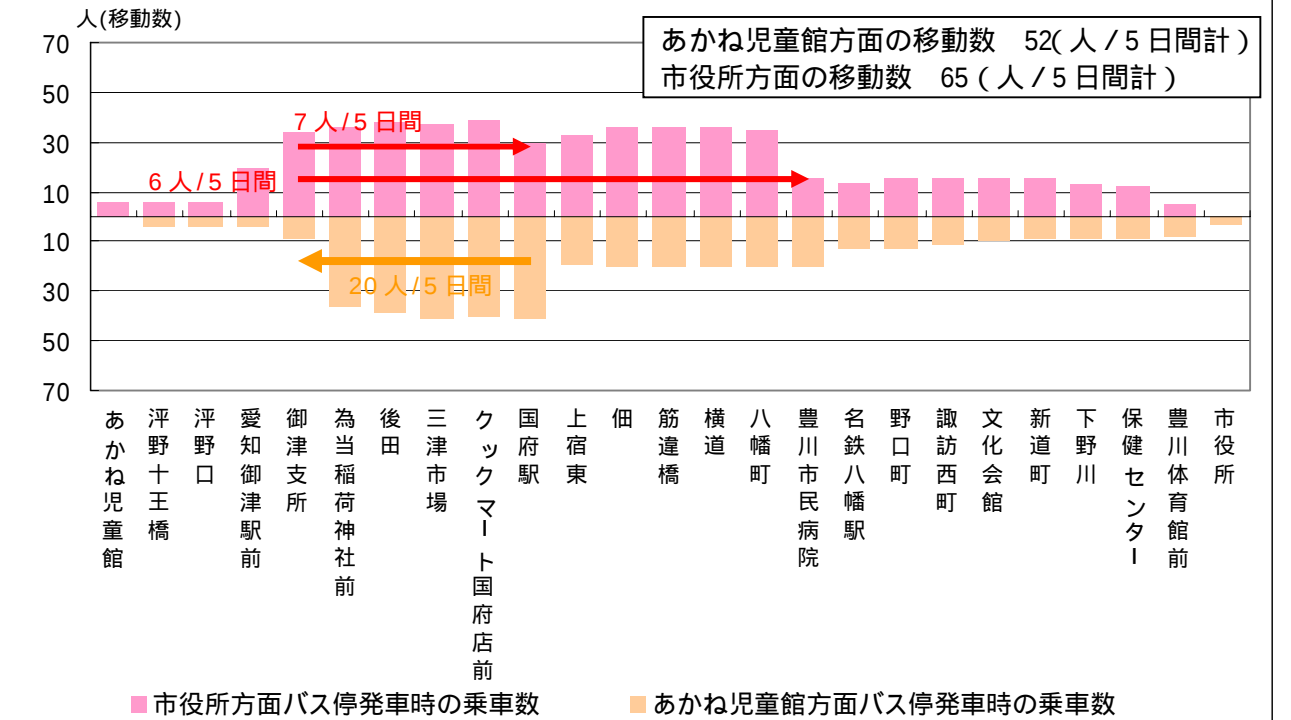


図 6-55 御津線

音羽地区地域路線

- ・大林方面の利用は、「赤坂台市民館」から乗車し「あかさかクリニック」で降車、「あかさかクリニック」から乗車し「サンヒル赤坂」で降車する利用が多くなっています。
- ・赤坂台上方面の利用は、「名電赤坂駅」から乗車し「赤坂台市民館」で降車、「ジャルダン・リラ」から乗車し「名電赤坂駅」で降車する利用が多くなっています。

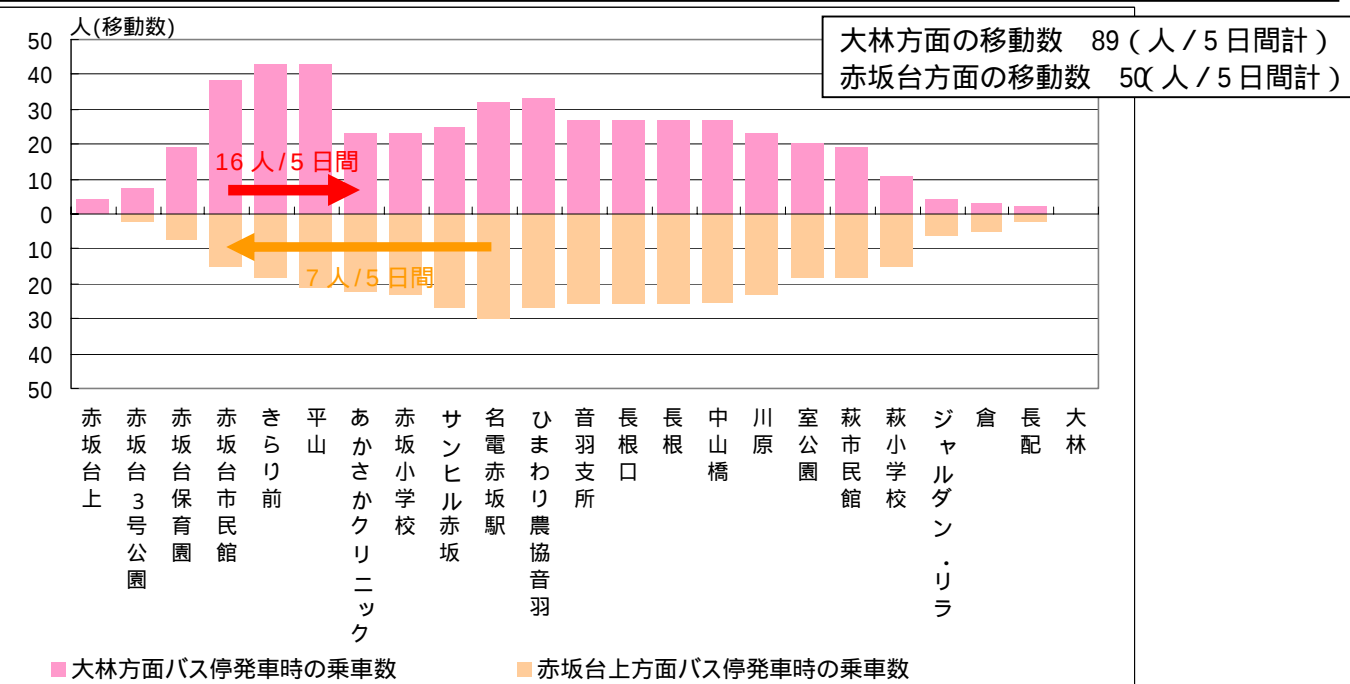


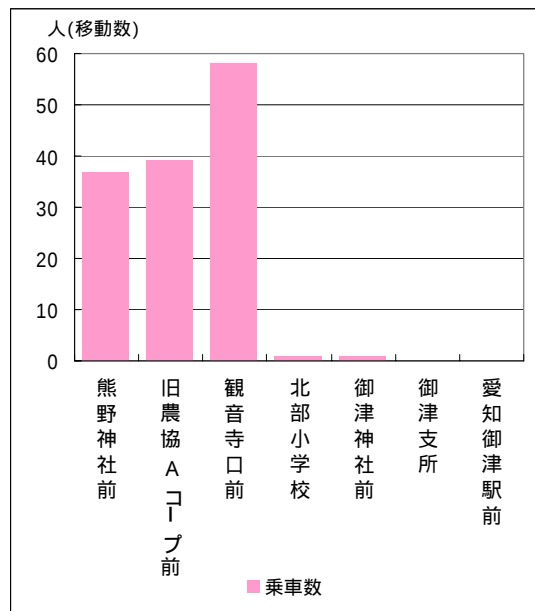
図 6-56 音羽地区地域路線

御津地区地域路線

- ・金野・北部小線は、「熊野神社前」から乗車し、「北部小学校」で降車する利用が多くなっています。
- ・その他の路線は、移動数が少ないですが、「愛知御津駅前」や「御津支所」の利用が多くなっています。

- 1)金野・北部小線移動数 58 (人/4日間計)
- 2)下佐脇・御馬線の移動数 4 (人/3日間計)
- 3)上佐脇・広石線の移動数 13 (人/3日間計)
- 4)赤根・大草線の移動数 2 (人/2日間計)
- 5)金野・豊沢線の移動数 11 (人/2日間計)

金野・北部小線

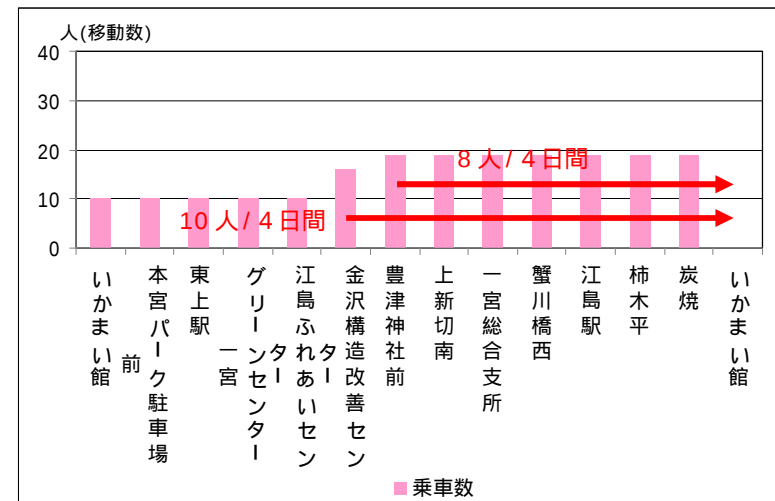


一宮地区地域路線

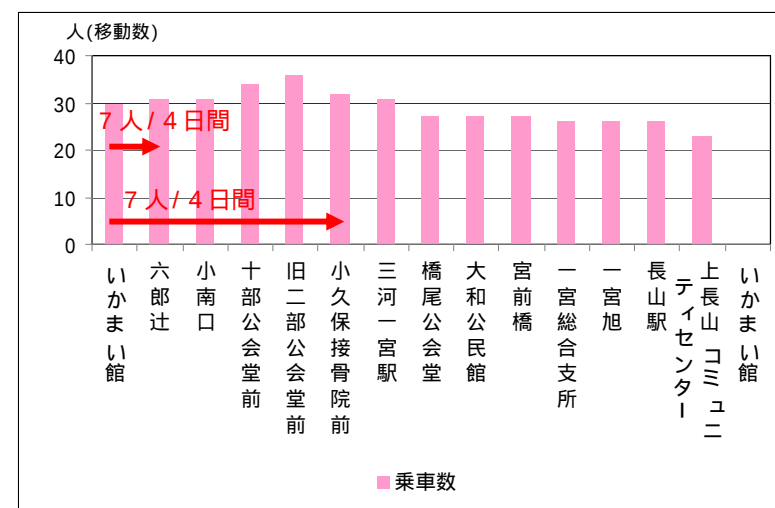
- ・一宮地区地域路線は、各路線ともに午前中は「いかまい館」への移動、午後は「いかまい館」からの移動が多くなっています。
- ・東回りは、「金沢構造改善センター前」から乗車し「いかまい館」で降車、「豊津神社前」から乗車し「いかまい館」で降車する利用が多くなっています。
- ・中回りは、「いかまい館」から乗車し「六郎辻」で降車、「いかまい館」から乗車し「小久保接骨院前」で降車する利用が多くなっています。
- ・西回りは、「馬酔木西」から乗車し「いかまい館」で降車、「いかまい館」から乗車し「馬酔木西」で降車する利用が多くなっています。

- 1) 東回りの移動数 29 (人/4日間計)
- 2) 中回りの移動数 67 (人/4日間計)
- 3) 西回りの移動数 43 (人/4日間計)

東回り



中回り



西回り

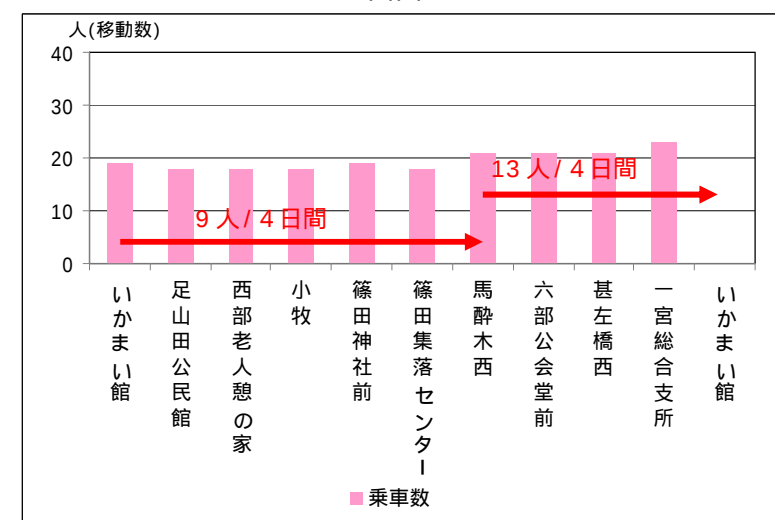
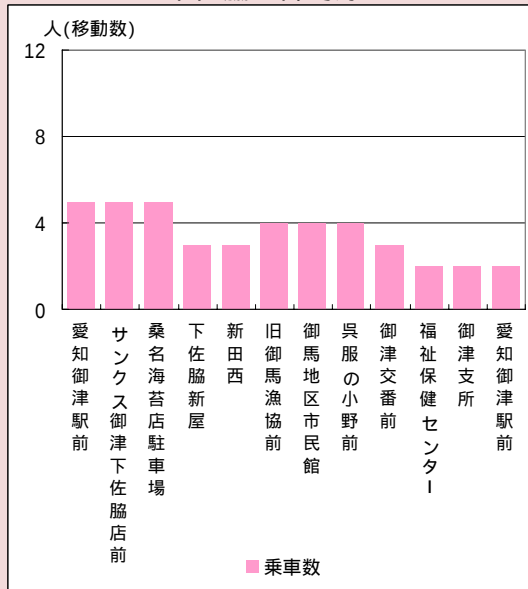
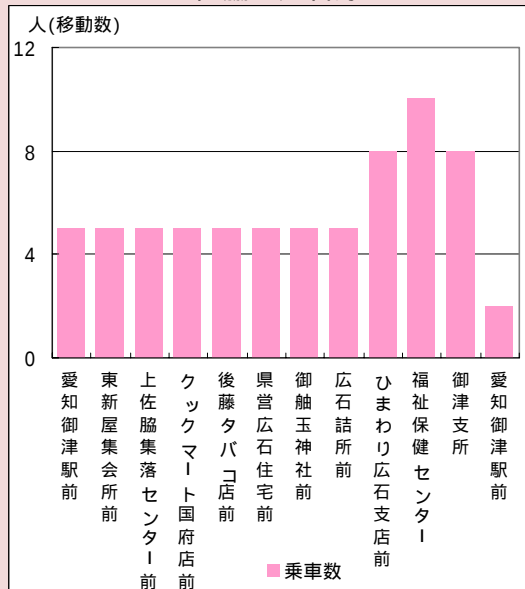


図 6-58 一宮地区地域路線

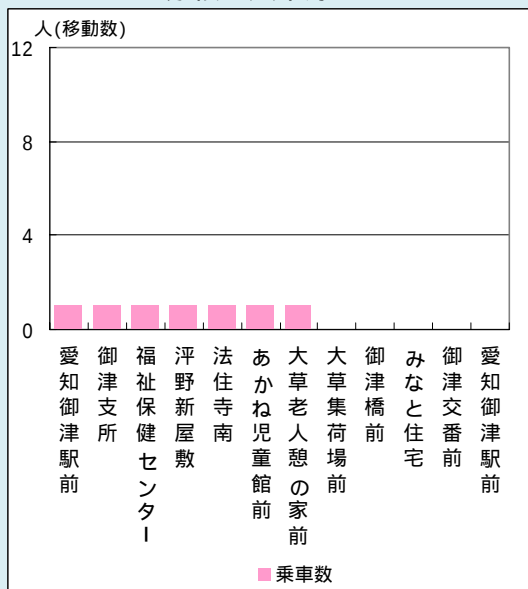
下佐脇・御馬線



上佐脇・広石線



赤根・大草線



金野・豊沢線

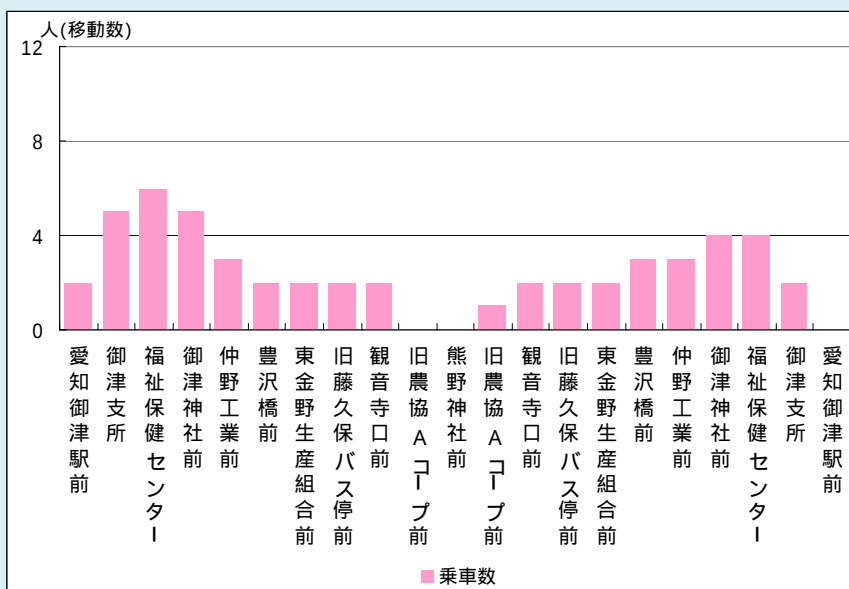


図 6-57 御津地区地域路線

御油地区地域路線

- ・利用の多い区間は、「御油橋西」で乗車し「ピアゴ国府店」で降車、「坂上」から乗車し「ピアゴ国府店」での降車が目立ち、住宅地内の利用は殆ど見られません。

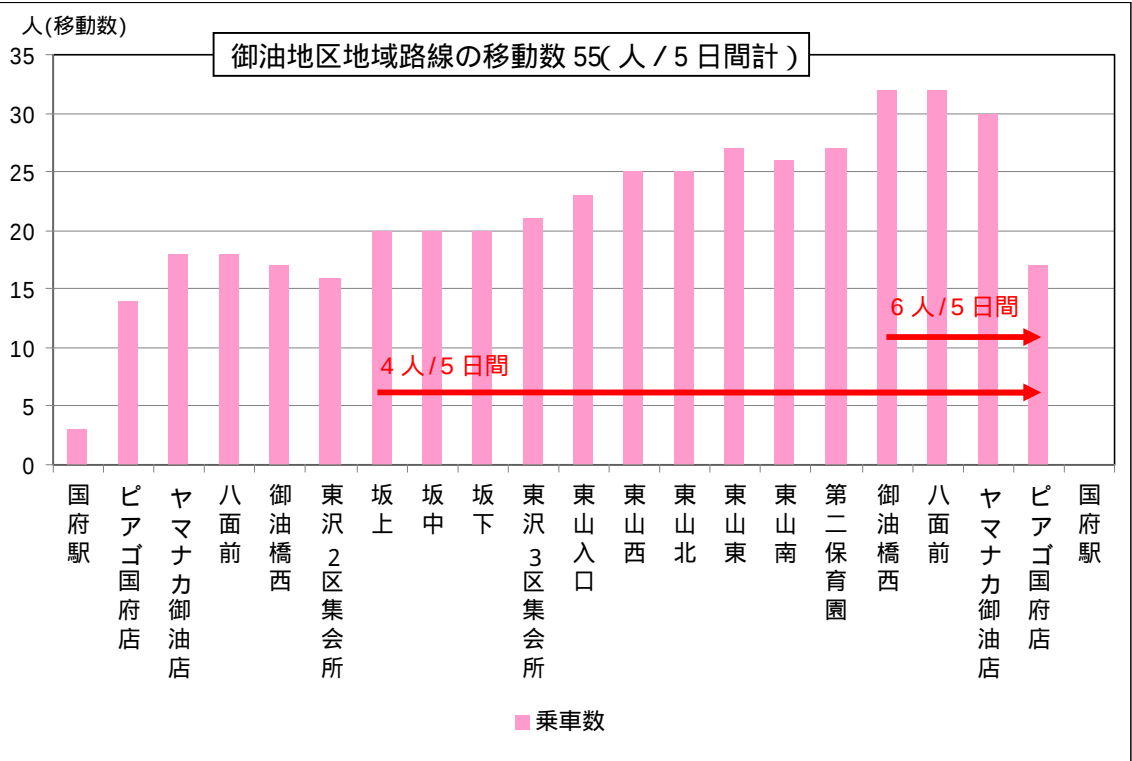


図 6-59 御油地区地域路線

豊鉄バス新豊線・豊川線（平日のみ）

- ・豊橋方面は、「免許センター前」から乗車し「豊橋市内」で降車、「豊川体育館前」から乗車し「豊橋市内」で降車する利用が多くなっています。
- ・新城方面は、「豊橋市内」から乗車し「豊川体育館前」で降車、「免許センター前」から乗車し「豊川体育館前」で降車する利用が多くなっています。
- ・豊川市内では「イオン豊川店」と「豊川駅前」の間の利用が多くなっています。

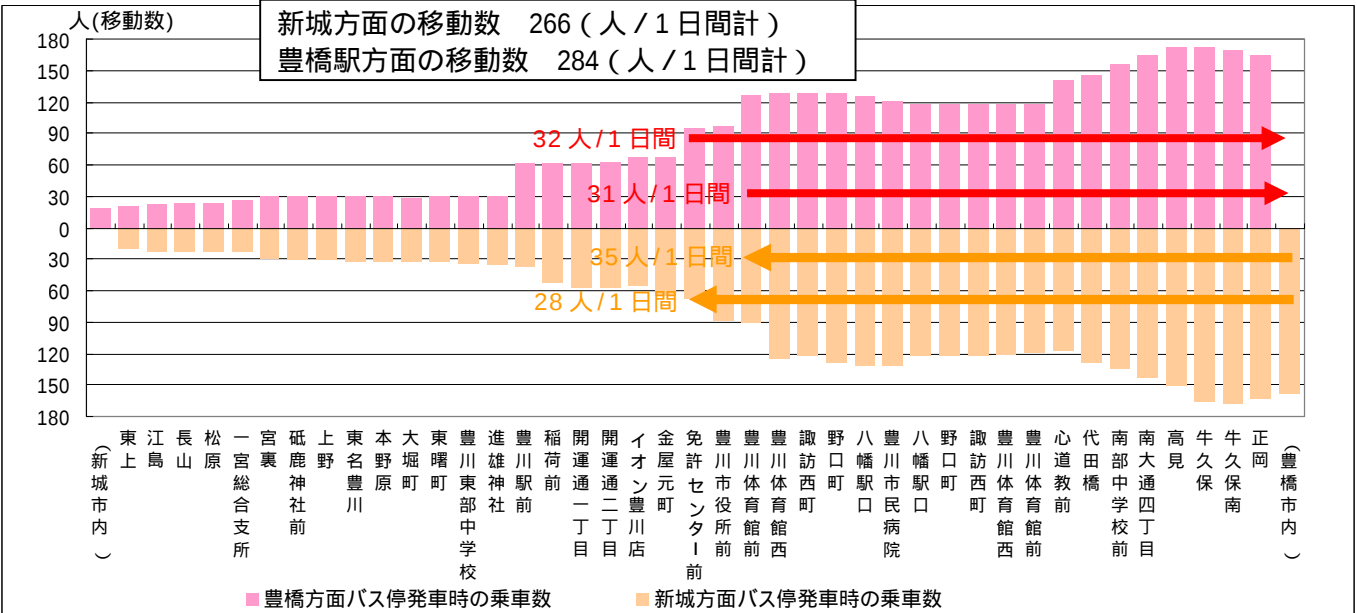


図 6-60 豊鉄バス新豊線・豊川線

豊川市民病院とゆうあいの里への利用実態

- ・ゆうあいの里バス停の利用は、「豊川体育館前」からの利用が最も多くなっています。豊川国府線では「国府駅」や「上宿」からの利用が目立ちます。
- ・豊川市民病院バス停の利用は、御津線の「御津支所」からの利用が最も多くなっています。御津線では、「愛知御津駅前」からの利用も比較的多くなっています。他には「国府駅」などの国府方面からの利用が目立つほか、「新桜町」などの小坂井方面からの利用も多くなっています。

ゆうあいの里バス停利用者の乗降バス停			豊川市民病院バス停利用者の乗降バス停		
バス停	乗降客数	備考	バス停	乗降客数	備考
豊川体育館前	29	うち、バス乗継12名	御津支所	10	
西門橋	14		国府駅	7	
ぎょぎょランド	11		新桜町	6	
ウィズ豊川	8		愛知御津駅前	6	
上宿	7		佃	6	
国府駅	6	うち、バス乗継3名、電車乗継2名	サツキ公園	5	
市役所	4		御油橋西	5	
新桜町	4		上宿東	5	
蔵子2丁目	3		伊奈駅前萬楽	5	
			蔵子2丁目	4	
			八幡大池	4	
			蔵子5丁目	4	
			ゆうあいの里	3	うち、バス乗継1名
			松並木東	3	

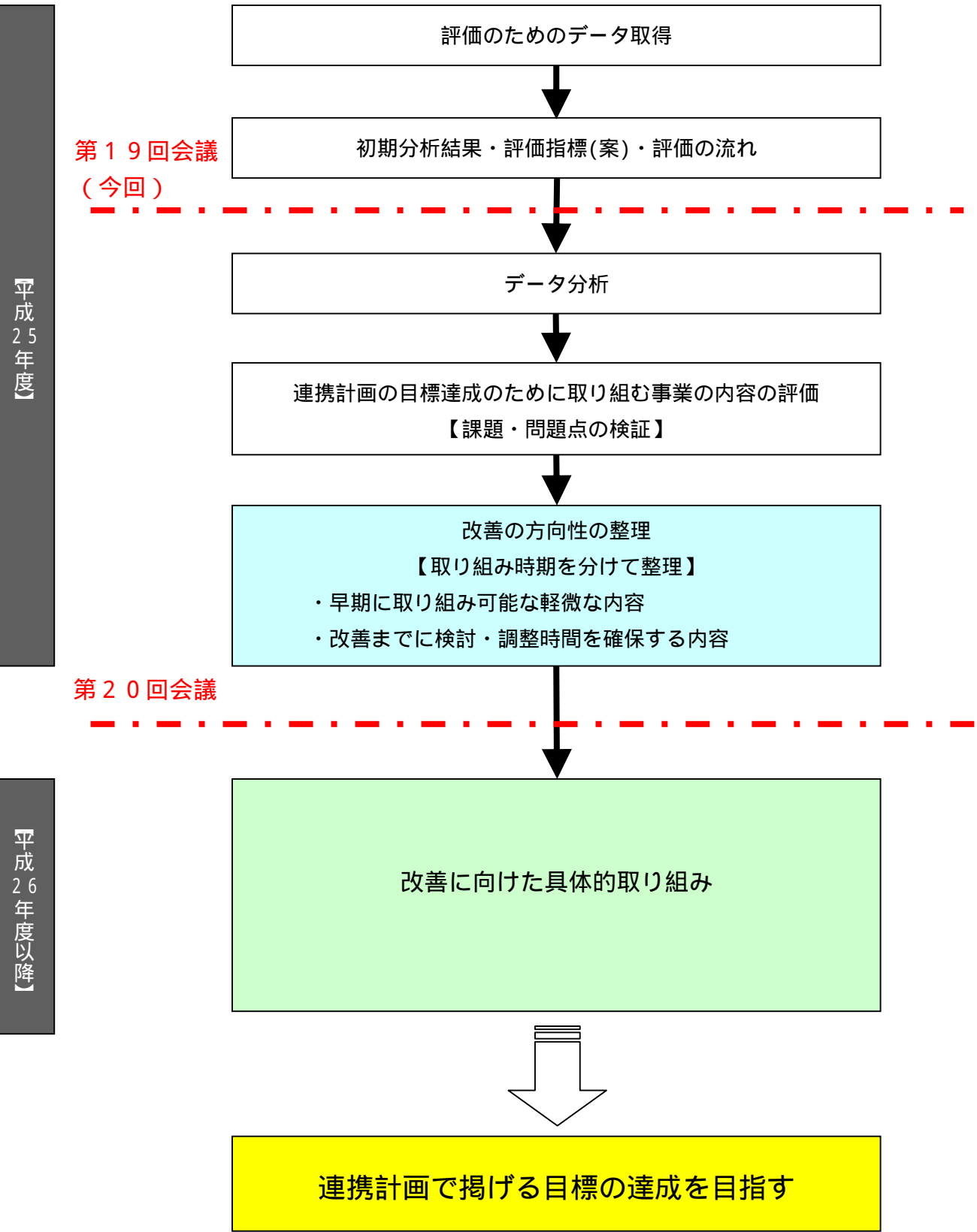
7.【協議事項】連携計画・路線の評価指標

7-1. スケジュール

今回の会議では、評価項目と評価指標(案)までを示します。

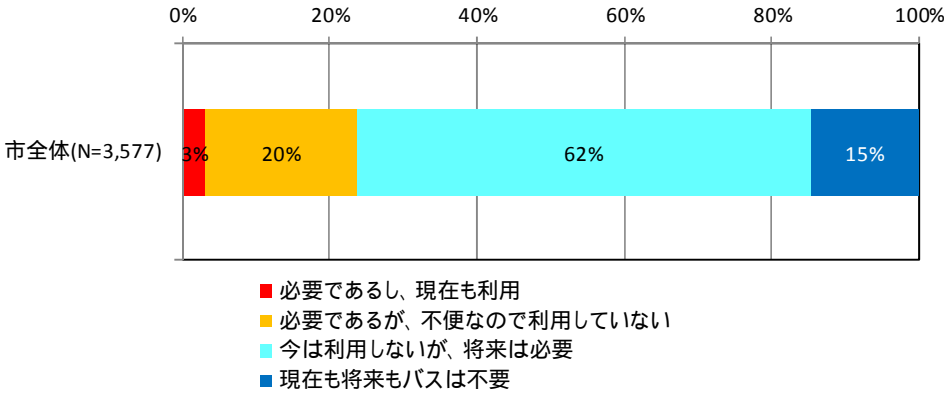
次回の会議までに、評価指標のデータ整理・分析を行い、課題・問題点の検証を行い、改善の方向性をまとめます。

改善の方向性に基づいて、来年度以降に具体的な取り組みを行っていきます。



7-2. 評価のターゲットの考え方

バスの必要性は市民によって意識の違いがありますので、評価指標の整理の際には、市民全体としての整理に加えて、それぞれの市民意識の層ごとに整理を行います。



バスの必要性の回答構成：市全体（公共交通に関するアンケート）【再掲】

7-3. 評価指標(案)と活用目的

前回の会議で提示した評価の視点と評価項目に基づいて、改善の方向性を整理するために、下表の評価指標(案)を用いて評価を行います。

各評価指標(案)の活用目的とアンケート調査などから見える傾向を、28～30頁に示しました。

前回の会議で提示		今回の会議で新たに提示	
評価の視点	評価項目	評価指標(案)	評価指標の活用目的
個々の路線単位の評価	路線の利用者数に関する評価	バスを必要とする路線沿線の人口に対するバス利用率	バス利用意向がある沿線住民の人数に応じた利用がなされているかを評価
	運行効率に関する評価	路線別の収支率 利用者1人当たりの負担額	利用実態に見合った効率的な運行がなされているかを評価
路線ネットワーク全体の評価	路線体系の評価	主な移動方向に対する路線網の有無	市民の移動ニーズと路線体系が合っているかを評価
	乗継に関する評価	移動方向の区間単位での1日・1便平均の利用者数	利用実態に対して、運行本数や運行系統が合っているかを評価
市民・地域・利用者視点の評価	地域への効果に関する評価	現在の交通結節点での乗継利用者数・乗継待ち時間	交通結節点において、移動ニーズに合った乗継利便性が確保されているかを評価
	バスの運行に対する満足度の評価	沿線住民の外出機会の変化	市民の生活の足として寄与しているかを評価
	周知・認知状況の評価	バス路線の運行サービスの満足度	運行サービスが市民ニーズと合っているかを評価
		バスに関する市民の認知度	バスの利用促進活動が市民に行き渡っているかを評価

評価の視点	個々の路線単位の評価																																																																																																																																																																		
評価項目	路線の利用者数に関する評価	運行効率に関する評価																																																																																																																																																																	
評価指標（案）	バスを必要とする路線沿線の人口に対するバス利用率	路線別の収支率・路線別の利用者1人当たりの負担額																																																																																																																																																																	
活用の目的	バス路線 バス勢圏：バス停から半径 300～500m バス路線沿線の人口は、バス勢圏内の人口を計算して設定します。 バス路線 バス勢圏：バス停から半径 300～500m バス路線沿線の人口は、バス勢圏内の人口を計算して設定します。	利用実態に見合った効率的な運行がなされているかを評価します。 収支率は、各路線の運行計画策定時に設定した目標を基準として評価し、路線の収支状況に合った運行サービスの改善の方向性を検討します。 <table><tr><th>路線名</th><th>収支率 (運行計画策定時)</th></tr><tr><td>豊川国府線</td><td>14.3%</td></tr><tr><td>千両三上線</td><td>11.1%</td></tr><tr><td>ゆうあいの里小坂井線</td><td>12.7%</td></tr><tr><td>一宮線</td><td>9.0%</td></tr><tr><td>音羽線</td><td>9.2%</td></tr><tr><td>御津線</td><td>7.7%</td></tr><tr><td>音羽地域つつじバス</td><td>17.0%</td></tr><tr><td>御津地域ハートフル号</td><td>15.1%</td></tr><tr><td>一宮地域本宮線</td><td>15.1%</td></tr><tr><td>御油地域ごゆりんバス</td><td>15.0%</td></tr></table>	路線名	収支率 (運行計画策定時)	豊川国府線	14.3%	千両三上線	11.1%	ゆうあいの里小坂井線	12.7%	一宮線	9.0%	音羽線	9.2%	御津線	7.7%	音羽地域つつじバス	17.0%	御津地域ハートフル号	15.1%	一宮地域本宮線	15.1%	御油地域ごゆりんバス	15.0%																																																																																																																																											
路線名	収支率 (運行計画策定時)																																																																																																																																																																		
豊川国府線	14.3%																																																																																																																																																																		
千両三上線	11.1%																																																																																																																																																																		
ゆうあいの里小坂井線	12.7%																																																																																																																																																																		
一宮線	9.0%																																																																																																																																																																		
音羽線	9.2%																																																																																																																																																																		
御津線	7.7%																																																																																																																																																																		
音羽地域つつじバス	17.0%																																																																																																																																																																		
御津地域ハートフル号	15.1%																																																																																																																																																																		
一宮地域本宮線	15.1%																																																																																																																																																																		
御油地域ごゆりんバス	15.0%																																																																																																																																																																		
使用するデータ	公共交通に関するアンケート・利用実績	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート・運行実績																																																																																																																																																																	
【 参 考 】 アンケート調査結果等から 見える傾向	バスを必要とするニーズは地区によって異なっていますので、路線ごとの沿線ニーズを把握の上で、利用者数の妥当性を検証する必要があると考えられます。 各路線の最近1年間の月平均利用者数(運行実績) <table><tr><th>路線名</th><th>利用者数(人/月平均)</th></tr><tr><td>豊川国府線</td><td>749</td></tr><tr><td>千両三上線</td><td>770</td></tr><tr><td>ゆうあいの里小坂井線</td><td>729</td></tr><tr><td>一宮線</td><td>832</td></tr><tr><td>音羽線</td><td>580</td></tr><tr><td>御津線</td><td>540</td></tr><tr><td>音羽地区地域路線</td><td>738</td></tr><tr><td>御津地区地域路線</td><td>362</td></tr><tr><td>一宮地区地域路線</td><td>707</td></tr><tr><td>御油地区地域路線</td><td>254</td></tr></table> 各路線の最近1年間の月平均利用者数(運行実績) <table><tr><th>地区</th><th>必要であるし、現在も利用</th><th>必要であるが、不便なので利用していない</th><th>今は利用しないが、将来は必要</th><th>現在も将来もバスは不要</th></tr><tr><td>1. 東部中(N=516)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>2. 代田中(N=225)</td><td>5%</td><td>15%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>3. 南部中(N=433)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>4. 金屋中(N=236)</td><td>5%</td><td>15%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>5. 中部中(N=410)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>6. 西部中(N=365)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>7. 音羽中(N=301)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>8. 一宮中(N=279)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>9. 御津中(N=260)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr><tr><td>10. 小坂井中(N=375)</td><td>10%</td><td>10%</td><td>80%</td><td>0%</td></tr></table> 必要であるし、現在も利用 必要であるが、不便なので利用していない 今は利用しないが、将来は必要 現在も将来もバスは不要 中学校区ごとのバスの必要性の構成(公共交通に関するアンケート)	路線名	利用者数(人/月平均)	豊川国府線	749	千両三上線	770	ゆうあいの里小坂井線	729	一宮線	832	音羽線	580	御津線	540	音羽地区地域路線	738	御津地区地域路線	362	一宮地区地域路線	707	御油地区地域路線	254	地区	必要であるし、現在も利用	必要であるが、不便なので利用していない	今は利用しないが、将来は必要	現在も将来もバスは不要	1. 東部中(N=516)	10%	10%	80%	0%	2. 代田中(N=225)	5%	15%	80%	0%	3. 南部中(N=433)	10%	10%	80%	0%	4. 金屋中(N=236)	5%	15%	80%	0%	5. 中部中(N=410)	10%	10%	80%	0%	6. 西部中(N=365)	10%	10%	80%	0%	7. 音羽中(N=301)	10%	10%	80%	0%	8. 一宮中(N=279)	10%	10%	80%	0%	9. 御津中(N=260)	10%	10%	80%	0%	10. 小坂井中(N=375)	10%	10%	80%	0%	豊川市コミュニティバスの維持に対する税負担の市民意識は、現状並みの税負担とする意見が多くなっています。 現在の収支率や利用者1人あたりの負担額は路線により差異がみられ、市の財政状況も踏まえると、効率的に維持することが必要と考えられます。 路線維持のための行政負担(バス利用者アンケート) <table><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>利便性を増やすために税金負担を増やすべき</td><td>25%</td></tr><tr><td>地域の負担を減らすため税金負担を増やすべき</td><td>5%</td></tr><tr><td>利便性は現状維持とするため税金負担は現状並みとすべき</td><td>70%</td></tr><tr><td>地域の負担を増やして税金の負担を減らすべき</td><td>10%</td></tr><tr><td>利便性を低下させて税金の負担を減らすべき</td><td>5%</td></tr><tr><td>利用者や地域が負担し税金負担をやめるべき</td><td>5%</td></tr></table> 路線維持のための行政負担(公共交通に関するアンケート) <table><tr><th>項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>利便性を増やすために税金負担を増やすべき</td><td>10%</td></tr><tr><td>地域の負担を減らすため税金負担を増やすべき</td><td>5%</td></tr><tr><td>利便性は現状維持とするため税金負担は現状並みとすべき</td><td>85%</td></tr><tr><td>地域の負担を増やして税金の負担を減らすべき</td><td>20%</td></tr><tr><td>利便性を低下させて税金の負担を減らすべき</td><td>5%</td></tr><tr><td>利用者や地域が負担し税金負担をやめるべき</td><td>15%</td></tr></table> 路線維持のための行政負担(公共交通に関するアンケート) 路線別収支率 <table><tr><th>路線名</th><th>収支率 (H24実績)</th></tr><tr><td>豊川国府線</td><td>8.4%</td></tr><tr><td>千両三上線</td><td>13.6%</td></tr><tr><td>ゆうあいの里小坂井線</td><td>13.1%</td></tr><tr><td>一宮線</td><td>4.5%</td></tr><tr><td>音羽線</td><td>9.4%</td></tr><tr><td>御津線</td><td>6.1%</td></tr><tr><td>基幹路線計</td><td>9.2%</td></tr><tr><td>音羽地域つつじバス</td><td>13.4%</td></tr><tr><td>御津地域ハートフル号</td><td>5.0%</td></tr><tr><td>一宮地域本宮線</td><td>12.3%</td></tr><tr><td>御油地域ごゆりんバス</td><td>6.7%</td></tr><tr><td>地域路線計</td><td>10.0%</td></tr><tr><td>合計</td><td>9.4%</td></tr></table> 路線別利用者1人あたり利用者数 <table><tr><th>路線名</th><th>利用者1人 あたり負担額 (H24実績)</th></tr><tr><td>豊川国府線</td><td>1,172</td></tr><tr><td>千両三上線</td><td>775</td></tr><tr><td>ゆうあいの里小坂井線</td><td>814</td></tr><tr><td>一宮線</td><td>940</td></tr><tr><td>音羽線</td><td>1,160</td></tr><tr><td>御津線</td><td>2,054</td></tr><tr><td>基幹路線計</td><td>1,072</td></tr><tr><td>音羽地域つつじバス</td><td>1,206</td></tr><tr><td>御津地域ハートフル号</td><td>2,063</td></tr><tr><td>一宮地域本宮線</td><td>400</td></tr><tr><td>御油地域ごゆりんバス</td><td>2,715</td></tr><tr><td>地域路線計</td><td>1,170</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,105</td></tr></table>	項目	割合	利便性を増やすために税金負担を増やすべき	25%	地域の負担を減らすため税金負担を増やすべき	5%	利便性は現状維持とするため税金負担は現状並みとすべき	70%	地域の負担を増やして税金の負担を減らすべき	10%	利便性を低下させて税金の負担を減らすべき	5%	利用者や地域が負担し税金負担をやめるべき	5%	項目	割合	利便性を増やすために税金負担を増やすべき	10%	地域の負担を減らすため税金負担を増やすべき	5%	利便性は現状維持とするため税金負担は現状並みとすべき	85%	地域の負担を増やして税金の負担を減らすべき	20%	利便性を低下させて税金の負担を減らすべき	5%	利用者や地域が負担し税金負担をやめるべき	15%	路線名	収支率 (H24実績)	豊川国府線	8.4%	千両三上線	13.6%	ゆうあいの里小坂井線	13.1%	一宮線	4.5%	音羽線	9.4%	御津線	6.1%	基幹路線計	9.2%	音羽地域つつじバス	13.4%	御津地域ハートフル号	5.0%	一宮地域本宮線	12.3%	御油地域ごゆりんバス	6.7%	地域路線計	10.0%	合計	9.4%	路線名	利用者1人 あたり負担額 (H24実績)	豊川国府線	1,172	千両三上線	775	ゆうあいの里小坂井線	814	一宮線	940	音羽線	1,160	御津線	2,054	基幹路線計	1,072	音羽地域つつじバス	1,206	御津地域ハートフル号	2,063	一宮地域本宮線	400	御油地域ごゆりんバス	2,715	地域路線計	1,170	合計	1,105
路線名	利用者数(人/月平均)																																																																																																																																																																		
豊川国府線	749																																																																																																																																																																		
千両三上線	770																																																																																																																																																																		
ゆうあいの里小坂井線	729																																																																																																																																																																		
一宮線	832																																																																																																																																																																		
音羽線	580																																																																																																																																																																		
御津線	540																																																																																																																																																																		
音羽地区地域路線	738																																																																																																																																																																		
御津地区地域路線	362																																																																																																																																																																		
一宮地区地域路線	707																																																																																																																																																																		
御油地区地域路線	254																																																																																																																																																																		
地区	必要であるし、現在も利用	必要であるが、不便なので利用していない	今は利用しないが、将来は必要	現在も将来もバスは不要																																																																																																																																																															
1. 東部中(N=516)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
2. 代田中(N=225)	5%	15%	80%	0%																																																																																																																																																															
3. 南部中(N=433)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
4. 金屋中(N=236)	5%	15%	80%	0%																																																																																																																																																															
5. 中部中(N=410)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
6. 西部中(N=365)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
7. 音羽中(N=301)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
8. 一宮中(N=279)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
9. 御津中(N=260)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
10. 小坂井中(N=375)	10%	10%	80%	0%																																																																																																																																																															
項目	割合																																																																																																																																																																		
利便性を増やすために税金負担を増やすべき	25%																																																																																																																																																																		
地域の負担を減らすため税金負担を増やすべき	5%																																																																																																																																																																		
利便性は現状維持とするため税金負担は現状並みとすべき	70%																																																																																																																																																																		
地域の負担を増やして税金の負担を減らすべき	10%																																																																																																																																																																		
利便性を低下させて税金の負担を減らすべき	5%																																																																																																																																																																		
利用者や地域が負担し税金負担をやめるべき	5%																																																																																																																																																																		
項目	割合																																																																																																																																																																		
利便性を増やすために税金負担を増やすべき	10%																																																																																																																																																																		
地域の負担を減らすため税金負担を増やすべき	5%																																																																																																																																																																		
利便性は現状維持とするため税金負担は現状並みとすべき	85%																																																																																																																																																																		
地域の負担を増やして税金の負担を減らすべき	20%																																																																																																																																																																		
利便性を低下させて税金の負担を減らすべき	5%																																																																																																																																																																		
利用者や地域が負担し税金負担をやめるべき	15%																																																																																																																																																																		
路線名	収支率 (H24実績)																																																																																																																																																																		
豊川国府線	8.4%																																																																																																																																																																		
千両三上線	13.6%																																																																																																																																																																		
ゆうあいの里小坂井線	13.1%																																																																																																																																																																		
一宮線	4.5%																																																																																																																																																																		
音羽線	9.4%																																																																																																																																																																		
御津線	6.1%																																																																																																																																																																		
基幹路線計	9.2%																																																																																																																																																																		
音羽地域つつじバス	13.4%																																																																																																																																																																		
御津地域ハートフル号	5.0%																																																																																																																																																																		
一宮地域本宮線	12.3%																																																																																																																																																																		
御油地域ごゆりんバス	6.7%																																																																																																																																																																		
地域路線計	10.0%																																																																																																																																																																		
合計	9.4%																																																																																																																																																																		
路線名	利用者1人 あたり負担額 (H24実績)																																																																																																																																																																		
豊川国府線	1,172																																																																																																																																																																		
千両三上線	775																																																																																																																																																																		
ゆうあいの里小坂井線	814																																																																																																																																																																		
一宮線	940																																																																																																																																																																		
音羽線	1,160																																																																																																																																																																		
御津線	2,054																																																																																																																																																																		
基幹路線計	1,072																																																																																																																																																																		
音羽地域つつじバス	1,206																																																																																																																																																																		
御津地域ハートフル号	2,063																																																																																																																																																																		
一宮地域本宮線	400																																																																																																																																																																		
御油地域ごゆりんバス	2,715																																																																																																																																																																		
地域路線計	1,170																																																																																																																																																																		
合計	1,105																																																																																																																																																																		

(2) 評価指標(案)と活用の目的 (2 / 3)

評価の視点	路線ネットワーク全体の評価		
評価項目	路線体系の評価		乗継に関する評価
評価指標（案）	主な移動方向に対する路線網	移動方向の区間単位での1日・1便平均の利用者数	現在の交通結節点での乗継利用者数・乗継待ち時間
活用の目的	・市民の移動ニーズと路線体系が合っているかを評価します。合っていない場合は、路線の新設、支線の接続、経由地変更などの方向性を検討します。 既存バスが近くに無い場合 既存の路線が近くを運行している場合 目的地 新規路線 既存路線 路線経由 支線接続 学校区 学校区 学校区	・利用実態に対して、運行本数や運行系統が合っているかを評価します。 ・路線の利用特性を考慮して、運行本数や運行系統の見直しの方向性を検討します。 主要バス停で乗降して折り返す利用者 主要バス停を通過する利用者 利用の多い区間 利用の少ない区間 利用の少ない区間の減便や、利用の多い区間での折返し便を増便するなど、路線の利用特性に合った見直しの方向性を検討	・交通結節点において、移動ニーズに合った乗継利便性が確保されているかを評価します。 ・移動ニーズの多い方向に着眼して乗継利便性を把握して、改善の方向性を検討します。 ニーズの多い乗継方向に着眼して評価 移動の多い方向 移動の多い方向 交通結節点
使用するデータ	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート	OD調査・運行実績	バス利用者アンケート・運行実績
【 参 考 】 アンケート調査結果等から見える傾向	・バスの利用理由、未利用理由の結果から見ると、市民や利用者が行きたい場所・施設にバスネットワークを整備することが必要と考えられます。 運行本数が少ない25% 行きたいところへ行けないから24% バスの経路を知らない20% バス停が遠い17% 乗継が不便13% 目的地まで時間が掛かる12% その他7% 終発の時間が早い7% 運賃が高い5% 始発の時間が遅い5% 時刻表通りに来ない2% 運賃が高い1% 必要と思う市民(N=847) バスを必要と思う市民がバスを使わない(不便)の理由の構成 (公共交通に関するアンケート) 出発地や目的地がバス停に近いから38% 他に利用できる交通手段がないから32% 交通費が安いから23% 時間通りにいけるから17% 安全だから15% 早く行くことができるから14% 他の交通手段との乗換えが便利だから9% その他6% 環境に良いから4% 目的地に駐車場が無いから2% 特に理由はない1% コミバス(n=224) バス利用者がバスを使った理由の構成(バス利用者アンケート)	・1つの路線の中でも区間によって移動量が異なる実態もあるため、移動量に応じた運行サービスを提供することが必要と考えられます。 豊川養護学校 国府駅 豊川体育館前 豊川国府線のバス停間通過人員(OD調査) 豊川体育館前 ゆうあいの里小坂井線のバス停間通過人員(OD調査)	・豊川市コミュニティバスでは、交通結節点での乗継利用を想定していますが、乗継利用の実態は少なくなっています。 ・乗継に関する利用者満足度も低い状況にあるので、乗継利便性の向上を図る必要があると考えられます。 7% 93% 乗継いで利用(N=15) 乗継いでいない(N=211) 豊川市コミュニティバスの乗継利用の割合(バス利用者アンケート) 普通運賃3.7 運賃の割引3.7 バス同士の乗継ぎのしやすさ2.8 乗継ぎの使いやすさ3.4 東西2つのゾーンに分かれていること2.9 ゾーンをまたいだ際の運賃の加算2.9 運行日(運行曜日)3.3 1日の運行本数2.4 始発便の時刻3.0 終発便の時刻2.6 運行ルート3.1 運行ダイヤの正確さ3.7 バス停の設置位置3.3 車両の識別のしやすさ3.8 バスマップのつかいやすさ3.1 豊川市コミュニティバスの利用者満足度(バス利用者アンケート) 5段階評価：とても満足5点～とても悪い1点として、回答者数あたりの平均点として数量化して表現

(3) 評価指標(案) と活用の目的 (3 / 3)

評価の視点	市民・地域・利用者視点の評価																																																																																																								
評価項目	地域への効果に関する評価	バスの運行に関する満足度の評価	周知・認知状況の評価																																																																																																						
評価指標（案）	沿線住民の外出機会の変化	バス路線の運行サービスの満足度	バスに関する市民の認知度																																																																																																						
活用の目的	・市民の生活の足として寄与しているかを評価します。 ・地区ごとの状況も考慮して、改善の方向性を検討します。 中学校区単位の評価(イメージ) <table><tr><th>No</th><th>中学校区</th><th>外出機会が増えた割合(%)</th></tr><tr><td>1</td><td>東部中</td><td>80</td></tr><tr><td>2</td><td>金屋中</td><td>43</td></tr><tr><td>3</td><td>中部中</td><td>68</td></tr><tr><td>4</td><td>西部中</td><td>48</td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>10</td><td>小坂井中</td><td>74</td></tr><tr><td colspan="2">市全体</td><td>70</td></tr></table>	No	中学校区	外出機会が増えた割合(%)	1	東部中	80	2	金屋中	43	3	中部中	68	4	西部中	48	⋮	⋮	⋮	10	小坂井中	74	市全体		70	・運行サービスが市民ニーズと合っているかを評価します。 ・地区ごとの満足度を考慮して、運行サービスの改善の方向性を検討します。 中学校区単位の満足度の評価(イメージ) <table><tr><th>No</th><th>中学校区</th><th colspan="4">満足度の項目(点数化)</th></tr><tr><th></th><th></th><th>運行</th><th>運賃</th><th>広報</th><th>.....</th></tr><tr><td>1</td><td>東部中</td><td>2.6</td><td>3.6</td><td>4.2</td><td>3.8</td></tr><tr><td>2</td><td>金屋中</td><td>4.3</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>中部中</td><td>4.6</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>西部中</td><td>3.2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>10</td><td>小坂井中</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">市全体</td><td>3.7</td><td>2.9</td><td>2.4</td><td>3.6</td></tr></table>	No	中学校区	満足度の項目(点数化)						運行	運賃	広報		1	東部中	2.6	3.6	4.2	3.8	2	金屋中	4.3				3	中部中	4.6				4	西部中	3.2				⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	10	小坂井中					市全体		3.7	2.9	2.4	3.6	・バスの利用促進活動が市民に行き渡っているかを評価します。 ・地区ごとの認知度を考慮して、改善の方向性を検討します。 中学校区単位の認知度の評価(イメージ) <table><tr><th>No</th><th>中学校区</th><th>バスの運行を知っている割合(%)</th></tr><tr><td>1</td><td>東部中</td><td>50</td></tr><tr><td>2</td><td>金屋中</td><td>33</td></tr><tr><td>3</td><td>中部中</td><td>57</td></tr><tr><td>4</td><td>西部中</td><td>60</td></tr><tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr><tr><td>10</td><td>小坂井中</td><td>55</td></tr><tr><td colspan="2">市全体</td><td>52</td></tr></table>	No	中学校区	バスの運行を知っている割合(%)	1	東部中	50	2	金屋中	33	3	中部中	57	4	西部中	60	⋮	⋮	⋮	10	小坂井中	55	市全体		52
	No	中学校区	外出機会が増えた割合(%)																																																																																																						
1	東部中	80																																																																																																							
2	金屋中	43																																																																																																							
3	中部中	68																																																																																																							
4	西部中	48																																																																																																							
⋮	⋮	⋮																																																																																																							
10	小坂井中	74																																																																																																							
市全体		70																																																																																																							
No	中学校区	満足度の項目(点数化)																																																																																																							
		運行	運賃	広報																																																																																																					
1	東部中	2.6	3.6	4.2	3.8																																																																																																				
2	金屋中	4.3																																																																																																							
3	中部中	4.6																																																																																																							
4	西部中	3.2																																																																																																							
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮																																																																																																				
10	小坂井中																																																																																																								
市全体		3.7	2.9	2.4	3.6																																																																																																				
No	中学校区	バスの運行を知っている割合(%)																																																																																																							
1	東部中	50																																																																																																							
2	金屋中	33																																																																																																							
3	中部中	57																																																																																																							
4	西部中	60																																																																																																							
⋮	⋮	⋮																																																																																																							
10	小坂井中	55																																																																																																							
市全体		52																																																																																																							
使用するデータ	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート	公共交通に関するアンケート・バス利用者アンケート	公共交通に関するアンケート																																																																																																						
【 参 考 】 アンケート調査結果等から 見える傾向	・バス利用者全体では、外出回数やバスの利用回数は「増えた」傾向にありますが、地区によってバスのサービス水準（運行本数や運行時間帯など）が異なりますので、地区に合った改善の方向性を整理する必要があると考えられます。 0%20%40%60%80%100% 以前の外出先への外出回数 バスを利用する回数 ■ 増えた ■ 変わらない ■ 減った ■ 分からない 外出回数、バスの利用回数(バス利用者アンケート) 0%20%40%60%80%100% 市全体(N=3,088) バスを必要とする市民(N=110) ■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない 外出機会の変化(公共交通に関するアンケート) 0%20%40%60%80%100% 市全体(N=3,237) バスを必要とする市民(N=94) ■ とても便利 ■ 少し便利 ■ 変わらない ■ 少し不便 ■ とても不便 ■ バスを使わない バスの運行による利便性の変化(公共交通に関するアンケート)	・地区によってバスのサービス水準（運行本数や運行時間帯など）が異なりますので、中学校区単位での満足度を考慮の上で、地区に合った改善の方向性を整理する必要があると考えられます。 1.0203.04.05.0 普通運賃 運賃の割引 バス同士の乗継ぎのしやすさ 乗継券の使いやすさ 東西2つのゾーンに分かれていること ゾーンをまたいだ際の運賃の加算 運行日(運行曜日) 1日の運行本数 始発便の時刻 終発便の時刻 運行ルート 運行ダイヤの正確さ バス停の設置位置 車両の識別のしやすさ バスマップのつかいやすさ 豊川市コミュニティバスの利用者満足度(バス利用者アンケート) 0%10%20%30% 運行本数が少ない 行きたいところへ行けないから バスの経路を知らない バス停が遠い 乗継が不便 目的地まで時間が掛かる その他 終発の時間が早い 運賃が高い 始発の時間が遅い 時刻表通りに来ない 運賃が高い 必要と思う市民(N=847) バスを必要と思う市民がバスを使わない(不便)の理由の構成(公共交通に関するアンケート)	・豊川市コミュニティバスの認知度は6割を超えていますが、「バスの経路を知らない」の割合が上位に位置していますので、中学校区単位での認知度を考慮の上で、地区に合った改善の方向性を整理する必要があると考えられます。 0%20%40%60%80%100% 市全体(N=3,673) バスを必要とする市民(N=842) ■ 知っている ■ 良く知らない ■ 全く知らない 豊川市コミュニティバスの認知度(公共交通に関するアンケート) 0%10%20%30% バスの経路を知らない 行きたいところへ行けないから 運行本数が少ない バス停が遠い 目的地まで時間が掛かる 乗継が不便 運賃が高い 終発の時間が早い 運賃が高い 始発の時間が遅い 時刻表通りに来ない 将来必要(N=2,204) 将来は必要だが、現在はバスを利用しない市民の未利用理由の構成(公共交通に関するアンケート)																																																																																																						

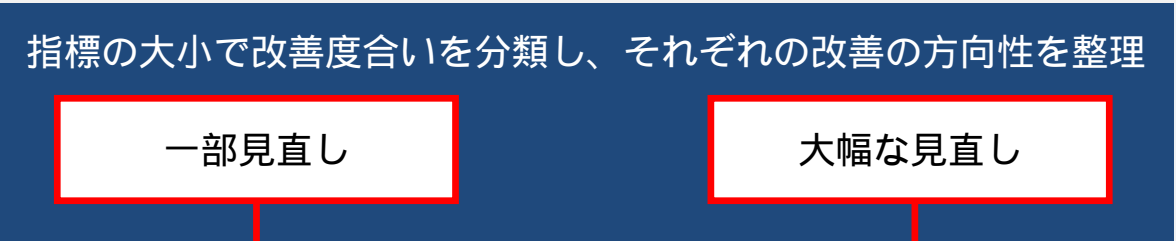
7 - 4 . 各評価指標による全体の評価方法

- ・ 3つの評価（路線単位、地域ごと、ネットワーク）に基づいて、市域の中での課題、問題箇所を確認します。
- ・ その課題、問題点に対し、評価指標の値に応じて改善の方向性や優先順位などを整理します。
- ・ 改善の方向性や優先順位は、地域ごと（学校区単位を目安）で整理し、短期的に取り組む内容と、中長期で取り組む内容に分けて取りまとめます。

評価のための流れ（イメージ）

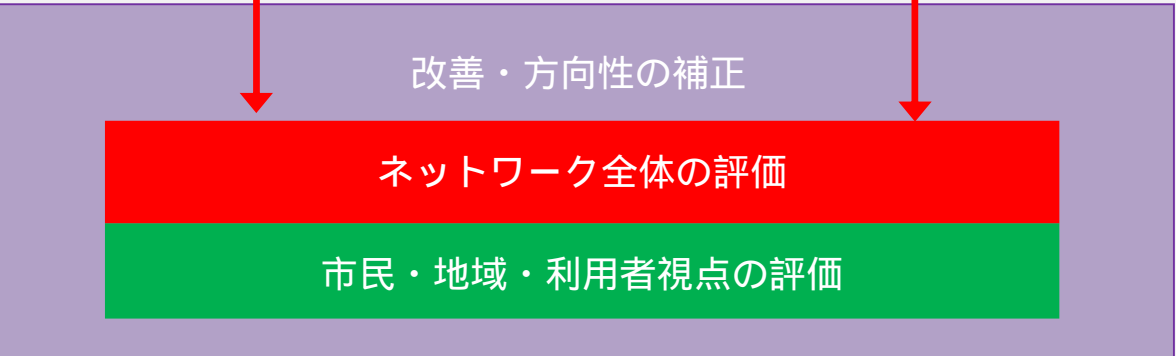
STEP 1：路線単位での改善の方向性整理

評価の視点	評価項目	個々の路線単位の評価
個々の路線単位の評価	路線の利用者数に関する評価	・ 始めに路線の評価指標の大小を参考に改善度合いを分類します。 （一部見直し、大幅な見直しなど） ・ 改善度合いを踏まえて、個々の路線ごとでの改善の方向性を整理します。
	運行効率に関する評価	



STEP 2：中学校区単位の評価による補正

評価の視点	評価項目	中学校区単位での評価
路線ネットワーク全体の評価	路線体系の評価	・ 各校区の指標を整理し、上記で整理した路線ごとの改善の方向性に対し、地区の指標を見ながら改善の方向性を補正します。
	乗継に関する評価	
市民・地域・利用者視点の評価	地域への効果に関する評価	ネットワーク全体の評価
	バスの運行に対する満足度の評価	
	周知・認知状況の評価	



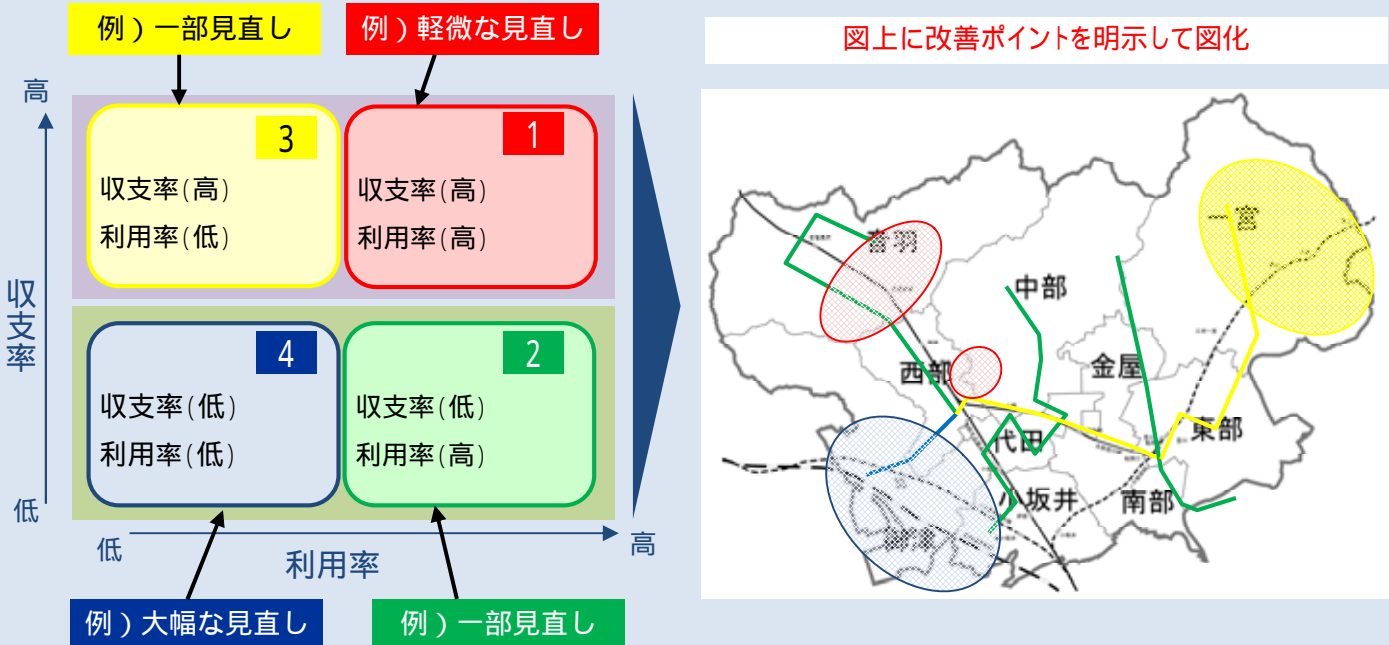
STEP 3：とりまとめ

路線・校区ごとに改善の方向性を整理

STEP 1：路線単位での改善の方向性整理

個々の路線単位の評価（イメージ）

客観的な評価のために、利用率や収支率の2つの指標から、既存のコミュニティバスの改善度合いを4つに分類して、個々の改善の方向性を整理



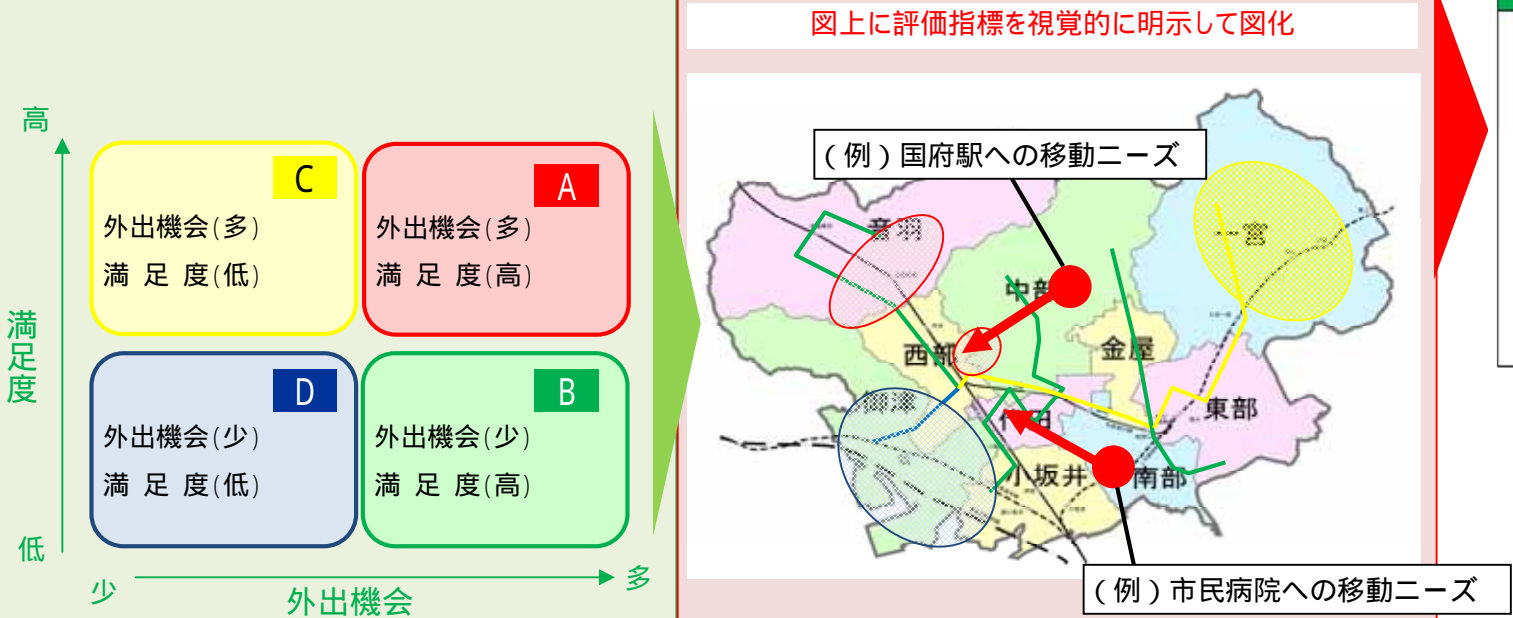
路線の評価		
改善度合いの例		改善の方向性の例
1	軽微な見直し	ダイヤの調整
		バス停位置の変更
		
2	一部見直し (経費抑制)	効率的な運行系統の設定
		運行経路の見直し
		
3	一部見直し (サービス向上)	運行本数の増便
		運行経路の見直し
		
4	大幅な見直し	ルートの見直し
		サービス水準変更
		

STEP 2：中学校区単位の評価による補正

市民・地域・利用者視点の評価
(イメージ)

ネットワーク全体の評価
(イメージ)

客観的な評価のために、外出機会や満足度の2つの指標を点数化して、指標の大きさによって4つに分類し、地域としての改善の方向性を整理



路線の評価を
補正

校区単位の評価	
地域の評価	ネットワーク評価
利用者・地域・市民 の視点の評価指標を 校区ごとに整理	主な移動ニーズを 校区ごとに整理

STEP 3：とりまとめ

【改善の方向性】

- ・路線の再検討
- ・運行ダイヤの調整
- ・バス停の位置変更
- ・ルートの見直し
- ・利用促進活動の強化
など